

独立行政法人・府省の資金配分機能に関する調査結果

平成 29 年 4 月

内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）

本資料は、平成28年度独立行政法人等の科学技術関係活動等に関する調査（平成 27 事業年度）において、資金配分機関である

- ・ 競争的資金制度を直轄する中央府省
- ・ 研究資金配分を行う独立行政法人

を対象に行った調査に対する各法人・府省の回答を一覧にまとめたものである。

収入の推移

法人名	施設整備費補助金																	その他の収入																
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度												
日本医療研究開発機構	40	441	54	49	47	4,852				0	22,003	14,035	12,802	19,797	9,471	18,988						136,085												
情報通信研究機構	0	0	0	0	31	25,484	104	92	77	125	486	12,073	11,961	13,362	11,691	13,921	15,655	15,819	65,790	82,536	11,716	11,626												
科学技術振興機構	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99,200	109,891	130,991	127,388	284,181	147,287	280,644	235,072	244,181	232,856	229,630												
日本学術振興会	48	200	264	273	262	56	889	1,724	2,064	0	450	1,554	2,011	2,108	3,125	2,021	1,571	2,500	2,733	2,285	4,285	2,885												
医薬基盤・健康・栄養研究所	883	2,053	645	2,008	2,989	385	1,549	475	5,135	4,605	399	8,238	9,994	12,341	10,924	12,297	9,870	6,748	5,509	5,241	5,269	6,306												
農産物・食品産業技術総合研究機構	0	0	0	0	5,011	15,847	8,283	0	0	0	0	882,143	946,569	1,266,789	1,514,565	1,816,702	1,569,519	1,186,528	1,598,671															
石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97,008	58,067	80,664	68,688	120,158	119,131	35,690	26,758	24,751	5,571	4,487												
新エネルギー・産業技術総合開発機構	0	0	0	0	31	25,484	104	92	77	125	486	209,081	179,919	225,017	207,747	418,280	282,073	312,153	327,620	351,468	250,143	245,744												
合計(科学技術振興機構、日本学術振興会、新エネルギー・産業技術総合開発機構(3法人の合計))	-	-	-	-	-	821.1	-99.6%	-12.2%	-16.5%	63.9%	287.4%	-	-13.9%	25.1%	-7.7%	101.3%	-32.6%	10.7%	5.0%	7.3%	-28.8%	-1.8%												
対前年度比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	40.9%	37.9%	43.9%	41.8%	56.1%	46.6%	53.4%	55.3%	56.0%	43.3%	46.5%												
収入合計に占める比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	40.9%	37.9%	43.9%	41.8%	56.1%	46.6%	53.4%	55.3%	56.0%	43.3%	46.5%												

分野別研究資金

(百万円)

法人名	ライフサイエ ンス	情報通信	環境	ナノテクノロ ジー・材料	エネルギー	ものづくり技術社会基盤	フロンティア	その他分野 (分野未定含 む)	全分野合計
日本医療研究開発機 構	133,789	0	0	0	0	0	0	0	133,789
科学技術振興機構	13,179	6,759	11,880	24,782	7,660	796	5,970	22,853	93,879
日本学術振興会	0	0	0	0	0	0	0	222,060	222,060
医薬基盤・健康・栄養 研究所	4,475	0	0	0	0	0	0	0	4,475
農薬・食品産業技術 総合研究機構	22,477	102	470	508	272	0	0	307	24,135
新エネルギー・産業 技術総合開発機構	195	20,423	8,898	14,723	84,683	3,560	4,410	4,058	141,003
総計	174,115	27,283	21,248	40,012	92,615	4,356	10,381	249,279	619,342

「経理事務の合理化」のための具体的な改善策や、合理化が進まない理由・阻害要因

機関名	「経理事務の合理化」のための改善策の実施(2014年度との比較)	「経理事務の合理化」のための具体的な改善策や、合理化が進まない理由・阻害要因
日本医療研究開発機構	○	AMEDの研究費では、研究機関とAMEDの間の委託研究開発契約が年度毎(単年度契約)となることから、「契約から納品及び検収までが年度を跨ぐ研究機器の購入」、「契約から完了及び検収までが年度を跨ぐ試験・分析の実施」などの実施が困難となっていた。この従前の取扱いを見直し、研究機関等と業者等の間で、研究開発の準備のため、前年度に契約したもので、役務・物品等の提供が当年度になされた結果、当年度の研究に利用し、当年度に支出が発生するものについては、当年度の予算及び委託研究開発契約に盛り込んでいる範囲で、当年度のAMEDからの交付の対象とすることを可能とした。
科学技術振興機構	○	経理事務の合理化として、事業に応じてそれぞれ以下列のような取組みを行っている。 ・「契約番号」の導入(研究機関からの問合せ対応の迅速化) ・契約一般条項の標準化 ・事務処理説明書における経費の使用ルール等の標準化
日本学術振興会	○	科学研究費助成事業においては、2014年度までも経理事務の合理化のため様々な取組を行ってきたが、2015年度以降も新たな研究種目の創設に伴う各種手続きの電子化などを進めている。なお、その他、例えば、以下のよう取組を行っている。 ・繰越実施時の実績報告手続きを電子化し、研究実施者の実績報告の手続きの負担軽減を図った。(平成26年度研究課題から) ・審査時、学研究費助成事業(基盤研究(A)(B)(C)、挑戦的萌芽研究、若手研究(A)(B))の書面審査において、冊子体の審査資料に加え、電子申請システム上でも審査資料を閲覧可能とし、審査委員の利便性の向上を図った。(平成27年度応募研究課題の審査から) ・間接経費執行実績報告手続きを府省共通研究開発システム(e-Rad)を活用して一元的に行うこととし、研究機関、配分機関の負担軽減を図った。(平成27年度研究課題から) また、その他の複数の事業においても電子申請システムでの申請・審査を行っており、事務手続の合理化に資するため電子申請システムの定期改修によって制度変更等に速やかに対応している。
医薬基盤・健康・栄養研究所	×	現時点では、改善が必要であるがこれを阻害する要因などは認められない。
農業・食品産業技術総合研究機構	×	当所の経理事務が合理的かどうか、他の資金配分制度について調査中であり、改善が必要で対応可能なものは取り入れるよう検討中。
新エネルギー・産業技術総合開発機構	○	・検査時に確認する点検項目を、従前では経理責任者の記名並びに検印をお願いしていたが、手続きの合理化を図るため、記名のみとするよう変更(捺印不要)。 ・一連のプロセスにおいて、書面手続きに加えて府省共通研究開発管理システム(e-Rad)への入力等が求められており、研究実施者と配分機関ともに負荷になっている。
内閣府(食品安全委員会事務局)	○	費目間の流用額や予算残額が一目で確認できるようにするため、研究受託機関にこれらが自動計算されるエクセルファイルを送付した。
総務省(情報通信国際戦略局技術政策課)(SCOPE)	×	既に各種競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせに対応済みのため。
総務省(情報通信国際戦略局技術政策課)(I-Challenge)	×	既に各種競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせに対応済みのため。
総務省(情報流通行政局情報通信利用促進課)	○	以下の改善を実施した。 ・費目構成を、府省共通経費取扱区分表に合致させた ・費目間流用を、直接経費総額の20%まで可能とした ・各種報告書の提出期限を延長することで、年度末までの研究期間を確保した ・購入した施設・設備について、補助事業の遂行に支障のない範囲で一時的に他の研究開発に使用可能とした ・間接経費執行実績報告書をe-Rad提出とした
総務省(消防庁)	○	「競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ」の統一ルールに基づき、会計実績報告書の提出期限を研究期間又は契約期間終了後61日以内まで可能としている。また、契約手続きの時期を早めることで研究実施期間を確保できるようにしていること、概算払いによる研究資金の効率的活用についても積極的に研究機関へ周知しており、実際に概算払いを行っている。
文部科学省(研究振興局参事官(情報担当))	—	
文部科学省(科学技術・学術政策局研究開発基盤課(量子研究推進室))	—	
文部科学省(研究振興局参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)付)	×	事業を達成することが最大の目的であり、経理事務の合理化に伴い事業が疎かになることは、本末転倒のため。
文部科学省(研究開発局宇宙開発利用課)	×	特になし
文部科学省(研究開発局原子力課)	×	特にありません。
厚生労働省(大臣官房厚生科学課)	○	研究事業終了後に作成する事業実績報告書の様式の簡素化
農林水産省(農林水産技術会議事務局)	○	統一ルールに基づき、年度末までの研究期間を確保するため、研究機関に対して事業完了後に速やかに事業完了届を提出することを義務づけ、諸条件を満たした場合は、会計実績報告書の提出期限を国の会計年度終了後61日以内まで可能とした。
経済産業省(産業技術環境局 大学連携推進室)	○	競争的資金における使用ルール等の統一について(平成27年3月31日 競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ)に基づき、実施している。
経済産業省(中小企業庁 経営支援部 技術・経営革新課)	○	競争的資金における使用ルール等の統一について(平成27年3月31日 競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ)に基づき、実施している。
国土交通省(大臣官房技術調査課)	○	e-rad上での間接経費の報告を徹底
国土交通省(総合政策局技術政策課)	○	継続研究課題について、「参加者の有無を確認する公募手続き方式」を平成28年度(平成27年度中に公示)より採用した。
環境省(総合環境政策局総務課環境研究技術室)	△	平成27年度の精算額の確定における間接経費の提出資料に共通ルールを適用。複数年度契約による効率的な研究費の使用を可能とするために、配分等の一部業務を独立行政法人へ移管している。
防衛省(防衛装備庁)	×	特になし(2015年度から制度を開始したため)

資金配分制度の属性

【機関名】資金配分制度名	競争的資金 として登録	運営費交付 金の財源	財源の予 算区分	資金の配分形態	配分対象	研究閉鎖期間 最長年	配分額(総額) [千円]
(AMED)食品健康影響評価技術研究	○	×	本予算	委託費	機関	1年	194,400
(AMED)医薬品等規制評価・評価研究事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	2年	1,933,583
(AMED)医療分野研究形成基盤構築事業(産学連携)	○	×	本予算	委託費	機関	10年	3,638,388
(AMED)医療分野研究形成基盤構築事業(産学連携)	○	×	本予算	委託費	機関	10年	477,564
(AMED)医療分野研究形成基盤構築事業(産学連携)	○	×	本予算	委託費	機関	5年	286,251
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	2年	719,862
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	2年	2,971,242
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	5年	2,931,042
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	5年	9,836,941
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	5年	5,190,051
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	5年	9,172,549
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	5年	3,501,185
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	2,826,448
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	225,276
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	2年	1,176,393
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	2年	932,535
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	10年	4,107,196
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	1年	3,228,517
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	665,000
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	1,335,592
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	1年	1,194,506
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	4年	4,001,352
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	5年	600,000
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	5年	2,635,139
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	5年	800,000
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	5年	3,135,367
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	5年	1,754,180
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	5年	5,857,102
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	4年	185,087
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	5年	418,877
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	1年	998,271
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	3年	145,540
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	1年	754,994
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	5年	1,115,973
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	5年	5,349,821
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	2,669,908
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	713,200
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	985,339
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	1年	1,446,358
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	1年	64,452
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	2,648,518
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	1,502,848
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	2,638,895
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	1,276,952
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	1,960,600
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	1,471,138
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	5年	559,020
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	3年	656,902
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	9,786,940
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	1,281,070
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	1,101,769
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	689,049
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	689,920
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	689,920
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	7,431,670
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	1,631,155
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	1,021,013
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	2,721,062
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	623,300
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	462,624
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	1,003,224
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	31,695
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	1年	2,977,200
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	1年	91,016
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	2年	729,995
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	研究者個人グループ	1年	35,000
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	363,999
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	103,949
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	3年	107,908
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	3年	32,079
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	補助金	機関	5年	91,872
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	5年	223,980
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	2年	118,653
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	98,160
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤構築事業	○	×	本予算	委託費	機関	1年	220,000

機関名)資金配分制度名	競争的資金として登録	運営費交付金が財源	財源の予算区分	資金の配分形態	配分対象	研究開業期間 最長年	配分額(総額) [千円]
(総務)戦略的価値創造研究開発推進事業	○	×	木予算	委託費	機関	1年	2075,700
(総務)ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	○	×	木予算	補助金	機関	1年	325,493
(総務)デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	○	×	木予算	補助金	機関	1年	44,866
(総務)防災科学技術研究推進制度	○	×	木予算	委託費	研究者個人・グループ	1年	130,482
(支科)未来社会実現のためのICT基盤技術開発「最先端の光の創成を目標としたネットワーク研究拠点プログラム」	○	×	木予算	委託費	機関	3年	5071,113
(支科)光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	○	×	木予算	委託費	機関	3年	924,116
(支科)ナノテクノロジーを活用した先端技術開発	○	×	木予算	委託費	機関	10年	361,046
(支科)元素戦略プロジェクト	○	×	木予算	委託費	機関	10年	2037,050
(支科)宇宙航空科学技術推進事業	○	×	木予算	委託費	機関	3年	480,138
(支科)国際的価値創造研究推進事業「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」	○	×	木予算	委託費	機関	1年	1289,853
(支科)戦略的価値創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	3年	39,751,426
(支科)戦略的価値創造研究推進事業(社会技術研究開発)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	2年	5,458,577
(支科)戦略的価値創造研究推進事業(先端産業研究)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	1年	1,336,987
(支科)研究推進事業(研究推進事業)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	1年	3,738,744
(支科)研究推進事業(産学共同基盤研究プログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	2年	733,918
(支科)研究推進事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	2年	1,246,824
(支科)研究推進事業(センター・イノベーション・COIプログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	2年	8,439,499
(支科)研究推進事業(大学発産業創出プログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	1年	299,486
(支科)研究推進事業(大学発産業創出プログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	1年	1,874,171
(支科)研究推進事業(最先端地域産業研究開発・実証拠点(リサーチ・コンプレックス)推進プログラム)	○	○	木予算	委託費	機関	2年	1,056,122
(支科)研究推進事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	1年	1,599,972
(支科)研究推進事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	1年	11,948
(支科)国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	2年	12,817,585
(支科)国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	3年	1,450,720
(支科)国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	3年	817,371
(支科)国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	○	木予算	委託費	研究者個人・グループ	3年	29,204
(支科)イノベーション・ハブ構築支援事業	○	○	木予算	補助金	機関	1年	1,238,503
(支科)ライフサイエンス・ゲノム・ビッグデータ推進事業	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	3年	622,180
(支科)先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	11,948
(支科)戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)(G課題合計)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	2年	12,817,585
(支科)革新的研究開発推進プログラム(IMPACT)	○	○	補正予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	11,176,305
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	3年	7,340,840
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	3年	15,963,350
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	3年	24,273,990
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	3年	41,195,440
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	3年	46,928,375
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	3年	13,709,800
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	8,241,350
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	2年	20,223,994
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	2年	2,259,752
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	349,959
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	1,293,900
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	6,639,494
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	5年	27,767,168
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	67,500
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	61,300
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	4,537,520
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	654,160
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	0
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	6,995,798
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	59,263
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	180,000
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	3年	80,000
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	5,071,148
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	1,684,078
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	2年	65,505
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	1,689,808
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	2年	772,910
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	530,855
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	108,598
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	5年	3,786,608
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	227,800
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	2年	91,275,24
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	134,231,163
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	1,706,708
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	105,028
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	681,400
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	181,737
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	3,406,398
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	599,248
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	253,006
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	689,007
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	5,147,939
(支科)科学研究推進事業(東洋研究)	○	○	木予算	補助金	研究者個人・グループ	1年	247,983

資金配分制度による配分状況

資金配分総額の推移〔全体〕

	〔百万円〕										
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
独立行政法人(FIRST/NEXTを除く)	333,767	349,030	355,394	344,319	372,478	369,978	445,276	433,180	420,128	473,495	597,375
FIRST/NEXT	—	—	—	—	—	—	—	—	29,382	—	—
府省直轄事業	—	—	—	—	—	—	—	—	73,482	89,089	35,810
合計	333,767	349,030	355,394	344,319	372,478	369,978	445,276	433,180	522,992	562,584	633,185

配分総額(競争的資金/競争的資金以外)の推移〔全体〕

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 (独法ののみ)	平成26年度 (独法ののみ)	平成27年度 (独法ののみ)	平成25年度 (独法+府省直 (76.2%)	平成26年度 (独法+府省直 (73.0%)	平成27年度 (独法+府省直 (63.8%)
競争的資金(FIRST/NEXTを除く)	193,266 (57.9%)	205,247 (58.8%)	217,277 (61.1%)	222,842 (64.7%)	229,455 (61.6%)	221,457 (59.9%)	—	—	325,014 (72.3%)	321,804 (68.0%)	368,193 (61.6%)	398,496 (76.2%)	410,893 (73.0%)	404,003 (63.8%)
FIRST/NEXT	—	—	—	—	—	—	—	—	29,382 (6.9%)	—	—	29,382 (5.6%)	—	—
競争的資金以外	140,481 (42.1%)	143,784 (41.2%)	138,117 (38.9%)	121,477 (35.3%)	143,023 (38.4%)	148,521 (40.1%)	—	—	95,114 (21.2%)	151,691 (32.0%)	229,183 (38.4%)	95,114 (18.2%)	151,691 (27.0%)	229,183 (36.2%)
合計	333,767	349,031	355,394	344,319	372,478	369,978	—	—	449,510	473,495	597,375	522,992	562,584	633,185

(注)上段は配分額(百万円)、下段は合計(配分総額)に占める割合。

配分総額(新規採択課題/継続課題)の推移〔全体〕

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 (独法ののみ)	平成26年度 (独法ののみ)	平成27年度 (独法ののみ)	平成25年度 (独法+府省直 (66.9%)	平成26年度 (独法+府省直 (70.4%)	平成27年度 (独法+府省直 (69.8%)
配分額(継続課題分)	236,915 (71.0%)	232,882 (66.7%)	242,303 (68.2%)	244,273 (70.9%)	256,325 (68.8%)	273,350 (73.9%)	—	—	299,026 (66.7%)	301,694 (63.7%)	420,427 (62.5%)	349,960 (66.9%)	351,708 (70.4%)	442,096 (69.8%)
配分額(新規採択課題分)	96,852 (29.0%)	116,149 (33.3%)	113,092 (31.8%)	100,046 (29.1%)	116,152 (31.2%)	96,626 (26.1%)	—	—	149,884 (33.3%)	171,801 (36.3%)	176,948 (29.6%)	173,032 (33.1%)	210,876 (37.5%)	191,089 (30.2%)
合計	333,767	349,030	355,394	344,319	372,478	369,977	—	—	449,510	473,495	597,375	522,992	562,584	633,185

(注)上段は配分額(百万円)、下段は合計(配分総額)に占める割合。

配分額(新規採択/継続課題別、直接/間接経費別)〔資金配分制度別〕

(百万円)

【機関名】資金配分制度名	配分額(総額)		配分額(継続課題分)		配分額(新規採択課題分)	
	配分額	内、間接経費	配分額	内、間接経費	配分額	内、間接経費
【内閣】食品健康影響評価技術研究	194	31	97	14	97	17
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	1,934	180	512	55	1,422	124
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	3,638	390	76	10	3,562	380
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	478	100	478	100	0	0
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	286	62	283	61	4	1
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	720	134	0	0	720	134
【AMED】再生医療実用化研究事業	2,971	591	2,498	481	474	109
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	2,931	363	1,981	281	950	83
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	9,837	2,263	9,837	2,263	0	0
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	5,190	567	5,190	567	0	0
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	9,173	1,674	6,291	1,093	2,882	581
【AMED】脳科学研究推進プログラム	2,826	652	2,826	652	0	0
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	3,501	808	3,501	808	0	0
【AMED】長寿科学研究事業	225	46	215	44	10	2
【AMED】認知症研究開発事業	1,176	261	491	105	685	157
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	933	167	674	114	258	53
【AMED】東北メテカル・メガバンク計画	4,107	0	4,107	0	0	0
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	3,229	317	2,708	232	520	85
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	655	132	655	132	0	0
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	1,336	0	1,268	0	68	0
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	1,195	128	992	90	202	37
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	4,001	0	4,001	0	0	0
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	600	0	600	0	0	0
【AMED】創薬基盤推進研究事業	2,635	515	1,787	346	848	169
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	800	82	800	82	0	0
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	3,135	243	3,135	243	0	0
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	1,754	185	1,754	185	0	0
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	5,857	1,343	5,596	1,291	261	52
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	185	43	0	0	185	43
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	419	97	0	0	419	97
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	998	209	366	70	633	139
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	146	34	0	0	146	34
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)	755	174	755	174	0	0
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	1,116	256	859	197	257	59
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	5,350	750	4,548	639	801	111
【AMED】医工連携事業化推進事業	2,670	142	1,504	59	1,166	83
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	713	64	713	64	0	0
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	985	0	699	0	286	0
【AMED】医療機器開発推進研究事業	1,146	246	671	143	475	103
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	64	5	64	5	0	0
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	2,649	159	2,269	134	379	24
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	1,503	265	1,122	191	381	74
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	2,639	461	2,639	461	0	0
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	1,227	201	712	138	515	62
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	1,961	432	0	0	1,961	432
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	1,147	104	0	0	1,147	104
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフラ構築)	559	51	0	0	559	51
【AMED】創薬支援推進事業(稀少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	657	0	0	0	657	0
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	9,767	1,995	4,191	879	5,576	1,116
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	1,291	256	875	162	416	94
【AMED】腎疾患実用化研究事業	111	25	12	3	99	22
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	700	139	494	93	205	46
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	170	26	153	22	17	4
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	70	15	47	11	23	5
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	7,245	9	7,245	9	0	0
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	163	9	163	9	0	0
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	1,203	46	1,203	46	0	0
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	221	18	221	18	0	0
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	223	0	223	0	0	0
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	943	194	0	0	943	194
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	1,603	324	1,603	324	0	0
【AMED】医薬品等開発研究PDCA/パイロット事業	52	5	52	5	0	0
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	2,977	510	2,958	506	19	4
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	92	20	78	17	13	3
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	726	44	0	0	726	44
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	35	6	0	0	35	6
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム) SATREPS	364	84	0	0	364	84
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協カプログラム) SICP	164	14	164	14	0	0
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	108	25	108	25	0	0
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	52	12	0	0	52	12
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	92	0	92	0	0	0
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	224	49	0	0	224	49
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	119	26	17	2	102	24
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	98	15	0	0	98	15
【AMED】ゲノム医療実用化推進プラットフォーム事業	220	0	0	0	220	0
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	2,076	468	1,578	354	498	114
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	325	60	139	18	187	43
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	45	5	27	3	18	2
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	130	29	77	17	54	12
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	207	48	207	48	0	0
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を旨としたネットワーク研究拠点プログラム」	506	117	506	117	0	0
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	924	213	924	213	0	0
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	361	83	361	83	0	0
【文科】元素戦略プロジェクト	2,037	470	2,037	470	0	0
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	480	111	272	63	208	48
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	1,290	298	600	138	690	159

【機関名】資金配分制度名	配分額(総額)		配分額(継続課題分)		配分額(新規採択課題分)	
	配分額	内、間接経費	配分額	内、間接経費	配分額	
					内、間接経費	内、間接経費
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	39,751	8,999	34,445	7,798	5,306	1,201
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	5,459	1,259	4,848	1,119	610	140
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	1,337	299	1,079	246	258	53
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	3,739	585	3,134	483	605	101
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	734	164	637	143	97	21
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	1,247	222	1,247	222	0	0
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	8,439	1,903	8,439	1,903	0	0
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	299	63	0	0	299	63
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	1,874	410	1,414	306	460	104
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	1,056	221	0	0	1,056	221
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	1,600	369	1,309	302	291	67
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	1,451	331	1,379	316	72	15
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	817	189	529	122	289	67
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	29	2	29	2	0	0
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	1,239	97	0	0	1,239	97
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	622	144	509	117	113	26
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	112	25	112	25	0	0
【JST】戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)(5課題合計)	12,818	1,377	12,758	1,369	60	8
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	11,176	905	8,265	663	2,911	241
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	7,341	1,694	5,475	1,263	1,866	431
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	15,963	3,684	11,678	2,695	4,285	989
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	24,274	5,602	15,342	3,540	8,932	2,061
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	41,195	9,507	23,667	5,462	17,528	4,045
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	46,928	10,830	27,307	6,302	19,621	4,528
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	13,710	3,164	6,393	1,475	7,317	1,688
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	8,241	1,902	4,550	1,050	3,692	852
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	20,224	4,667	10,318	2,381	9,906	2,286
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	2,260	521	943	218	1,317	304
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	350	0	2	0	348	0
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	1,294	0	380	0	914	0
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	6,639	488	3,905	339	2,734	149
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	27,767	6,408	18,936	4,370	8,832	2,038
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	68	0	0	0	68	0
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	614	0	0	0	614	0
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	4,538	1,047	0	0	4,538	1,047
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	654	151	0	0	654	151
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(婦国発展研究))	0	0	0	0	0	0
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	6,996	1,040	4,082	635	2,914	406
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	593	0	340	0	252	0
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	180	0	180	0	0	0
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	80	14	80	14	0	0
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	5,071	1,039	3,250	664	1,821	375
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	1,684	0	1,684	0	0	0
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	66	0	66	0	0	0
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	1,690	0	1,690	0	0	0
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	773	0	773	0	0	0
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	531	0	156	0	375	0
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	109	0	109	0	0	0
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創出プログラム)次世代農林水産業創造技術	3,767	0	3,767	0	0	0
【経産】平成27年度シニア活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	228	29	162	17	66	12
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	9,128	1,159	3,519	452	5,609	707
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	134,231	8,603	99,322	6,277	34,909	2,327
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	1,797	131	323	8	1,474	123
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	106	0	66	0	40	0
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	681	0	0	0	681	0
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	182	42	182	42	0	0
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	3,406	443	3,113	404	293	38
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	599	42	472	42	127	0
【国交】建設技術研究開発助成制度	253	53	99	17	154	35
【国交】交通運輸技術開発推進制度	170	23	82	8	87	16
【環境】環境研究総合推進費	5,141	1,051	3,650	757	1,492	294
【防衛】安全保障技術研究推進制度	248	57	0	0	248	57
計	633,185	101,648	442,096	68,761	191,089	32,887

分野別配分総額〔資金配分制度別〕

【機関名】資金配分制度名	ライフサイエンス	情報通信	環境	ナノテクノロジー・材料	エネルギー	ものづくり技術	社会基盤	フロンティア	その他分野(分野未定含む)	合計
(AMED)食品健康栄養技術研究	194	0	0	0	0	0	0	0	0	194
(AMED)食品健康栄養技術研究	1,934	0	0	0	0	0	0	0	0	1,934
(AMED)医療分野研究	3,638	0	0	0	0	0	0	0	0	3,638
(AMED)医療分野研究	478	0	0	0	0	0	0	0	0	478
(AMED)医療分野研究	286	0	0	0	0	0	0	0	0	286
(AMED)医療分野研究	720	0	0	0	0	0	0	0	0	720
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	2,971	0	0	0	0	0	0	0	0	2,971
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	2,931	0	0	0	0	0	0	0	0	2,931
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	9,837	0	0	0	0	0	0	0	0	9,837
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	5,190	0	0	0	0	0	0	0	0	5,190
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	9,173	0	0	0	0	0	0	0	0	9,173
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	2,826	0	0	0	0	0	0	0	0	2,826
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	3,501	0	0	0	0	0	0	0	0	3,501
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	225	0	0	0	0	0	0	0	0	225
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,176	0	0	0	0	0	0	0	0	1,176
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	933	0	0	0	0	0	0	0	0	933
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	4,107	0	0	0	0	0	0	0	0	4,107
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	3,229	0	0	0	0	0	0	0	0	3,229
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	655	0	0	0	0	0	0	0	0	655
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,336	0	0	0	0	0	0	0	0	1,336
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,195	0	0	0	0	0	0	0	0	1,195
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	4,001	0	0	0	0	0	0	0	0	4,001
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	600	0	0	0	0	0	0	0	0	600
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	2,635	0	0	0	0	0	0	0	0	2,635
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	800	0	0	0	0	0	0	0	0	800
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	3,135	0	0	0	0	0	0	0	0	3,135
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,754	0	0	0	0	0	0	0	0	1,754
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	5,857	0	0	0	0	0	0	0	0	5,857
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	185	0	0	0	0	0	0	0	0	185
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	4,191	0	0	0	0	0	0	0	0	4,191
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	998	0	0	0	0	0	0	0	0	998
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	146	0	0	0	0	0	0	0	0	146
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	753	0	0	0	0	0	0	0	0	753
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,116	0	0	0	0	0	0	0	0	1,116
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	5,350	0	0	0	0	0	0	0	0	5,350
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	2,670	0	0	0	0	0	0	0	0	2,670
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	713	0	0	0	0	0	0	0	0	713
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	983	0	0	0	0	0	0	0	0	983
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,146	0	0	0	0	0	0	0	0	1,146
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	64	0	0	0	0	0	0	0	0	64
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	2,643	0	0	0	0	0	0	0	0	2,643
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,303	0	0	0	0	0	0	0	0	1,303
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	2,639	0	0	0	0	0	0	0	0	2,639
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,421	0	0	0	0	0	0	0	0	1,421
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,471	0	0	0	0	0	0	0	0	1,471
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,454	0	0	0	0	0	0	0	0	1,454
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,454	0	0	0	0	0	0	0	0	1,454
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	653	0	0	0	0	0	0	0	0	653
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	9,367	0	0	0	0	0	0	0	0	9,367
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,291	0	0	0	0	0	0	0	0	1,291
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	111	0	0	0	0	0	0	0	0	111
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	700	0	0	0	0	0	0	0	0	700
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	170	0	0	0	0	0	0	0	0	170
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	70	0	0	0	0	0	0	0	0	70
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	7,245	0	0	0	0	0	0	0	0	7,245
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	163	0	0	0	0	0	0	0	0	163
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,203	0	0	0	0	0	0	0	0	1,203
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	221	0	0	0	0	0	0	0	0	221
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	223	0	0	0	0	0	0	0	0	223
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	943	0	0	0	0	0	0	0	0	943
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	1,603	0	0	0	0	0	0	0	0	1,603
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	52	0	0	0	0	0	0	0	0	52
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	2,977	0	0	0	0	0	0	0	0	2,977
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	92	0	0	0	0	0	0	0	0	92
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	726	0	0	0	0	0	0	0	0	726
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	35	0	0	0	0	0	0	0	0	35
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	364	0	0	0	0	0	0	0	0	364
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	164	0	0	0	0	0	0	0	0	164
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	108	0	0	0	0	0	0	0	0	108
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	92	0	0	0	0	0	0	0	0	92
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	224	0	0	0	0	0	0	0	0	224
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	119	0	0	0	0	0	0	0	0	119
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	98	0	0	0	0	0	0	0	0	98
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	220	0	0	0	0	0	0	0	0	220

セクター別配分総額(資金配分制度別)

【機関名】資金配分制度名	国・地方公共団体	大学等	民間企業等	研究開発法人	公益法人等	その他(分類不能を含む)	合計
[AMED] 食品健康影響評価技術研究	1	113	0	51	0	0	194
[AMED] 医薬品等規制調和・評価研究	1,079	651	16	71	117	0	1,934
[AMED] 医療分野研究形成真実推進/研究形成真実推進(AM-STEP)	8	772	2,752	80	27	0	3,683
[AMED] 医療分野研究形成真実推進/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	0	290	76	101	11	0	478
[AMED] 医療分野研究形成真実推進/産学連携基礎研究プログラム(産学共創)	40	285	0	1	0	0	286
[AMED] 医療分野研究形成真実推進/産学連携基礎イノベーション創出プログラム(ACT-M)	168	2,012	224	49	287	0	2,720
[AMED] 再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業	0	818	2,101	504	287	0	2,931
[AMED] 再生医療実用拠点ネットワークプログラム	0	7,995	209	1,514	119	0	9,837
[AMED] 次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	49	3,204	0	986	950	0	5,190
[AMED] 革新的がん医療実用化研究事業	343	5,180	66	3,002	583	0	9,173
[AMED] 脳科学研究推進プログラム	0	2,157	183	278	207	0	2,825
[AMED] 脳神経ネットワークの全脳解析プロジェクト	16	2,116	0	1,380	5	0	3,501
[AMED] 脳科学研究事業	0	148	0	17	43	0	225
[AMED] 認知症研究開発事業	0	812	0	340	25	0	1,176
[AMED] 難治性研究開発事業	136	509	10	187	90	0	933
[AMED] 東北大・メテカール・メカハシナ計画	4	4,107	0	0	0	0	4,107
[AMED] オーダーメイド医療の実用プログラム	4	1,239	20	1,645	320	0	3,229
[AMED] ゲノム医療実用化推進研究事業	77	43	0	535	0	0	655
[AMED] ナノテクノロジー・ナノバイオテクノロジー	0	1,311	0	24	0	0	1,336
[AMED] 革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	0	1,062	0	133	0	0	1,195
[AMED] 創薬等ライフサイエンス研究支援推進事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	0	3,272	18	711	0	0	4,001
[AMED] 創薬等ライフサイエンス研究支援推進事業(生命動機システム科学推進拠点事業)	0	600	0	0	0	0	600
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	174	1,037	208	1,151	65	0	2,635
[AMED] 次世代治療・診断実用化のための創薬技術開発事業(天然化合物および多価抗体を活用した革新的医薬品創出技術)	0	0	800	0	0	0	800
[AMED] 次世代治療・診断実用化のための創薬技術開発事業(国際共同に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	0	12	3,135	840	159	0	3,135
[AMED] 革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	40	5,009	5	678	124	0	5,857
[AMED] 革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	0	166	0	19	0	0	185
[AMED] 革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	0	339	28	52	0	0	419
[AMED] がん研究開発支援事業	10	97	0	387	14	0	998
[AMED] がん研究開発支援事業	0	139	0	7	0	0	146
[AMED] がん研究開発支援事業	0	750	0	5	0	0	755
[AMED] 革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベーション)	0	658	171	287	0	0	1,116
[AMED] 革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベーション)	0	2,536	2,752	57	4	0	5,350
[AMED] 革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベーション)	0	287	1,524	0	629	132	2,670
[AMED] 人工知能・データ駆動型医療・システム研究開発事業	0	57	0	468	187	0	713
[AMED] ロボット・AI医療開発事業(委託)	38	946	71	63	32	0	985
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	1,133	1,611	29	3	207	0	2,683
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	733	943	94	247	72	0	2,093
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	292	1,794	18	688	73	0	2,669
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	58	1,908	33	106	78	0	2,271
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	48	48	274	0	0	370
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	48	0	519	0	0	567
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	48	0	657	0	0	705
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	18	7,832	237	1,214	454	0	9,767
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	111	59	707	95	0	1,291
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	20	468	12	56	143	0	700
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	70	0	17	63	0	170
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	7,146	0	0	98	0	7,245
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	81	0	83	0	0	163
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	155	0	396	0	0	551
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	112	0	66	0	0	221
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	399	0	544	112	0	1,055
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	2	1,092	18	491	0	0	1,603
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	18	1,371	0	37	0	0	1,776
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	83	0	276	1,312	0	2,971
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	140	586	9	0	0	735
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	35	0	0	0	0	35
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	5	296	0	56	10	0	364
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	132	0	27	0	0	164
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	98	0	10	0	0	108
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	47	0	5	0	0	52
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	10	214	6	6	0	0	236
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	0	31	0	80	1	0	119
[AMED] 創薬実用化推進研究事業	12	76	0	10	0	0	98
[AMED] ゲノム医療実用化推進プラットフォーム事業	0	220	0	0	0	0	220

(百万円)

【機関名】資金配分制度名	国・地方公共 体	大学等	民間企業等	研究開発法人	公益法人等	その他(分類不 能を含む)	合計
(総務) 戦略的価値創造研究推進事業	18	1,460	422	1,40	36	0	2,076
(総務) ICTイノベーション創出チャレンジプログラム			325				325
(総務) デジタル・イノベーション創出に向けた技術等研究開発		110	45				155
(総務) 消防防災科学技術研究推進制度		207	20				227
(文部) 未来社会実現のためのICT基礎技術の研究開発		506					506
(文部) 未来社会実現のためのICT基礎技術の研究開発(最先端の光の創成を目指すネットワーク研究拠点プログラム)		715					715
(文部) 光子科学研究拠点形成に向けた基礎技術開発(光子融合連携研究開発プログラム)		20					20
(文部) ナノテクノロジーを活用した環境技術開発		1,532					1,532
(文科) 防災戦略プロジェクト		449					449
(文科) 宇宙航空学術研究推進委託書	7	397	51				448
(文科) 国家戦略形成研究開発推進事業(英知を結集した原子力科学技術-人材育成推進事業)	63	1,043	15				1,201
(JST) 戦略的価値創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	6	33,473	1,874	3,333	268	742	39,751
(JST) 戦略的価値創造研究推進事業(先端の低炭素化技術開発)	6	4,109	312	957	75	0	5,453
(JST) 戦略的価値創造研究推進事業(社会技術研究開発)	45	1,046	32	112	71	73	1,337
(JST) 研究開発推進事業(研究開発推進プログラム)	58	1,631	1,685	145	51	1	3,739
(JST) 研究開発推進事業(産学共同基礎研究プログラム)	11	608	608	0	67	0	1,283
(JST) 研究開発推進事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	257	7,888	437	82	83	0	12,447
(JST) 研究開発推進事業(マツダ・イノベーション創出プログラム)	13	265	0	295	0	0	8,439
(JST) 研究開発推進事業(大学発新産業創出プログラム)	0	219	0	4	17	0	239
(JST) 研究開発推進事業(世界に誇る先端技術研究開発・実証拠点(リサーチ・コンプレックス)推進プログラム)	2	1,015	475	91	360	0	1,941
(JST) 研究開発推進事業(先端技術創出・産学連携推進プログラム)	1	1,226	11	138	56	0	1,431
(JST) 国際科学技術共同研究推進事業(地球資源連携国際共同研究プログラム)	0	688	27	101	2	0	817
(JST) 国際科学技術共同研究推進事業(国際的国際共同研究プログラム)	0	29	0	0	0	0	29
(JST) イノベーションハブ構築支援事業	0	378	12	1,239	76	0	2,605
(JST) アイデアソン・コンテスト総合推進事業	0	33	17	157	76	0	383
(JST) 産学連携共同研究推進事業(産学連携推進プログラム(成功報酬制))	10	4,965	4,756	2,898	517	0	12,116
(JST) 産学連携共同研究推進事業(産学連携推進プログラム(SP)(総額合計))	0	5,783	2,924	2,058	114	150	11,178
(JSPS) 科学技術振興機構推進プログラム(IMPACT)	27	7,167	0	1,972	82	0	9,221
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択)	21	24,632	34	1,078	161	0	26,805
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	174	24,117	30	2,896	406	0	27,449
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	571	37,332	38	2,658	608	0	40,626
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	143	18,436	33	1,838	652	13	20,962
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	143	18,436	33	1,838	652	13	20,962
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	320	18,014	32	1,043	178	0	19,247
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	23	2,083	37	1,437	403	0	2,960
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	0	0	0	120	32	0	152
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	0	0	0	0	350	0	350
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	0	0	0	0	1,294	0	1,294
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	0	0	0	0	6,639	0	6,639
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	228	24,568	201	2,335	433	0	27,537
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	0	68	0	0	614	0	682
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	10	4,228	0	265	35	0	4,528
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	0	605	15	35	0	0	655
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	0	0	0	0	0	0	0
(JSPS) 科学技術振興機構推進事業(特別採択(S))	894	4,110	0	897	890	206	6,993
(NIBIHN) 産学連携共同研究推進事業	0	0	593	0	0	0	593
(NIBIHN) ウェルビーイング推進事業	0	0	180	0	0	0	180
(NIBIHN) 産学連携共同研究推進事業	847	2,152	490	1,204	378	0	4,721
(NIBIHN) 産学連携共同研究推進事業(産学連携推進事業)	152	522	119	746	99	45	1,684
(NIBIHN) 産学連携共同研究推進事業(産学連携推進事業)	59	1,340	138	133	20	0	1,680
(NIBIHN) 産学連携共同研究推進事業(産学連携推進事業)	0	644	47	82	0	0	773
(NIBIHN) 産学連携共同研究推進事業(産学連携推進事業)	0	692	0	109	0	0	801
(NIBIHN) 産学連携共同研究推進事業(産学連携推進事業)	0	692	0	2,883	85	106	3,666
(産学) 平成27年度「シーズ活用研究推進事業(産学連携推進事業)	0	453	664	526	4,859	2,626	9,128
(産学) 平成27年度「シーズ活用研究推進事業(産学連携推進事業)	145	18,774	83,814	5,943	25,556	0	134,231
(NEDO) ナショナルプロジェクト(内、本予算)	0	0	1,417	13	367	0	1,797
(NEDO) ナショナルプロジェクト(内、本予算)	0	0	106	0	0	0	106
(NEDO) 実用化促進事業(内、本予算)	0	0	681	0	0	0	681
(NEDO) 実用化促進事業(内、本予算)	0	0	0	0	0	0	0
(NEDO) 技術シーズの発掘(内、本予算)	0	1,612	1,252	223	321	182	3,560
(NEDO) 技術シーズの発掘(内、本予算)	0	0	599	0	0	0	599
(NEDO) 技術シーズの発掘(内、本予算)	0	143	53	14	43	0	253
(国交) 建設技術研究開発推進制度	67	3,248	27	104	132	0	3,608
(国交) 交通運輸技術研究開発推進制度	97	3,248	27	104	132	0	3,608
(防衛) 安全保障技術研究推進制度	0	83	68	97	0	0	248
計	9,106	378,046	123,188	64,932	45,298	12,613	633,185

セクター別配分割合〔資金配分制度別〕

【機関名】資金配分制度名	国・地方公共団体		大学等		民間企業等		研究開発法人		公益法人等		その他(分類不能を含む)		合計
	[%]	[%]	[%]	[%]	[%]	[%]	[%]	[%]	[%]	[%]	[%]	[%]	
(内附)食品健康影響評価技術研究		0.6%	58.3%	0.0%	26.4%	0.0%	14.7%	100.0%					
(AMED)医薬品等規制制度と評価研究		55.8%	3.7%	0.8%	6.1%	0.0%	100.0%						
(AMED)医薬品分野創成・評価研究		0.2%	21.2%	75.6%	2.2%	0.7%	100.0%						
(AMED)医薬品分野創成・評価研究(AM-STEP)		0.0%	60.7%	15.9%	21.2%	2.3%	100.0%						
(AMED)医薬品分野創成・評価研究(AM-STEP)		0.0%	0.0%	99.5%	0.5%	0.0%	100.0%						
(AMED)医薬品分野創成・評価研究(AM-STEP)		5.6%	58.5%	31.1%	6.8%	0.0%	100.0%						
(AMED)再生医療実用化研究事業		5.7%	67.7%	17.0%	9.7%	0.0%	100.0%						
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価・臨床技術開発事業		0.0%	27.9%	71.7%	0.4%	0.0%	100.0%						
(AMED)再生医療実用化ネットワークプログラム		0.0%	81.3%	2.1%	15.4%	1.2%	100.0%						
(AMED)次世代がん研究・臨床的実用化プログラム		0.9%	61.7%	0.0%	19.0%	18.3%	0.0%	100.0%					
(AMED)革新的がん医療実用化研究事業		3.7%	56.5%	0.7%	32.7%	6.4%	100.0%						
(AMED)脳科学研究推進プログラム		0.0%	76.3%	6.5%	9.8%	7.3%	100.0%						
(AMED)脳神経ネットワークの全脳解析プロジェクト		7.3%	60.4%	0.0%	39.4%	0.1%	100.0%						
(AMED)脳科学研究事業		0.0%	65.9%	0.0%	7.7%	19.2%	0.0%	100.0%					
(AMED)認知症研究開発事業		14.6%	54.6%	1.1%	28.9%	2.1%	100.0%						
(AMED)認知症研究開発事業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)東北メテオ・メテオ計画		0.1%	38.4%	0.6%	50.9%	9.9%	100.0%						
(AMED)オーガニクス医療実用化推進研究事業		11.7%	6.6%	0.0%	11.7%	0.0%	100.0%						
(AMED)ゲノム医療実用化推進研究事業		0.0%	98.2%	0.0%	1.8%	0.0%	100.0%						
(AMED)ゲノム医療実用化推進研究事業		0.0%	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%						
(AMED)革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業		0.0%	81.8%	0.5%	17.8%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		6.6%	38.4%	7.9%	43.7%	2.3%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	0.7%	42.4%	47.9%	9.1%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	88.5%	0.1%	11.6%	2.1%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	89.8%	10.2%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	80.9%	6.7%	12.4%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		1.0%	58.8%	0.0%	38.7%	1.4%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	95.2%	0.0%	4.8%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	99.3%	0.7%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	59.0%	15.3%	25.7%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	47.4%	51.4%	1.1%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	10.8%	60.6%	0.0%	28.3%	0.0%	100.0%					
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	8.0%	0.0%	65.8%	26.2%	0.0%	100.0%					
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	82.3%	6.2%	5.5%	2.8%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		45.1%	49.3%	0.0%	4.7%	7.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		17.1%	62.6%	3.6%	16.3%	1.5%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		20.6%	60.3%	2.6%	8.0%	6.4%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		2.1%	91.9%	0.0%	2.0%	0.5%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	71.4%	0.6%	22.9%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.3%	80.2%	2.4%	12.4%	4.6%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		2.9%	31.9%	4.6%	54.7%	7.4%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	68.9%	1.7%	8.1%	20.4%	0.0%	100.0%					
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		2.6%	49.9%	0.5%	9.9%	37.0%	0.0%	100.0%					
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	98.6%	0.0%	0.0%	1.4%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	49.4%	0.0%	50.6%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	67.0%	0.0%	33.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	70.2%	0.0%	29.8%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	42.3%	0.0%	57.7%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.1%	68.1%	1.1%	30.6%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	29.0%	0.0%	71.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.6%	46.1%	0.0%	9.3%	44.1%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	90.7%	0.0%	9.3%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	19.3%	80.7%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	81.3%	0.0%	15.8%	2.8%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		3.0%	80.5%	0.0%	16.6%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	90.4%	0.0%	9.6%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	90.4%	0.0%	9.6%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	92.4%	6.5%	1.1%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		4.5%	98.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		11.8%	77.6%	10.6%	67.8%	1.2%	100.0%						
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%						

資金配分制度の狙い・目的

【機関名】資金配分制度名	資金配分制度の狙い・目的
【内閣】食品健康影響評価技術研究	食品安全基本法第23条第1項第6号に基づき科学的な研究を実施し、各種危害要因(ハザード)に的確に対処するために必要な科学的知見を集積・体系化するとともに、迅速かつ的確なリスク評価の実施に必要なガイドライン、評価基準の策定等の評価方法を企画・立案し、これらの科学的知見に基づく食品健康影響評価(リスク評価)を実施し、食品の安全性の確保を図る。
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	レギュラトリーサイエンスを充実・強化するために、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性に関する評価法等に関する研究を実施し、科学的合理性と社会的正当性に関する根拠に基づいた審査指針や基準の策定等につなげる。また、先端の技術を活用した医薬品、医療機器等の開発に資するため、最先端の技術に係る評価法等についての研究を実施し、これらの承認審査、市販後安全対策等の基盤整備及び世界に先駆けた国際規格・基準の策定の提案等につなげる。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	大学等の知的財産を活用した産学共同研究開発/大学と企業のマッチングの段階から、企業との本格的な共同研究開発に至るまで、課題や研究開発の特性に応じた最適なファンディング計画を設定し、大学等の研究成果を実用化につなぐための総合的かつシームレスな支援を行う。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	基礎研究の成果を基に、大規模かつ長期的な研究開発/産業創出の礎となる研究開発テーマを設定し、公募選定された産学連携による複数の研究開発チームの下で、最長10年度の長期一貫した研究開発を推進する。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基盤研究プログラム(産学共創)	産業界に共通する技術的課題の解決に資する基礎研究/産学の対話のもと、産業界の技術課題の解決に資する基礎的な研究を大学等が行い、産業界における技術課題の解決を加速するとともに、産業界の視点や知見を基礎研究での取り組みにフィードバックし、大学等の基礎研究の活性化を図る。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	大学等と企業、病院等との連携を通じて、大学等の研究成果の実用化を促進し、イノベーションの創出を目指すことを目的として、探索レベルを終わった「可能性検証フェーズ」からヒトを対象としたPOCの確立、さらには臨床上の評価につなぐ「実用性検証フェーズ」を対象とした研究開発の支援を行う。
【AMED】再生医療実用化研究事業	研究開発フェーズ: 応用研究及び開発研究、研究領域: ライフサイエンス、対象セクター: 国内の研究機関(大学・企業等)
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	研究開発フェーズ: 開発研究、研究領域: ライフサイエンス、対象セクター: 国内の研究機関(大学・企業等)
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	iPS細胞等を使った再生医療・創薬について、文部科学省が定めた基本方針の下、世界に先駆けて実用化するため、研究開発拠点を構築し、効果的・効率的に研究開発を推進する。
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	研究開発フェーズ: 基礎研究/応用研究 研究領域: ライフサイエンス 対象セクター: 大学/中小ベンチャー企業/公的研究機関、国内研究機関
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	研究開発フェーズ: 基礎研究/応用研究/開発研究など 研究領域: ライフサイエンス 対象セクター: 大学/公的研究機関、国内研究機関/医療機関/企業
【AMED】脳科学研究推進プログラム	高齢化、多様化が進む現代社会が直面する様々な課題の克服に向け、「社会に貢献する脳科学」の実現を目指し、脳科学研究を戦略的に推進します。また、「脳機能ネットワークの全容解明」という目標を掲げ、精神・神経疾患の克服等につなげるための基盤を構築してゆきます。
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	高齢化、多様化が進む現代社会が直面する様々な課題の克服に向け、「社会に貢献する脳科学」の実現を目指し、脳科学研究を戦略的に推進します。また、「脳機能ネットワークの全容解明」という目標を掲げ、精神・神経疾患の克服等につなげるための基盤を構築してゆきます。
【AMED】長寿科学研究事業	我が国の高齢化の進展状況に鑑み、また団塊の世代が後期高齢者となる2025年における医療・介護ニーズの爆発的増大を見込んで、介護保険制度の持続可能性の確保及び医療・介護の連携の推進に寄与することを主目的とし、高齢者に特徴的な疾病・病態等に着目し、複合的・総合的な治療のアプローチの確立を目指します。
【AMED】認知症研究開発事業	認知症の実態把握、予防、診断、治療、ケアという観点に立って、それぞれ重点的な研究を推進します。 (1) 認知症の原因解明、治療法開発、診断法開発、予防法開発等のためのコホート研究 (2) 家族性認知症に関する研究 (3) ドラッグ・リポジショニングによる認知症薬の開発に関する研究 (4) 認知症患者の新規予防法、診断法、治療法に関する研究
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	障害全般に関するリハビリテーション等の適切な支援を提供するための研究開発、障害を招く疾患等についての病因・病態の解明、診断・予防・治療法、リハビリテーション等の先進的・実践的な研究を推進します。
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	研究開発フェーズ: 基礎研究 研究領域: ライフサイエンス 対象セクター: 大学
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	研究開発フェーズ: 基礎研究 研究領域: ライフサイエンス 対象セクター: 大学
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	研究開発フェーズ: 応用研究 研究領域: ライフサイエンス 対象セクター: 研究開発法人・大学・地方公共団体等
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	研究開発フェーズ: 基礎研究 研究領域: ライフサイエンス 対象セクター: 公的研究機関
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	本事業では、我が国のバイオ医薬品の国際競争力強化に向けて、製薬企業が抱える技術的課題の解決及び革新的な次世代技術の創出を達成し、世界初の次世代バイオ医薬品創出に係る革新的基盤技術を確立し、事業終了までに導出することを目標とし、国内の大学、研究機関、法人等が応募できる。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	本事業は、「タンパク3000プロジェクト」(平成14年度から平成18年度)、「ターゲットタンパク研究プログラム」(平成19年度から平成23年度)、「ゲノムネットワークプロジェクト」(平成16年度から平成20年度)から生み出された成果の中で創薬等ライフサイエンス研究に資する成果、並びにこれらの事業で整備された施設・設備を創薬等ライフサイエンス研究を行う研究者が広く共同利用する体制を整備することによって、創薬・医療技術開発支援の強化を図ることを目的とする。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	本事業は、①計測で得られたデータから数理科学的手法(数学、統計学、計算機科学等を含む)を用いて生命現象を理解し、in vitro、in silico、in vivoでの再構成系を構築する「生命動態システム科学」の研究手法を活用して、生命現象を動的なシステムとして理解する方法論の開発と実証を行うこと、②数理科学的手法と生命科学の融合研究の発展のため、人材育成や融合人材の常勤ポストの設置等を行う恒久的な拠点が整備されること、③「生命動態システム科学」の手法を創薬開発等に応用する道筋を示すことを目的とする。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	革新的な医薬品の創出を目指して、創薬の基盤技術に係る研究を推進する。具体的には、新薬候補物質の効率的な選定に資する研究や、医薬品の開発過程を迅速化・効率化するための研究を推進する研究、また、産学官共同創薬研究等を推進する。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	医療の課題として、患者の方々のQOL(Quality of Life)を向上させ、医療費増加の抑制を図り医療制度全体が崩壊しないように確保する必要がある。こうした背景から、「個別化医療」を推進し、個人差を踏まえたより効能の高い治療を実現するため、創薬コストの低減とプロセスの短縮化を実現するため、ターゲットとなるタンパク質に対して医薬品候補を探索するソフトウェアを開発する。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	医療の課題として、患者の方々のQOL(Quality of Life)を向上させ、医療費増加の抑制を図り医療制度全体が崩壊しないように確保する必要がある。こうした背景から、「個別化医療」を推進し、個人差を踏まえたより効能の高い治療を実現するため、世界の主流を占めている我が国が遅れているバイオ医薬品の製造プロセスの確立するための取り組みを進める。

【機関名】資金配分制度名	資金配分制度の狙い・目的
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	医療の課題として、患者の方々のQOL(Quality of Life)を向上させ、医療費増加の抑制を図り医療制度全体が崩壊しないように確保する必要がある。 こうした背景から、より高い生存性や回復力を目指し、「先制医療」を推進し、社会問題となっているがん・アルツハイマーをテーマとし、なるべく患者の負担が少ない低侵襲な方式により、早期に疾病を探知するための取り組みを進める。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	革新的な医薬品や医療機器、医療技術等を創出することを目的に、国が定めた研究開発目標の下、大学等の研究者から提案を募り、組織の枠を超えた時限的な研究開発体制を構築して研究を推進する。画期的シーズの創出・育成に向けた先端的研究開発を推進するとともに、有望な成果について研究の加速・深化を行う。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	革新的な医薬品や医療機器、医療技術等を創出することを目的に、国が定めた研究開発目標の下、大学等の研究者から提案を募り、組織の枠を超えた時限的な研究開発体制を構築して研究を推進する。画期的シーズの創出・育成に向けた先端的研究開発を推進するとともに、有望な成果について研究の加速・深化を行う。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータータイプ)	革新的な医薬品や医療機器、医療技術等を創出することを目的に、国が定めた研究開発目標の下、大学等の研究者から提案を募り、組織の枠を超えた時限的な研究開発体制を構築して研究を推進する。画期的シーズの創出・育成に向けた先端的研究開発を推進するとともに、有望な成果について研究の加速・深化を行う。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	成育疾患の予防・診断・治療法の開発並びに小児期における障害の予防、母性及び児童の健康の保持増進等に資することを目的としている。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	女性の一生のステージごとの健康課題について、病態解明と予防および治療開発を目指す。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータータイプ)	革新的な医薬品や医療機器、医療技術等を創出することを目的に、国が定めた研究開発目標の下、大学等の研究者から提案を募り、組織の枠を超えた時限的な研究開発体制を構築して研究を推進する。画期的シーズの創出・育成に向けた先端的研究開発を推進するとともに、有望な成果について研究の加速・深化を行う。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	大学等の有望な技術シーズを発掘し、大学等・企業・臨床現場の連携を通じて革新的な医療機器の研究開発を担い、医療イノベーション創出を目指す。 ヒト、ヒト由来サンプル、または臨床サンプル等の生体試料を用い、開発期間中に医療機器としての原理実証を行う。
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	世界規模での高齢化の進展と新興国における医療需要拡大を受け、医療機器の世界市場は今後も拡大すると予測される中、重点分野(手術支援ロボ、人工組織・臓器、低侵襲治療、イメージング(画像診断)、在宅医療機器)を中心として、日本が強みを有するロボット技術、診断技術、ICT等を活用した日本発の世界最先端の革新的な医療機器・システムの開発・実用化を行うもの。文部科学省、厚生労働省と連携し、開発の初期段階から実用化、世界展開を見据えた一気通貫の取組を行うことにより、健康・医療戦略の基本的理念である『健康長寿社会の実現』や『経済成長への寄与』にむけて、日本をはじめ国内外の健康寿命の延伸と我が国医療機器産業の国際競争力強化の実現に貢献する。
【AMED】医工連携事業化推進事業	医療現場が抱える課題に応える医療機器について、日本が誇る「ものづくり技術」を活かした開発・事業化を推進することにより、我が国の医療機器産業の活性化と医療の質の向上、中小企業等が開発・参入しやすい環境整備を実現し、日本をはじめ国内外の健康寿命の延伸と我が国医療機器産業の国際競争力強化の実現に貢献する。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	高齢者の自立支援、介護実施者の負担軽減に資するロボット介護機器の開発・導入を促進し、我が国の新しいものづくり産業の創出に貢献する。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	高齢者の自立支援、介護実施者の負担軽減に資するロボット介護機器の開発・導入を促進し、我が国の新しいものづくり産業の創出に貢献する。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	我が国発の優れた医療機器について、医療ニーズを確実に踏まえて、日本の強みとなるものづくり技術も生かしながら、開発・実用化を推進し、研究開発から実用化につなげる体制整備を進める。
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	我が国発の優れた医療機器について、医療ニーズを確実に踏まえて、日本の強みとなるものづくり技術も生かしながら、開発・実用化を推進し、研究開発から実用化につなげる体制整備を進める。
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	本研究事業では、感染症対策の総合的な強化を目指し、国内外の感染症に関する基礎研究及び基盤技術の開発から、診断法・治療法・予防法の開発等の実用化研究まで、感染症対策に資する研究開発を切れ目なく推進する。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	C型肝炎領域では、経口治療薬の普及により治療成績の向上がもたらされたが、C型肝炎ウイルスの排除後の病態の解明や薬剤耐性などの新しい問題が見出され、速やかな対応が求められている。また、肝炎変の早期発見あるいは病状進展等の医療現場のニーズに応える必要がある。そのために、肝炎総合対策に係る医療技術や医薬品の開発につながる基礎から実用化までの研究を切れ目なく推進する。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	B型肝炎の画期的な新規治療薬の開発を目指し、これまでに得られた知見に基づき、非臨床試験及び臨床試験までを目指す研究を行うとともに、さらに基盤技術の開発、応用に係る研究を進展させ、日本発のB型肝炎治療薬の開発を推進する。
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	HIV/AIDS事業では、新規治療戦略(ワクチン・治療薬、医薬品シーズ探索等)、それを支える基盤的研究(HIV感染の機構解明、HIV関連病態の解明と治療法開発、持続感染動物モデル開発等)、新たな治療法等の開発に繋がる研究を推進する。
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	研究開発フェーズは基礎研究中心で一部応用研究、研究領域はライフサイエンス、対象セクターは大学・国内研究機関他。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	国内の大学や公的研究機関等で生み出された研究成果の実用化を加速化することを目的として、これらの研究成果のうち、国立研究開発法人日本医療研究開発機構創薬支援戦略部が医薬品としての実用化の可能性が高いと判断した創薬シーズに対し、創薬のための研究戦略の策定、技術支援、知財管理の実施、企業導出に関する助言など、実用化を目指したシームレスな支援を行う。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォーマティクスシステム構築)	本事業は、創薬支援のための基盤強化を図るため、オールジャパンで医薬品や化合物に関する情報を格納した統合型データベースを構築し、新規化合物の代謝、毒性、薬効領域等を予測する多角的構造活性相関の手法を開発し、創薬支援に活用することを目的としている。
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	本事業は、希少疾病用医薬品の製造販売承認取得を目指す研究開発型企業等による開発を進めるため、その環境を整備し、迅速かつ効果的に希少疾病用医薬品としての実用化を可能にすることを目的としている。
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	本事業は、「発病の機構が明らかでない」、「治療法が確立していない」、「希少な疾病である」、「長期的療養を必要とする」の4要素を満たす難病に対して、病因・病態の解明、画期的な診断・治療法の開発を推進し、全ての難病患者が受ける医療水準の向上を図ることを目的としています。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	本事業は、病態解明、新たな予防・診断・治療・保健指導の方法の開発、社会環境の改善等の革新的研究を推進する他、本研究事業で体系的に取得した科学的根拠が、新たな社会システムや産業を創出するためのシーズとなることを目標としています。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	本事業は、国民の生命や生活の質に支障を来す腎疾患に関する研究の一層の充実を図るため、エビデンスに基づいたガイドラインの作成および更新並びに病態の解明及び治療法開発を行い、新規透析導入患者数を減少させることを目標としています。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	免疫アレルギー疾患の病態は十分に解明されたとはいえず、根治的な治療法が確立されていないため、患者さんの長期的なQOLの低下を招いています。本事業は、免疫アレルギー疾患の病態を解明するとともに、根治的治療法の確立に資することを目的としています。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	本事業は、臓器移植、造血幹細胞移植及び組織移植について、安全かつ良好な成績が期待できる標準的治療の開発に関する研究を推進し、国や関係者が関連法令に規定された取組を着実に進めることを目的としています。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	本事業は、原因が明らかでない対応に苦慮する痛みや、適切な対応を行っているにもかかわらず残存する痛みを対象に、画期的治療法を開発する上での客観的指標に基づく介入群の設定あるいは治療法に資するシーズを発見することを目標としています。
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	画期的な医薬品・医療機器等を効率的・効果的に国民へ提供することを目指し、大学等発の有望な基礎研究成果の臨床研究・治療への橋渡しをさらに加速するため、「橋渡し研究支援拠点のシーズ育成能力を強化する」と、及び「拠点における自己収入の確保を促進することで恒久的な橋渡し研究支援拠点を確立させる」ことを目的とする。
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	我が国発の革新的な医薬品・医療機器等を創出するために、世界に先駆けてヒトに初めて新規薬物・機器等を投与・使用する臨床試験の実施拠点となる医療機関を整備し、早期・探索的臨床試験等の国際水準の臨床研究及び医師主導試験を実施する体制を整備することを目的とする。

【機関名】資金配分制度名	資金配分制度の狙い・目的
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	我が国発の革新的な医薬品・医療機器等を創出するとともに、最適な治療法につながるエビデンスの構築により医療の質を向上させるために、国際水準の臨床研究等を実施する体制、また、国際水準の臨床研究等について、他の医療機関と共同で実施するとともに、他の医療機関の実施を支援する体制を整備することを目的とする。
【AMED】臨床試験支援機構築事業	我が国発の革新的な医薬品・医療機器等を創出するために、世界に先駆けてヒトに初めて新規薬物・機器等を投与・使用する臨床試験の実施拠点となる医療機関を整備し、早期・探索的臨床試験等の国際水準の臨床研究及び医師主導治験を実施する体制を整備することを目的とする。
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	主にアジアを対象とする国際的な共同臨床研究を、日本が主導して積極的に推進するための拠点を選定し、国際共同臨床研究に係る企画・立案から、参加機関の調整、中央倫理審査、モニタリング、データマネジメントから監査まで一貫して実施できる体制を整備することを目的とする。
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	医療法に基づく臨床研究中核病院において、未承認薬等による副作用や諸外国の安全性情報収集の一元化と科学的評価を行うことにより、臨床研究の確実な安全性確保体制を構築する。また、臨床研究中核病院以外の医療機関における臨床研究の安全対策に関する相談・サポート体制を構築する。これらにより、より一層の被験者の安全性の確保を構築し、未承認薬等を使用する臨床研究・治験の実施を推進することを目的とする。
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	「早期・探索的臨床試験拠点」等で実施する、大学等発シーズによる国際水準（ICH-GCP準拠）の医師主導治験及び市販後に治療法の比較を行う臨床研究や、それらの病院のARO機能を活用した臨床研究を推進する。
【AMED】医薬品等開発研究PDCAパイロット事業	AMEDで実施する臨床研究・治験推進研究事業において申請された研究課題のうち、医薬品の薬事承認等の実用化を目指す課題について、事前評価委員会に先立ち一次評価を実施することで質の高い研究課題の採択につなげる。また、採択された研究課題に対して、AMEDが実施するPDCAサイクルに基づく一貫した進捗マネジメントについてサポート業務を実施することにより、研究成果を確実に実用化に結びつけることを目指す。
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	本研究事業は、国民により安全な医療技術を早期に提供することを目的とし、日本で生み出された基礎研究の成果を革新的な医薬品等の薬事承認に繋げるため、実用化への見込みが高く、科学性及び倫理性が十分に担保され得る質の高い臨床研究・医師主導治験を支援する。
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	「近代西洋医学を前提として、これに相補・代替療法や伝統医学等を組み合わせることで更にQOL（Quality of Life：生活の質）を向上させる医療であり、医師主導で行うものであって、場合により他職種が協同して行うもの」と定義される、いわゆる「統合医療」について、安全性・有効性等に関する科学的根拠を収集するための研究を行う。
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	DPC、NDBなどの既存の医療等データベースや、SS-MIX2などに格納された電子カルテ情報などからマッピングした標準形式の情報を、医療の質向上・均てん化・診療支援の基盤として活用するとともに、臨床研究等の基盤として活用する、恒常的な仕組みを構築するための研究
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	診療情報データ（NDB、DPC）を元に、地域横断的な医療介護情報のICT化によりデータ基盤を作成し、同データを用いた臨床研究の効率化への応用などの検討を試行的に実施する
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）SATREPS	<ul style="list-style-type: none"> ■開発途上国のニーズを下に、地球規模課題を対象とし、社会実装の構想を有する国際共同研究を政府開発援助（ODA）と連携して推進する。本プログラムでは、地球規模課題の解決及び科学技術水準の向上につながる新たな知見や技術を獲得することやこれらを通じたイノベーションの送出を目的としている。また、その国際共同研究を通じて開発途上国の自立的な研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築を図る。 ■現在実施中の研究領域は「感染症分野」 ■対象セクターは大学、大学共同利用期間、高等専門学校、国公立試験研究機関、独立行政法人、国立研究開発法人及び民間企業等国内の法人格を有する機関に所属し、当該国際共同研究の研究代表者として責務を果たし従事できる者。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（戦略的国際科学技術協力プログラム）SICP	<ul style="list-style-type: none"> ■政府間協定や大臣会合での合意等に基づき文部科学省が設定した協力国・地域・分野の国際研究交流プロジェクトを支援する「トップダウン型」の事業で、欧米、アジア、大洋州、中東、アフリカの諸国との協力を支援。我が国と各国の研究者との活発な研究協力の推進を通じて、科学技術のさらなる発展に貢献することを目的とする。 ■現在実施中の研究領域は「メディカルICT機器の応用」「バイオインフォマティクスを活用したメディカルゲノミクス」「計算論的神経科学」「ライフサイエンス」「高齢化社会のための医学」「ナノバイオテクノロジー」「高齢化に伴う神経・精神疾患」「次世代光学顕微鏡法を利用した神経科学・病因解明に繋がる分子メカニズムへの挑戦」「バイオ医学研究」
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（戦略的国際共同研究プログラム）SICORP	<ul style="list-style-type: none"> ■我が国の優れた研究成果を世界に発信することを視野に、我が国の科学技術を、相補的な技術力を持つ諸外国・地域と連携することにより相乗効果で相互に発展させ、我が国の科学技術力の強化に資する成果を得ることを目的としています。相手国の研究支援機関と連携して、戦略的な国際共同研究を実施することにより、単一国で解決できない国際共通の課題の解決を目指しています。 ■現在実施中の研究領域は「幹細胞とエピジェネティクス」 ■対象セクターは大学、大学共同利用期間、高等専門学校、国公立試験研究機関、独立行政法人、国立研究開発法人及び民間企業等国内の法人格を有する機関に所属し、研究代表者として責務を果たし従事できる者。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（e-ASIA共同研究プログラム）	<ul style="list-style-type: none"> ■アジア地域において、科学技術分野における研究交流を加速することにより、研究開発力を強化するとともに、アジア地域が共通して抱える課題の解決を目指す。AMEDは医療（感染症、癌研究）分野において本プロジェクトに参加している。 ■対象セクターは大学、大学共同利用期間、高等専門学校、国公立試験研究機関、独立行政法人、国立研究開発法人及び民間企業等国内の法人格を有する機関に所属し、研究代表者として責務を果たし従事できる者。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム）	<ul style="list-style-type: none"> ■科学技術イノベーションを推進するため、地域や利用者のニーズを踏まえた研究開発とその成果の実利用、普及段階で隘路となる社会システムの転換とを一体的に推進。 ○途上国におけるイノベーションを促進する国際協力の戦略的推進 我が国とアフリカ諸国の研究機関・大学間で、国際共同研究から人材育成・国際標準化も含めたイノベーションに資する継続的な拠点協力を実施する。この科学技術イノベーション協力を支援することにより、グリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションを中心とする我が国の技術の国際展開を、諸外国機関と共に推進する。国際協力の実施に際して、海外の優れた研究機関・研究者との間で、研究ネットワークを構築し、相互扶助的な連携関係を強化することにより、「地球規模問題に関する開発途上国との協調及び協力の推進」を実施する。 ■対象セクターは大学・大学共同利用機関、国公立試験研究機関、独立行政法人、民間法人及び民間企業等国内の法人格を有する機関
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（アフリカにおける顧みられない熱帯病（NTDs）対策のための国際共同研究プログラム）	<ul style="list-style-type: none"> ■我が国は、アフリカの新興国・途上国において、互いの科学技術、人材育成の強化を通じ、アフリカ諸国が発展する際の大きな阻害要因としてその対策が急務となっている「顧みられない熱帯病（Neglected Tropical Diseases：NTDs）」対策に、その科学技術力によって貢献してゆくことを目指す。 ■研究領域は、WHOが「人類の中で制圧しなければならない熱帯病」と定義している17の疾患等を対象とする。 ■日本側の対象セクターは、大学、大学共同利用機関、高等専門学校、国公立試験研究機関、独立行政法人、国立研究開発法人、民間法人及び民間企業等国内の法人格を有する機関
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ■地球規模の保健課題（感染症対策、母子保健、新型インフルエンザ等への緊急対策、高齢化、生活習慣病など）に関して、WHO等の国際機関と連携しながら我が国の知見や経験を基盤に各国の状況に沿った対策（疾病の原因究明、予防法の検討、疾病の治療法や診断法の標準化等）に関する研究を推進しています。本事業では、我が国の知見や技術を移転し、開発途上国の健康向上を図るとともに、国際機関等における規範設定に資するための成果を創出していくことが求められる。 ■対象セクターは大学・大学共同利用機関、国公立試験研究機関、独立行政法人、民間法人及び民間企業等国内の法人格を有する機関
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業（日米医学協力計画）	<ul style="list-style-type: none"> ■日米医学協力計画に基づき、アジア地域にまん延している疾病に関して、コレラ・細菌性腸管感染症、ウイルス性疾患、抗酸菌疾患、寄生虫疾患、エイズ、肝炎、急性呼吸器感染症、がん、栄養・代謝、免疫分野の専門部会部門が研究を実施
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発フェーズ：基礎研究 研究領域：ライフサイエンス 対象セクター：公的研究機関
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	情報通信技術（ICT）分野の研究開発における競争的資金制度。総務省が定めた戦略的な重点研究開発目標を実現するために、新規性に富む課題の研究開発を実施することを通じて、ICTにおけるシーズの創出、研究者や研究機関における研究開発力の向上、世界をリードする知的財産の創出、国際標準を獲得することなどを目的とする。
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発フェーズ：既に技術的な実現性の検証を終えているもの 研究領域：情報通信 対象セクター：大学、中小ベンチャー企業など

【機関名】資金配分制度名	資金配分制度の狙い・目的
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	高齢者・障害者のための通信・放送業務の高度化に関するもの、又はこれまでに実施されていない高齢者・障害者のための通信・放送業務に関するもの研究及び開発を行う民間企業等に対して、総務省がその研究開発資金の一部を補助することにより、高齢者・障害者向け通信・放送サービスの充実を図ることを目的とする。
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	消防庁の重点研究開発目標の達成や重要施策の推進、消防機関の直面する課題の解決などに資する消防防災分野の研究開発課題を、大学や民間企業等から幅広く公募し、研究を委託するとともに、その成果を国民が安心・安全に暮らせる社会の実現に活用。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	世界最高水準のIT利活用社会の実現を目指し、ビッグデータ利活用のための研究開発と人材育成、情報システムを支える革新的技術開発・実用化を重点的に実施し、安全かつ豊かで質の高い生活の実現、新たな知の創造や新サービスの創出に貢献する。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	我が国に散在する光科学技術に関するポテンシャルを効果的に結集するために、当該分野の研究開発能力を有する複数の研究機関がネットワーク研究拠点を構築することを支援する。本ネットワーク研究拠点では、当該研究開発によって生まれる新たな光の利活用を行う産業界や、ナノテクノロジー・材料、ライフサイエンスなどの他分野の研究機関等と密接に連携・協力することにより、光科学技術のシーズと各分野のニーズのマッチングを図る。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	光・量子ビーム技術の連携を促進し、我が国の有する施設・設備を横断的に活用する先進的利用研究と、将来を俯瞰した基盤技術開発を推進することで、課題解決に向けた研究開発を強化し、開発の成果を社会に還元するとともに、将来の利用研究の礎とすることを旨とする。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	ナノテクノロジー・材料分野において高い研究水準を誇る我が国が、地球環境問題を抜本的に解決して持続可能な社会を構築するために、産学が連携して環境技術の基礎基盤的な研究開発を推進するための研究拠点を構築する。
【文科】元素戦略プロジェクト	世界的な需要の急増や資源国の輸出管理政策により、レアメタルやレアアース等の希少元素の深刻な供給不足に直面している中、「元素戦略(物質・材料の特性・機能を定める元素の役割を解明し利用する観点から材料研究のパラダイムを革新し、新しい材料の創製につながる研究)」を強力に推進するため、卓越したリーダーが主導する拠点を形成し、集中的に取り組む。
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	宇宙航空利用を新たな分野で進めるにあたって端緒となる技術課題にチャレンジする研究開発、宇宙航空開発利用の発展を支える人材育成等、宇宙航空開発利用の新たな可能性を開拓するための取組を行い、さらなる裾野拡大を目的とする。
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の廃炉等を始めた原子力分野の課題解決に資する基礎的・基盤的研究を推進する。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	トップダウンで定めた戦略目標・研究領域において、大学等の研究者から提案を募り、組織・分野の枠を超えた時限的な研究体制(バーチャル・ネットワーク研究所)を構築して、イノベーション指向の戦略的な基礎研究を推進するとともに、有望な成果について研究を加速・深化する。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	温室効果ガスの削減を中長期にわたって継続的かつ着実に進めていくため、文部科学省が策定する研究開発戦略のもと、新たな科学的・技術的知見に基づいて温室効果ガス削減に大きな可能性を有する技術を開発するための研究開発を推進し、グリーン・イノベーションの創出につながる研究開発成果を得ることを目指す。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	自然科学と人文・社会科学の双方の知見を活用し、現場における様々な知見や経験に基づいた問題解決型の研究開発を推進することにより、社会における具体的問題の解決を通して社会的・公共的価値を創出する。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最速展開支援プログラム)	・実用化の可能性を検証するシーズ探索、企業との実用化に向けた共同研究開発等、それぞれの状況におけるニーズや課題の特性に応じた最適なファンディング計画を設定し、大学等の研究成果を実用化につなぐための産学共同研究に対する総合的かつシームレスな支援を実施する。 ただし、一部のタイプについては、 ・東北経済連合会等や自治体と連携のもと、被災地産学共同研究支援、全国の大学等の技術シーズの育成強化、技術シーズの被災地企業への移転促進等を総合的に実施することで、全国の大学等の革新的技術シーズを被災地企業において実用化し、被災地復興に貢献する。宮城県、岩手県、福島県の活動拠点をマッチングプランナーを配置し、プログラムを実施。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	産業界で共通する技術的課題「技術テーマ」の解決に資する大学等による基盤研究を推進する。産と学の対話の場である「産学共創の場」を構築し、産業界の視点や知見を基礎研究にフィードバックすることで、「技術テーマ」の解決を加速する。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	科学技術の発展や新産業の創出につながる革新的な新技術の創出を目指したJSTの基礎研究事業等の成果を基にテーマを設定し、そのテーマのもとで実用化に向けて、長期一貫してシームレスに研究開発を推進することで、産業創出の礎となりうる技術を確立し、イノベーションの創出を図る。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	10年後、どのように「人が変わるべきか」、「社会が変わるべきか」、その目指すべき社会像を見据えたビジョン主導型のチャレンジング・ハイリスクな研究開発を行う。国がリスクをとって、革新的であり、技術的成立が困難であるが、社会的・経済的インパクトが大きい革新的研究開発の成果と規制改革等を合わせて革新的なイノベーションを実現させる。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	地域における企業の開発ニーズを戦略的に把握し、全国の大学等の研究成果、知的財産の中からその解決に資するものを選びつける専門人材「マッチングプランナー」を配置して企業の開発ニーズを解決し、高付加価値・競争力のある地域科学技術イノベーションを創出することを目的とする。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	リスクが高く既存企業が研究開発を行うことができないが、市場に大きく展開する可能性を持つ大学等の技術を事業化するため、新規事業創出のノウハウを持つ民間の人材を活用し、革新的なベンチャー企業創出に資する研究開発を推進する。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	地域に集積する産・学・官・金(金融機関)のプレイヤーが共同で5年後、10年後からその先に実現される地域の姿と社会的価値を「ビジョン」として掲げ、国内外の異分野融合による最先端の研究開発、成果の事業化、人材育成を一体的かつ総合的に展開するための複合型イノベーション推進基盤としてのリサーチコンプレックスを成長・発展させ、地方創生にも資することを目的とする。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	最先端の研究やものづくり現場でのニーズに応えるため、将来の創造的・独創的な研究開発に資する先端計測分析技術・機器及びその周辺システムの開発を行う。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	我が国の優れた科学技術と政府開発援助(ODA)との連携により、アジア・アフリカ等の開発途上国と環境・エネルギー、防災、感染症、生物資源分野等の地球規模課題の解決につながる科学技術協力を推進する。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	省庁間合意に基づき文部科学省が特に重要なものとして設定した国・地域・研究分野における国際共同研究プロジェクトを支援する。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	省庁間合意に基づき文部科学省が特に重要なものとして設定した国・地域・研究分野における国際研究交流プロジェクトを支援する。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	国立研究開発法人の機能強化を支援し、グローバルな競争環境の中で優位性を発揮できるよう、また我が国の研究力・人材力強化の中核的な拠点として必要な役割を果たすことができるよう、各国立研究開発法人の使命・役割に応じた国際的な拠点化や国内外の関係機関との連携、すなわち「イノベーションハブ」の構築を進める。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	国内外に散在しているライフサイエンス分野のデータやデータベースについて、それらの共有を強力に促進し、公共財として誰でも自由に活用できるようにするとともに、生物種や個々の目的やプロジェクトを超えて幅広い統合化を実現することにより、データがより多くの分野の研究者、開発者、技術者に簡便に利活用できるようにして、データの価値を最大化することを旨とする。データの共有、統合を通して、我が国のライフサイエンス研究の成果をあまねく行き渡るようにするとともに、それを十分に活用できる環境を構築することにより、ライフ分野におけるイノベーションを促す。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響から復興と再生を遂げるため、行政ニーズ、被災地ニーズ等が高く、開発に一定期間を要する高度な放射線計測技術・機器及びシステムの開発を行う。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	内閣府 総合科学技術・イノベーション会議が自らの司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野の枠を超えたマネジメントに主導的な役割を果たすことを通じて、科学技術イノベーションを実現する
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	ImPACTの究極的な目的は、「イノベーションに最も適した国」「起業、創業の精神に満ちあふれた国」の実現である。実現すれば産業や社会のあり方に大きな変革をもたらす革新的なイノベーションの創出を目指し、ハイリスク・ハイインパクトな研究開発を推進する。PMがプロデューサーとして研究者をキャスティングし、研究開発のデザイン力、マネジメント力と、我が国のトップレベルの研究開発力を結集する。

【機関名】資金配分制度名	資金配分制度の狙い・目的
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	対象:国際的に高い評価を得ている研究をより一層推進するために、研究費を重点的に交付することにより、格段に優れた研究成果が期待される一人又は比較的少人数の研究者で組織する研究計画。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	対象:一人又は比較的少人数の研究者で組織する研究計画であって、これまでの研究成果を踏まえて、さらに独創的、先駆的な研究を格段に発展させるための研究計画
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	対象:一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、独創的、先駆的な研究を格段に発展させるための研究計画
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	対象:一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、独創的、先駆的な研究を格段に発展させるための研究計画
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	対象:一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、独創的、先駆的な研究を格段に発展させるための研究計画
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	対象:一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、独創的な発想に基づく、挑戦的で高い目標設定を掲げた芽生え期の研究
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	対象:39歳以下の研究者が一人で行う研究計画であって、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究計画
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	対象:39歳以下の研究者が一人で行う研究計画であって、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究計画
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	対象:前年秋の募集時期に応募できなかった研究者が一人で行う研究計画であって、その研究活動のスタートを支援することにより、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究計画
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	目的:奨励研究は、教育・研究機関の教職員等(※)であって、他の科学研究費助成事業の応募資格を持たない者が一人で行う教育的・社会的意義を有する研究を助成し、奨励することを目的とする。 ※「教育・研究機関の教職員」とは、主に、小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校・幼稚園・専修学校の教員、教育委員会の所管に属する教育・研究機関の職員、大学等の研究機関の教職員を指す。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	目的・性格:研究成果の公開発表、重要な学術研究の成果の発信及びデータベースの作成・公開について助成することによって、我が国の学術の振興と普及に資するとともに、学術の国際交流に寄与する
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	対象:特別研究員が一人で行う研究計画であって、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究計画 対象:科研費の応募資格を有する受入研究者が外国人特別研究員と共同して行う研究計画であって、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究計画
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	目的:多様な研究者グループにより提案された、我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域について、共同研究や研究人材の育成、設備の共用化等の取組を通じて発展させる
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	他の研究種目の応募書類の提出時には予想できなかった研究課題(突発的に発生した災害に関する研究など)であり、かつ、当該年度に実施しなければならない緊急の研究課題(早急に研究を開始しないと対象が消失してしまう研究など)であって、極めて重要なものが発生した場合に助成することを目的とする。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	学術上価値が高く、散逸することにより我が国の学術研究の発展に悪影響を及ぼすおそれのある資料の収集、保管及び公開を含む特色ある研究に関する事業等の助成を目的とする。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	対象:平成27年4月1日現在で「基盤研究(海外学術調査を除く)」又は「若手研究」に採択されており、応募時点において研究を実施中の研究者(平成27年4月1日現在で36歳以上45歳以下の者(昭和44年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた者))が一人て一定期間海外の大学や研究機関において海外共同研究者と共同で行う研究計画であって、すでに採択されている「基盤研究(海外学術調査を除く)」又は「若手研究」の研究計画を格段に進展させることが期待される研究計画
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援))	新学術領域研究の研究領域により提案された、国際共同研究の推進や海外ネットワークの形成(国際的に評価の高い海外研究者の招聘やポストドクターの相互派遣等)の促進を目的
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(帰国発展研究))	対象:日本国外の研究機関に所属する日本人研究者が、帰国後に日本国内の研究機関(注1)に所属し日本を主たる拠点(注2)として一人又は複数の研究者で行う研究計画であって、独創的、先駆的な研究を格段に発展させるための研究計画 (注1) 研究機関は、科学研究費補助金取扱規程(文部省告示)第2条に規定される研究機関であることが必要です。 (注2) 海外の研究機関とのクロスアポイントメント等については妨げませんが、交付申請時に「日本を主たる拠点として研究を遂行する旨」について確認する予定です。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	研究開発フェーズ:基礎研究/応用研究/開発研究 研究領域:厚生労働科学研究分野(医療分野の研究開発除く。) 対象セクター:国内の試験研究機関等(厚生労働省の施設等機関、地方公共団体の附属試験研究機関、大学及び同附属試験研究機関、民間の研究等)
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	研究開発フェーズ:医薬品等の開発(臨床試験、非臨床試験等) 研究領域:希少疾病用医薬品、希少疾病用医療機器、希少疾病用再生医療等製品 対象セクター:医薬品開発企業等
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	研究開発フェーズ:医薬品等の開発(臨床試験、非臨床試験等) 研究領域:希少疾病用医薬品、希少疾病用医療機器、希少疾病用再生医療等製品 対象セクター:医薬品開発企業等
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	希少疾病用医薬品等の開発について、その充実・強化を図るため、再生医療等製品の開発や臨床試験の支援を行い、新たな再生医療等製品を提供することを目指す。
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	農林水産省において、農林水産・食品分野の実用化段階の研究開発を、産学による共同研究グループへの委託により支援する。
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	民間・大学・独法などのオールジャパンの英知を結集して、水田作、畑作、畜産等の各研究分野ごとに革新的な技術体系の確立を立するための実証研究を行う。
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	上記実証研究が消費者や実需者のニーズに立脚したものとなるよう、大学等の協力を得てマーケティング研究や経営評価研究を行う。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	農林水産業・食品産業において、医学、工学等の異分野の研究成果を農林水産分野に活用するための研究開発を支援して革新的な技術を創出し、農林水産業・食品産業の成長産業化を加速する。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	農林水産業・食品産業において、医学、工学等の異分野の研究成果を農林水産分野に活用するための研究開発を支援して革新的な技術を創出し、農林水産業・食品産業の成長産業化を加速する。
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	生産現場や民間の技術開発ニーズ及び消費者ニーズに基づき、優れた生物系特定産業技術の事業化に向けた研究開発をおこなうとする民間企業等にその研究実施を委託し、その成果の製品化・新事業の創出を促進
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	生産現場や民間の技術開発ニーズ及び消費者ニーズに基づき、優れた生物系特定産業技術の事業化に向けた研究開発をおこなうとする民間企業等にその研究実施を委託し、その成果の製品化・新事業の創出を促進
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	SIPは、総合科学技術・イノベーション会議が司令塔になり、府省の枠を超え、基礎研究から出口(実用化・事業化)までを見据え研究を推進。次世代農林水産業創造技術は、SIPの10の対象課題のうちの1つで、農政改革と一体的に革新的生産システム、新たな育種・植物保護、新機能開拓を実現することにより、新規就農者、農業・農村の所得の増大と生活の質の向上、関連産業の拡大、世界的食料問題への貢献していくことを目指している。
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	研究開発フェーズ:実証研究 研究領域:制限なし 対象セクター:中小企業、小規模事業者と大学等との産学連携体

【機関名】資金配分制度名	資金配分制度の狙い・目的
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発、試作品開発等及び販路開拓への取組を一貫して支援。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	我が国の産業競争力強化並びにエネルギー・環境問題の解決に貢献すべく、政府の基本的な政策に基づく分野に重点を置いて、日本の産業競争力強化へ繋がる技術開発を実施する。 (研究領域:新エネルギー分野、省エネルギー分野、蓄電池・エネルギーシステム分野、クリーンコールテクノロジー分野、環境・省資源分野、電子・情報通信分野、材料・ナノテクノロジー分野、バイオテクノロジー分野、ロボット技術分野、新製造技術分野、国際展開支援)
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	我が国の産業競争力強化並びにエネルギー・環境問題の解決に貢献すべく、政府の基本的な政策に基づく分野に重点を置いて、日本の産業競争力強化へ繋がる技術開発を実施する。 (研究領域:クリーンコールテクノロジー分野)
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	比較的短期間で成果が得られ、即効的な市場創出・経済活性化に高い効果を有し得る技術開発課題を対象に、必要に応じて大学等の基礎基盤の科学技術の知見も活用しつつ、実用化・事業化を後押しするための技術開発を実施する。 (研究領域:バイオテクノロジー分野、ロボット技術分野)
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	比較的短期間で成果が得られ、即効的な市場創出・経済活性化、エネルギー・環境問題の解決に高い効果を有し得る技術開発課題を対象に、必要に応じて大学等の基礎基盤の科学技術の知見も活用しつつ、実用化・事業化を後押しするための技術開発を実施する。 (研究領域:新エネルギー分野、省エネルギー分野、蓄電池・エネルギーシステム分野、環境・省資源分野、電子・情報通信分野、材料・ナノテクノロジー分野、バイオテクノロジー分野、ロボット技術分野、新製造技術分野)
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	所属機関や経歴業績等にとらわれず、若手研究者や地方の大学公的研究機関の優れた提案も含め、我が国の産業競争力の強化やエネルギー・環境問題の解決等の政策目的に即し、基礎的、基盤的なものから、広範な産業への波及効果が期待できるもので、将来の産業技術シーズとして広くポテンシャルを有する技術開発を実施する。 具体的には、産業技術力強化及び産業技術研究若手人材育成の観点から、大学・研究機関等の若手研究者の産業応用を意図した研究開発を支援する。 (研究領域:新エネルギー分野、省エネルギー分野、蓄電池・エネルギーシステム分野、環境・省資源分野、電子・情報通信分野、材料・ナノテクノロジー分野)
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	我が国が、2050年にエネルギーを起源とする温室効果ガスの半減等、エネルギー・環境分野の中長期的な課題を解決していくために必要な、省エネルギー・新エネルギー・CO2削減等のエネルギー・環境分野における、2030年以降の実用化を見据えた従来の発想によらない革新的な技術の開発や新しいシステムの原石を発掘し、将来の国家プロジェクト化への道筋をつけることを目指す「エネルギー・環境新技術先導プログラム」を実施する。 (研究領域:省エネルギー・新エネルギー・CO2削減等のエネルギー・環境分野)
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	創業期の技術開発型ベンチャー企業に対して事業化支援人材によるビジネスプラン構築支援や研究開発に対する支援を実施する事業の他、国内外のベンチャーキャピタル、シード・アクセラレーター等を認定し、それらによる出資を条件とした技術開発型ベンチャー企業への助成事業及び事業会社と共同研究等を実施することを条件とした助成事業を実施する。 (研究領域:新エネルギー分野、省エネルギー分野、蓄電池・エネルギーシステム分野、クリーンコールテクノロジー分野、環境・省資源分野、電子・情報通信分野、材料・ナノテクノロジー分野、バイオテクノロジー分野、ロボット技術分野、新製造技術分野、国際展開支援)
【国交】建設技術研究開発助成制度	研究開発フェーズは実証・実用化段階を対象としている。対象は国土交通省の所掌する建設技術の高度化及び国際競争力の強化、国土交通省が実施する研究開発の一層の推進等に資する研究開発課題である。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	研究開発フェーズは基礎研究を対象
【環境】環境研究総合推進費	地球温暖化の防止、循環型社会の実現、自然環境との共生、環境リスク管理等による安全の確保など、持続可能な社会構築のための環境政策の推進にとって不可欠な科学的知見の集積及び技術開発の促進を目的として、環境分野のほぼ全領域にわたる研究開発を実施している。大学、公的研究機関及び民間の研究機関等を対象としている。
【防衛】安全保障技術研究推進制度	研究開発フェーズ:基礎研究 研究領域:社会基盤 対象セクター:①大学、高等専門学校、②独立行政法人(国立研究開発法人含む)、特殊法人又は地方独立行政法人、③民間企業、研究を主な目的とする公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人又は一般財団法人

アウトプット目標・アウトカム目標

【機関名】資金配分制度名	アウトプット目標・アウトカム目標の有無	アウトプット目標・アウトカム目標の区別の有無	アウトプット目標・アウトカム目標の具体的内容
【内閣】食品健康影響評価技術研究	○	○	<p><アウトプット目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品健康影響評価技術研究成果報告書の食品安全委員会ホームページ掲載件数(※前年度終了課題のホームページ掲載件数) <p><アウトカム目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究終了後1年間にリスク評価等(評価書、評価指針、ガイドライン、リスクプロファイル等)に活用された割合(研究終了後、その成果をリスク評価等に活用するためには、「当該研究が同分野の研究者等による評価・検証(ピアレビュー(査読))を経た論文として学術誌等に掲載されること」、「評価に必要な他分野の知見、開発された評価方法に沿ったデータ等の収集」など、いくつかの段階を経ることが必要であり、研究終了直後において、その成果をリスク評価等に活用することは困難であることから、研究終了後1年間にリスク評価等に活用された割合をアウトカム目標として設定。
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	×	×	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	○	×	研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP、S-イノベ、産学共創基礎基盤研究プログラム))における支援課題数 ※毎年度、対前年度と同程度を目標とする
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	○	×	研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP、S-イノベ、産学共創基礎基盤研究プログラム))における支援課題数 ※毎年度、対前年度と同程度を目標とする
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	○	×	研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP、S-イノベ、産学共創基礎基盤研究プログラム))における支援課題数 ※毎年度、対前年度と同程度を目標とする
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	○	×	産学連携医療イノベーション創出プログラムにおける支援課題数 ※毎年度、対前年度と同程度を目標とする
【AMED】再生医療実用化研究事業	×	×	設定していない。
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	×	×	
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	×	×	
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	○	○	<p>各研究領域ごとに下記アウトプット目標を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年で新規抗がん剤のリード化合物またはリード抗体を4種取得 ・5年で新規抗がん剤のリード化合物またはリード抗体を5種取得 ・5年で新規抗がん剤のリード化合物を4種取得 ・5年で発がんリスク及び早期がん診断用バイオマーカー3種を開発し、さらに、新規抗がん剤のリード化合物を2種取得 ・5年で新規抗がん剤のリード化合物を4種取得 ・5年で3種のがんに対して効果的な新規治療デザインを確立 ・5年で難治がん治療のための革新的な新規分子標的3種を取得 ・5年で3種のがんに対する既存のTK阻害剤の有効性を証明し、治験を開始。また、新規TK阻害剤のリード化合物2種を取得 ・5年で3種のがんに対して新規の早期がん診断システムを開発し、有効性検証のための臨床試験を開始 ・5年で免疫治療の有効性予測マーカー3種を取得
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	×	×	
【AMED】脳科学研究推進プログラム	×	×	
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	×	×	
【AMED】長寿科学研究事業	×	×	
【AMED】認知症研究開発事業	×	×	
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	×	×	
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	×	×	
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	○	×	本プログラムは、遺伝情報を基に個人個人に適合した診断・治療・予防を可能とする医療(オーダーメイド医療)の実現に向けた取組として、第1期(平成15～19年度)と第2期(平成20～24年度)において構築した世界最大規模の患者バイオバンクであるBBJを最大限に活用することで、対象疾患とする患者の血清・臨床情報・予後情報の継続収集に加え、生活習慣情報の新規収集を図るとともに、BBJの安定した運営と維持を図ることを目的としている。また、疾患関連遺伝子や薬剤応答遺伝子の同定および疾患SNP解析データベースの構築により、新しい診断・治療・予防への展開を図ることにより、オーダーメイド医療の医療現場への導入を目指している。
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	○	×	基礎研究の成果を適切に臨床研究に橋渡しするために必要な研究の推進、倫理性及び科学性が十分に担保され得る質の高い臨床研究の推進、医療上必要な医薬品・医療機器の医師主導治験の推進並びに我が国で実施する臨床研究・治験の質の向上を目的とした人材育成等を目的とする研究
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	×	×	
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	○	×	次世代バイオ医薬品の創出に係る革新的基盤技術を確立するとともに、5年以内に企業等へ導出すること。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	×	×	
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	×	×	
【AMED】創薬基盤推進研究事業	×	×	
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	○	○	病気の原因となる標的タンパク質に対する医薬品候補化合物を特定するソフトウェアの国内製薬企業等の利用件数について、平成35年度30件をアウトカム目標とする。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	○	○	国際基準に適合したバイオ医薬品製造技術の利用数について、平成35年度開発成果による製品の導入実績10件とトータルシステムとしての導入実績をアウトカム目標とする。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	○	○	がんやアルツハイマーを特定するために構築したデータベース及び特定に利用するマイクロRNA測定技術を利用した製品数について、平成35年度開発成果による製品の数5件をアウトカム目標とする。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	×	×	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	×	×	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	×	×	

【機関名】資金配分制度名	アウトプット 目標・アウトカム 目標の有無	アウトプット 目標・アウトカム 目標の区別の 有無	アウトプット目標・アウトカム目標の具体的内容
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	×	×	
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	×	×	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出 (インキュベータータイプ))	×	×	
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析 技術・機器開発プログラム	○	○	<p><アウトプット目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 革新的医療機器の実用化に資する成果に関する特許出願等の件数(累積) <p><アウトカム目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 革新的医療機器の実用化に資する成果の件数
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究 開発事業	○	○	<p><アウトプット目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 革新的な医療機器・システムの開発実施件数 <p><アウトカム目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業で開発する医療機器・システムについて、H30年度までに18件、H33年度までに26件の実用化に向けた機器仕様を決定する。
【AMED】医工連携事業化推進事業	○	○	<p><アウトプット目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 新規採択事業件数 <p><アウトカム目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 最終目標年度までに医療機器等100案件の実用化
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	○	○	<p><アウトプット目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 「ロボット技術の介護利用における重点分野」のロボット介護機器の介護現場での実証試験実施件数 <p><アウトカム目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ロボット介護機器の発売機種数を平成28年度当初25件、平成29年度末50件を達成する。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	○	○	<p><アウトプット目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ロボット介護機器の普及促進、真に役立つ機器開発のための安全評価基準、効果性能基準、実証試験基準等の開発 <p><アウトカム目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ロボット介護機器の発売機種数を平成28年度当初25件、平成29年度末50件を達成する。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	○	○	<p><アウトプット目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 「医療分野研究開発推進計画」の実行状況～各省連携プロジェクト～(健康・医療戦略推進専門調査会による2015年までの各達成目標の進捗に係る評価)(順調に進捗している/(順調に進捗している+進捗が不十分)の割合) 「医療分野研究開発推進計画」の実行状況～各省連携プロジェクト～(健康・医療戦略推進専門調査会による2020年(一部2020～2030年)頃までの各達成目標の進捗に係る評価)(順調に進捗している/(順調に進捗している+進捗が不十分)の割合) ※ともに、「現時点では評価が困難」とされたものについては母数から除く。 <p><アウトカム目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器開発・実用化促進のためのガイドライン新たに10本策定 国内医療機器市場規模の拡大(2011年2.4兆円→2015年2.7兆円、2020年3.2兆円) 医療機器の輸出額倍増(2011年約5千億円→約1兆円) 5種類以上の革新的医療機器の実用化
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	○	○	<p><アウトプット目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器の開発拠点となる医療機関で研修を行う者 <p><アウトカム目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器開発・実用化促進のためのガイドライン新たに10本策定 国内医療機器市場規模の拡大(2011年2.4兆円→2015年2.7兆円、2020年3.2兆円) 医療機器の輸出額倍増(2011年約5千億円→約1兆円) 5種類以上の革新的医療機器の実用化
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等 開発推進研究事業	×	×	
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急 対策研究事業)	×	×	
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬 実用化等研究事業)	○	×	日本発のB型肝炎治療薬の開発
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	○	×	新たな治療法等の開発
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	×	×	
【AMED】創業支援推進事業(創業総合支援事業)	○	×	<p>2020年までの達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談・シーズ評価1,500件 有望シーズへの創業支援200件 企業への導出5件
【AMED】創業支援推進事業(創業支援インフォーマティ クスシステム構築)	○	×	薬物動態と毒性を中心としたインシリコの統合解析プラットフォーム(データベース、モデリング機能、予測機能から成るシステム)を構築する。
【AMED】創業支援推進事業(希少疾病用医薬品指定 前実用化支援事業)	○	×	希少疾病用医薬品としての厚生労働大臣の指定を目指す。
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	○	×	<p>中長期計画において以下の目標を設定している。</p> <p>希少・難治性疾患(難病)の克服を目指すため、患者数が希少ゆえに研究が進まない分野において、各省が連携して全ての研究プロセスで切れ目ない援助を行うことで、難病の病態を解明するとともに、効果的な新規治療薬の開発、既存薬剤の適応拡大等を一体的に推進する。具体的には、未だ治療法の確立していない難病等に対し、治療法の開発に結びつくような新しい疾患の病因、病態解明を行う研究を推進するため、疾患モデルの作成や生体試料の収集、管理、運用するシステムに関する研究を行い研究基盤の創出を図りつつ、遺伝子解析等、病因、病態解明を行う研究及びシーズの探索を行う研究を推進する。また、実用化を視野に入れた画期的な診断法、治療法及び予防法の開発を目指す研究を推進するため、薬事承認に必要とされる前臨床試験及び臨床試験を実施して薬事承認の取得を目指す研究や診療に関する質の高いエビデンスを提供するための研究を促進し、研究成果の実用化を図る。また、難病患者由来の疾患特異的iPS細胞を用いて疾患の発症機構の解明、創薬研究や予防・治療法の開発等の推進を行う。さらに、成果を患者に還元するための関係機関の協力体制を構築しつつ、希少疾患や未診断疾患に関する研究を行う。これらの取組を実施することにより、2020年頃までの達成目標として、</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規薬剤の薬事承認や既存薬剤の適応拡大を11件以上達成(ALS、遠位型ミオパチー等) 欧米等のデータベースと連携した国際共同臨床研究及び治験の推進を目指すものとする。

【機関名】資金配分制度名	アウトプット 目標・アウト カム目標 の有無	アウトプット 目標・アウト カム目標 の有無	アウトプット目標・アウトカム目標の具体的内容
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	○	×	・中長期計画において以下の目標を設定している。 病態解明、新たな予防・診断・治療・保健指導の方法の開発や標準化等といった研究を行う等、実用化を目指した研究を推進していく。(抜粋)
【AMED】腎疾患実用化研究事業	○	×	・中長期計画において以下の目標を設定している。 病態解明、新たな予防・診断・治療・保健指導の方法の開発や標準化等といった研究を行う等、実用化を目指した研究を推進していく。(抜粋)
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	○	×	・中長期計画において以下の目標を設定している。 病態解明、新たな予防・診断・治療・保健指導の方法の開発や標準化等といった研究を行う等、実用化を目指した研究を推進していく。(抜粋)
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	○	×	・中長期計画において以下の目標を設定している。 病態解明、新たな予防・診断・治療・保健指導の方法の開発や標準化等といった研究を行う等、実用化を目指した研究を推進していく。(抜粋)
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	○	×	・中長期計画において以下の目標を設定している。 病態解明、新たな予防・診断・治療・保健指導の方法の開発や標準化等といった研究を行う等、実用化を目指した研究を推進していく。(抜粋)
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	○	×	プログラム期間内に、1 機関(拠点)あたり有望な基礎研究の成果が、3 件以上医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)に基づく医師主導治験の段階に移行すること
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	○	×	日本全体の臨床研究・医師主導治験の質を向上させ、アカデミア等による革新的な基礎研究の成果を実用化につなげること。
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	○	×	日本全体の臨床研究・医師主導治験の質を向上させ、アカデミア等による革新的な基礎研究の成果を実用化につなげること。
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	○	×	日本全体の臨床研究・医師主導治験の質を向上させ、アカデミア等による革新的な基礎研究の成果を実用化につなげること。
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	○	×	日本全体の臨床研究・医師主導治験の質を向上させ、アカデミア等による革新的な基礎研究の成果を実用化につなげること。
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	○	×	日本全体の臨床研究・医師主導治験の質を向上させ、アカデミア等による革新的な基礎研究の成果を実用化につなげること。
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	○	×	日本全体の臨床研究・医師主導治験の質を向上させ、アカデミア等による革新的な基礎研究の成果を実用化につなげること。
【AMED】医薬品等開発研究PDCAパイロット事業	○	×	AMEDに申請された研究課題のうち臨床研究プロトコルについて一次評価を行うことにより、効率的な評価の実施及び質の高い臨床研究の採択支援を行う。一次評価の対象課題数の上限は、概ね25課題程度とする。また、採択課題の研究進捗マネジメントのサポート業務として、各研究課題について担当者を定め、研究開発計画書、PDCAシート等に基づき、研究開発計画の達成度(成果)、今後の研究開発計画の妥当性、実用化可能性、等の専門的・技術的観点に基づく進捗マネジメントのサポートを実施する。必要に応じ、ヒアリング等を実施するとともに、実地調査による研究実施体制及び研究の進捗状況把握を行い、次年度に向けた研究計画の策定や研究方法等の指導・助言等を行う。実地調査実施件数については、概ね年間5件程度を上限とする。
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	○	×	臨床研究・治験推進研究事業では、医薬品開発に関する研究を行い、企業への導出に繋がる成果を出すことを目標とする。
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	○	×	「統合医療」における安全性・有効性等に関する科学的根拠を収集するための研究等を行い、厚生労働省の平成25年度から行っている「統合医療」に係る情報発信等推進事業を通じて広く情報発信し、国民および医療従事者の健康保持や疾病治療・予防の選択肢を増やし、医療の質の向上をはかる。
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	○	×	デジタル化・標準化された医療・診療データを一定規模の病院、診療所の電子カルテシステムから一定の標準形式で収集し、EHRクラウドにおいて共通の標準形式に格納後、匿名化処理をして、臨床研究等の2次利用に供する事業を構築する。
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	○	×	地域横断的な医療介護情報のICT化によりデータ基盤を作成し、同データを用いた臨床研究の効率化への応用などの検討を試行的に実施し、事業終了までに導出すること
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	○	×	地球規模課題の解決及び科学技術水準の向上につながる新たな知見や技術を獲得し、これらを通じたイノベーションの創出を図る。また、その国際共同研究を通じて開発途上国の自立的な研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築を図る。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	○	×	1. 研究成果 ・新しい知の創造/画期的な科学技術の進展/新分野の開拓 ・相手国との協力による研究への相乗効果 ・当該研究の今後の展開見込、社会への波及効果 2. 交流活動 ・相手国との研究交流につながる人材育成 ・当該事業を端緒とした相手国との研究交流の増加/持続的発展の可能性(終了後の交流計画を含む)
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	○	×	我が国の優れた研究成果を世界に発信することを視野に、我が国の競争力の源泉となり得る科学技術を諸外国や地域と連携することにより相乗効果を生み出し、相互に発展させることを目指す。相手国のファンディング機関と連携して、戦略的な国際共同研究を実施することにより、単一国で解決できない国際共通的な課題の解決や、国際連携による我が国の科学技術力の強化に資する成果を得る。

【機関名】資金配分制度名	アウトプット目標・アウトカム目標の有無	アウトプット目標・アウトカム目標の区別の有無	アウトプット目標・アウトカム目標の具体的内容
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（e-ASIA共同研究プログラム）	○	×	東アジア地域において、科学技術分野における研究交流を加速することにより、研究開発力を強化するとともに、Health Research（医療研究）、環境、防災など、東アジア諸国が共通して抱える課題の解決を目指す。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム）	○	×	・拠点設置国及び拠点設置国が属する地域の科学技術力向上に加え、社会・経済の発展への波及効果が期待できるか。 ・本プロジェクトを通じて、我が国の経済・産業の活性化等、波及効果が期待できるか。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（アフリカにおける顧みられない熱帯病（NTDs）対策のための国際共同研究プログラム）	○	○	5年間の実施期間では、基盤となる現地システム作りを含め、その共同研究の成果がどのように社会に役立てられ得るかが見通される段階、すなわち社会への還元道筋が具体的に見通し得る段階、あるいはそれ以上の段階に達すること、加えて、若手研究者の育成に資することが期待される。 この実施過程及び成果をもとに、相手国参画機関と連携し、アフリカ諸国や国際機関等の協力を喚起して、NTDs 対策に向けた連携・協力体制の継続即ち拠点協力の継続を図ると共に、実施期間終了後の社会実装を含めたさらなる発展・展開に資することが期待される（継続性、発展性）。
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	○	×	様々な地球規模保健課題について、各国の現状や世界的な取組に関する調査を通じ、課題解決推進に資する提案をすすめる研究を行うと共に、課題解決に資する基礎的知見を集める観点から、疾病の原因、予防法の検討、疾病の治療法及び診断法の標準化に関する研究も行い、世界保健機関（WHO）等の国際機関における規範設定に資する成果を創出する。
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業（日米医学協力計画）	×	×	
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	×	×	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	×		SCOPEは 総務省が定めた戦略的な重点研究開発目標を実現するために、ICTにおけるシーズの創出、研究者や研究機関における研究開発力の向上を目的として、新規性に富む課題の研究開発を委託する事業である。基礎的な開発研究から社会応用実装研究まで、それぞれの研究プログラム間の幅が広く目的が異なるため、統一した定量的な指標を設定することは困難であるが、アウトカム指標の参考値として論文数と特許の数を計上する。また、アウトプット指標の参考値として研究開発課題数を示す。
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	○	○	アウトカム：新事業の創出を目指し、民間資金を呼び込むことができた又は見込みがあるプロジェクトの割合 アウトプット：支援課題件数
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	○	×	事業終了後3年以上経過した案件の事業化率25%以上
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	○	×	研究成果による知見等を踏まえて技術基準の改正や施策への反映を行う。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	○	○	蓄積された知見、技術による新たな知の創造や新サービスの創出、産業応用をアウトカム目標としている。新規の研究課題を開始する前には、文部科学省科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会情報科学技術委員会において事前評価を行うとともに、研究課題実施期間中及び最終年度には複数名の外部有識者による評価を実施することで、より効果的・効率的に研究を推進している。さらに、本プログラムを統括するプログラムディレクター、プログラムオフィサーを置き、研究課題が計画通り目標を達成可能か等の評価を毎年度行っている。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	○	○	アウトプット指標：若手人材の事業参画数（累計） アウトカム指標：本事業に参画している若手人材による、事業を通じた研究成果の論文等掲載数（累計）
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	○	○	アウトプット指標：若手人材の事業参画数（累計） アウトカム指標：本事業に参画している若手人材による、事業を通じた研究成果の論文等掲載数（累計）
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	○	×	既存技術の性能向上を目指した開発や応用研究のみならず、技術シーズの源泉地となる基礎基盤研究を強化し、フレックスルーにつながる拠点の構築。 我が国の最先端の環境技術人材の育成。
【文科】元素戦略プロジェクト	○	×	<磁石材料> 電子論に立脚した磁気モーメント、キュリー温度、結晶磁気異方性の定量的記述やマイクロマグネティクスとの連成による組織に依存する磁区構造のシミュレーション、さらには、異相組成、磁区解析機器の開発による保磁力機構の検証を行う。これらにより、ジスプロシウムなど希少元素を用いない磁石を試作し、機能を実証する。さらに希土類元素をできる限り用いずに従来のもの比べて飛躍的に高い磁気モーメント、キュリー温度、保磁力を有する磁石の実現を図る。 <触媒・電池材料> 固体物理学と量子化学の整合のとれた連携によって、統計力学的取扱いの導入も含めて、バルク界面反応の反応機構の解明、電子状態の温度効果などの定量的記述、系の安定性・劣化に関与する物質などの解析に基づき、触媒機能や電池機能の検証を行う。特に、非希少金属触媒の実現や、ナトリウム電池などのクラーク数の高い元素を用いて飛躍的に高い性能をもつ二次電池の実現を図る。 <電子材料> 電子論に立脚した導電性、透明性、誘電性、発光性等の特性の理論解析・シミュレーションを実施する。その成果に基づき、クラーク数が高い元素を用いて希少元素を含む材料を代替する新規化合物・合金などの物質を設計し、その合成、材料試作及び機能実証を行う。これらにより、当該材料の普遍的な設計指針を確立する。 <構造材料> 電子論に立脚した完全結晶からの欠陥の生成過程と運動のダイナミズムの理論解析や弾性／塑性競合の最適化、破壊プロセスの原子配列に基づく解析、さらにはメソスコピック解析との連成を行う。これらにより、添加される希少元素を本能的に減らした、加工性に優れた高強度材料を試作し機能を実証するとともに、高強度と成形性を両立させる設計指針を確立する。さらに先進的な成形手法に適合した、金属、セラミックス、高分子構造材料の実現を図る。
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	×	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	○	○	アウトプット目標：研究成果論文数、学会等での発表件数、本事業内の「廃止措置研究・人材育成等強化プログラム」において、各採択課題で実施する人材育成プログラム等の受講人数 アウトカム目標：中間評価及び事後評価において進捗を管理し、計画通り、又は計画以上に進む課題の割合を90%以上にする。

【機関名】資金配分制度名	アウトプット目標・アウトカム目標の有無	アウトプット目標・アウトカム目標の区別の有無	アウトプット目標・アウトカム目標の具体的内容
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	○	×	<p>中期計画において以下の目標を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機構は、戦略的な目標等の達成状況に関する成果及びマネジメントを基準とした評価において、新技術シーズ創出研究については、中期目標期間中に事後評価を行う領域の7割以上が目標の達成に資する十分な成果が得られたとの評価結果を得る。 ・新技術シーズ創出研究において領域終了後1年を目途に、制度の趣旨を踏まえつつ研究成果の展開や社会還元につながる活動が行われたと認められる課題が7割以上となること。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○	×	<p>中期計画において、研究内容、研究成果に係る論文発表、口頭発表、特許出願の状況及び成果の社会・経済への波及効果等について把握することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機構は、挑戦的な課題を採択しつつ、事後評価において、大きなブレークスルーにより温室効果ガスの排出を大幅に削減し、世界の低炭素社会に向けての取り組みに大きく貢献することが期待できると評価される革新的な技術が創出されることを目指す。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	○	×	<p>中期計画において以下の目標を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期目標期間中に事後評価を行う領域の7割以上が目標の達成に資する十分な成果が得られたとの評価結果を得る。 ・課題終了後1年を目途に、社会において研究成果を活用・実装する主体との協働や成果の活用などの社会還元につながる活動が行われている課題が7割以上となること。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	○	×	<p>中期計画において、研究開発及び企業化開発の内容、成果、研究開発終了後の研究開発継続状況及び企業化状況、研究開発課題から起業したベンチャー企業の事業内容及び業績等並びにそれらの社会・経済への波及効果等について把握することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦的な課題を採択しつつ、事後評価において、大学等の研究開発成果の効果的な企業化に向けて最適な支援を行い、十分な成果が得られたと評価される課題が、対象課題全体の5割以上となることを目指す。 ・挑戦的な課題を採択しつつ、研究開発期間終了後3年が経過した時点で、企業化に向けて他制度あるいは企業又は大学等独自で継続している課題の割合、既に企業化された課題の割合の合計が、対象研究開発課題全体の3割以上になることを目指す。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	○	×	<p>中期計画において、以下の通り具体的内容を記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの趣旨に沿って挑戦的な課題を採択しつつ、本中期計画中に評価を行う課題について、「産業界に共通する技術的な課題の解決に資する研究開発」では事後評価の6割以上の課題で、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果が得られること。 ・プログラムの研究開発終了課題について、プログラムにより定めた期間が経過した時点で、「産業界に共通する技術的な課題の解決に資する研究開発」では3割以上の課題が、各プログラムで想定する適切なフェーズに至っている(他制度で実施、企業又は大学等独自あるいは共同で実施、既に企業化、ベンチャー企業設立など)と判断されること。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	○	×	<p>中期計画において、以下の通り具体的内容を記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの趣旨に沿って挑戦的な課題を採択しつつ、本中期計画中に評価を行う課題について、「テーマを設定した、コンソーシアム形式による大規模かつ長期的な研究開発」では中間評価の7割以上の課題で、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果が得られること。 ・プログラムの研究開発終了課題について、プログラムにより定めた期間が経過した時点で、「テーマを設定した、コンソーシアム形式による大規模かつ長期的な研究開発」では3割以上の課題が、各プログラムで想定する適切なフェーズに至っている(他制度で実施、企業又は大学等独自あるいは共同で実施、既に企業化、ベンチャー企業設立など)と判断されること。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	○	×	<p>中期計画において、機構は、大学等における基礎研究により生み出された新技術を基に、柔軟な運営により企業が単独では実施しづらい基盤的かつ挑戦的な研究開発を推進することで、科学技術イノベーション創出に貢献することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦的な課題を採択しつつ、中間評価において、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果が7割以上の課題で得られること。 ・研究開発期間終了後適切な時点で、プログラムで想定する適切なフェーズに至っているとの判断が、3割以上の課題でされること。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	○	×	<p>中期計画において、機構は、大学等における基礎研究により生み出された新技術を基に、柔軟な運営により企業が単独では実施しづらい基盤的かつ挑戦的な研究開発を推進することで、科学技術イノベーション創出に貢献することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦的な課題を採択しつつ、中間評価において、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果が6割以上の課題で得られること。 ・研究開発期間終了後適切な時点で、プログラムで想定する適切なフェーズに至っているとの判断が、3割以上の課題でされること。 ・機構が配置する専門人材の働きにより、地域企業ニーズの戦略的な把握及び大学等発シーズとの結びつけが効果的になされ、実用化に向けた共同研究及び事業化につながっていると外部有識者・専門家により評価されること。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	○	×	<p>中期計画において、達成すべき成果として、以下の具体的内容を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期計画期間中に事後評価を行い、5割以上の課題で、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られることを目指す。 ・終了課題については、プログラムにより定められた期間が経過した時点で、3割以上の課題が、プログラムで想定する適切なフェーズに至っていると判断されることを目指す。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	○	×	<p>中期計画において、機構は、大学等における基礎研究により生み出された新技術を基に、柔軟な運営により企業が単独では実施しづらい基盤的かつ挑戦的な研究開発を推進することで、科学技術イノベーション創出に貢献することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦的な課題を採択しつつ、中間評価において、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果が7割以上の課題で得られること。 ・研究開発期間終了後適切な時点で、プログラムで想定する適切なフェーズに至っていると判断が、3割以上の課題でされること。 ・成果の社会実装・地域産業の発展についてのビジョンに基づく研究開発等の推進により、組織・分野を超えたプラットフォーム形成が進展していると、客観的に有識者・専門家により評価されること。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	○	×	<p>中期計画において、研究開発の内容、研究開発成果に係る論文発表、口頭発表、特許出願の状況及び研究開発の成果、研究開発終了後市場投入に向けた開発状況、将来の市場規模予測等及びその成果の社会・経済への波及効果等について把握することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムの趣旨に沿って挑戦的な課題を採択しつつ、本中期計画中に評価を行う課題について、事後評価の8割5分以上の課題で、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られた、完成したプロトタイプ機が実用可能な段階である(本プログラムの一部)との評価結果が得られること。 ・本プログラムの研究開発終了課題について、プログラムにより定めた期間が経過した時点で5割以上の課題が、適切なフェーズに至っている(他制度で実施、企業又は大学等独自あるいは共同で実施、既に企業化、ベンチャー企業設立など)と判断されること。

【機関名】資金配分制度名	アウトプット 目標・アウト カム目標 の有無	アウトプット 目標・アウト カム目標 の区別の 有無	アウトプット目標・アウトカム目標の具体的内容
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	○	×	中期計画において、達成すべき成果として以下具体的内容を示している。 ・中期目標期間中に、事後評価を行う課題について、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムは6割以上において、各プログラムの目標の達成に資する十分な成果を得る。 ・中期目標期間中に、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムの終了課題の6割以上において、社会実装に向けた次のフェーズへの展開(機構他事業、政府開発援助実施機関の他事業、国際機関の事業、企業での開発等への発展)が図られることを目指す。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	×	・中期計画において、達成すべき成果として、具体的内容が示されており、中期計画期間中に事後評価を行う国際共同研究課題の6割以上において、各プログラムの目標の達成に資する十分な成果を得ることを目指すことが定められている。 ・年度計画において、研究内容、研究成果に係る論文発表、口頭発表、特許出願の状況及び成果の社会・経済への波及効果について把握することと定められている。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	○	×	・中期計画において、達成すべき成果として、具体的内容が示されており、中期計画期間中に事後評価を行う国際共同研究課題の7割以上において、各プログラムの目標の達成に資する十分な成果を得ることを目指すことが定められている。 ・年度計画において、研究内容、研究成果に係る論文発表、口頭発表、特許出願の状況及び成果の社会・経済への波及効果について把握することと定められている。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	○	×	中期計画において、機構は、研究開発法人を中核として、産学官の垣根を越えて国内外の人材を糾合する場(イノベーションハブ)を構築するため、研究開発法人の飛躍性ある優れた取組を支援することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・機構が支援した研究開発法人について、中間評価の6割以上の拠点で、イノベーション創出に資する取組が適切に進捗していることと評価されること。 ・大学、産業界等の人材を糾合するためのしくみの整備・運用が、支援を行った研究開発法人の全てで実施されていること。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	○	×	中期計画において以下の通り具体的内容を示している。 国の示す方針に則り、外部有識者や専門家による本事業の評価において、「研究開発による成果について、ライフサイエンス分野のデータベースの統合に資する成果が得られている」との評価結果を得る。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	○	×	中期計画において、研究開発の内容、研究開発成果に係る論文発表、口頭発表、特許出願の状況及び研究開発の成果、研究開発終了後市場投入に向けた開発状況、将来の市場規模予測等及びその成果の社会・経済への波及効果等について把握することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・本プログラムの放射線計測領域で実施した課題のうち、本中期目標期間中に実施された課題の事後評価において、8割以上の課題で、適切に研究開発が進捗し十分な成果が得られた、または、プロトタイプ機が実用可能な段階であるとの評価結果が得られること。 ・本プログラムの放射線計測領域で実施した課題の終了後、プログラムにより定めた期間が経過した後に実施する課題の追跡調査において、課題の7割以上で、プログラムで想定する適切なフェーズに至っていると判断される(開発されたプロトタイプ機、もしくはそれを基に企業化/製品化された機器が被災地等の現場や行政に利用され公開データが取得されているなど)こと。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	○	×	SIP各課題で内閣府が研究開発計画を策定し設定している。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	○	×	実現すれば産業や社会のあり方に大きな変革をもたらす革新的なイノベーションを創出すること。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援))	×	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(帰国発展研究))	×	×	
【厚労省】厚生労働科学研究費補助金	×		
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	○	×	助成金を交付した希少疾病用医薬品等の製造販売承認申請品目数
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	○	×	助成金を交付した希少疾病用医薬品等の製造販売承認申請品目数
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	○	×	開発候補品の本承認、ライセンスアウト、知的財産権の取得
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	○	○	アウトカム ・シーズ創出ステージ(基礎研究段階)、発展融合ステージ(応用研究段階)においては、研究開発を実施した90%について、優れた研究成果が見込まれる研究課題を創出。 ・実用技術開発ステージ(実用化研究段階)においては、研究を実施した課題の90%について、生産現場等で実用化につながる技術的成果を創出。 アウトプット :各年度の実施課題数

【機関名】資金配分制度名	アウトプット 目標・アウト カム目標 の有無	アウトプット 目標・アウト カム目標 の区別の 有無	アウトプット目標・アウトカム目標の具体的内容
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	○	○	アウトプット目標: 水田輪作、畑輪作等における革新的な技術体系実証研究の研究計画数 アウトカム目標: 研究成果の普及性・経済性、波及性等の評価結果を評価が5段階評価のうち、4以上となっているものの比率を60%以上とする
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	○	○	アウトプット目標: 水田輪作、畑輪作等における革新的な技術体系実証研究の研究計画数 アウトカム目標: 研究成果の普及性・経済性、波及性等の評価結果を評価が5段階評価のうち、4以上となっているものの比率を60%以上とする
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	○	○	アウトプット目標: 医療や工学等異分野の産学との共同研究の実施研究分野数 アウトカム目標: 研究終了時に、研究課題の80%以上で、事業化が有望であることが見込まれると評価される
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	○	○	アウトプット目標: 工学等異分野の産学との共同研究の実施研究分野数 アウトカム目標: 研究終了時に、研究課題の80%以上で、事業化が有望であることが見込まれると評価される
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	○	×	研究終了後に目標となる成否判定基準の具体的な内容を達成していること
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	○	×	研究終了後に目標となる成否判定基準の具体的な内容を達成していること
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	×	×	
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	○	○	アウトプット目標: 採択件数 アウトカム目標: 事業終了後2年時点の事業化率 アウトカム目標の把握方法: 平成30年度に事業者ヒアリング
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	○	○	・個々のプロジェクトに関する最終年の達成度の平均値が50%を超えること ・プロジェクト終了後5年以内に事業化を達成するプロジェクトが半数を超えること ・プロジェクト終了後5年時点の事業化達成割合50%以上を維持しつつ、総売上累計額が総予算投入額150%以上を超えること ・プロジェクト終了後8年時点での成果波及効果が総予算投入額の5倍以上を超えること
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	○	○	・ナショナルプロジェクトの特徴、性格を踏まえ技術開発の短期化やリスク回避に決まることがないよう十分留意した上で、事業終了後、5年経過後の時点での実用化達成率を25%以上とする。 ・外部の専門家及び有識者を活用した事後評価において、技術的成果、実用化・事業化見通し、マネジメント等を評価項目とし、8割以上が「合格」、6割以上が「優良」との評価を得る。 ・技術開発成果の国際的普及のため、事業実施期間中から国際標準化に一体的に取り組むとともに、以下の項目に関する数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)を設定して技術開発成果の国際標準化に取り組む。 ①標準化に係る取組を含んだ事業の計画数 ②ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	○	○	・ナショナルプロジェクトの特徴、性格を踏まえ技術開発の短期化やリスク回避に決まることがないよう十分留意した上で、事業終了後、5年経過後の時点での実用化達成率を25%以上とする。 ・外部の専門家及び有識者を活用した事後評価において、技術的成果、実用化・事業化見通し、マネジメント等を評価項目とし、8割以上が「合格」、6割以上が「優良」との評価を得る。 ・技術開発成果の国際的普及のため、事業実施期間中から国際標準化に一体的に取り組むとともに、以下の項目に関する数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)を設定して技術開発成果の国際標準化に取り組む。 ①標準化に係る取組を含んだ事業の計画数 ②ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	○	○	・助成事業終了後、3年経過後の時点での実用化達成率を30%以上とする。また、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者を活用した事後評価について、技術的成果、事業化見通し等を評価項目とし、6割以上が「順調」との評価を得る。 ・技術開発成果の国際的普及のため、事業実施期間中から国際標準化に一体的に取り組むとともに、以下の項目に関する数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)を設定して技術開発成果の国際標準化に取り組む。 ①標準化に係る取組を含んだ事業の計画数 ②ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	○	○	・助成事業終了後、3年経過後の時点での実用化達成率を30%以上とする。また、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者を活用した事後評価について、技術的成果、事業化見通し等を評価項目とし、6割以上が「順調」との評価を得る。 ・技術開発成果の国際的普及のため、事業実施期間中から国際標準化に一体的に取り組むとともに、以下の項目に関する数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)を設定して技術開発成果の国際標準化に取り組む。 ①標準化に係る取組を含んだ事業の計画数 ②ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	○	○	・広範な視点から社会・産業界のニーズに対応するため、大学・研究機関等の若手研究者(個人又はチーム)やその国際共同研究チームなどが有する有望な技術シーズを育成する。 ・技術開発成果の国際的普及のため、事業実施期間中から国際標準化に一体的に取り組むとともに、以下の項目に関する数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)を設定して技術開発成果の国際標準化に取り組む。 ①標準化に係る取組を含んだ事業の計画数 ②ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	○	○	・省エネルギー・新エネルギー・CO2削減等のエネルギー・環境分野において、原則として産学連携に取り組む大学・研究機関・企業等を対象として、原則2030年以降の実用化を見据えた革新的な技術・システムの提案を募集する。募集に当たっては、全国の大学・企業等の人材を「新技術調査委員」として委嘱し、各地方の企業・大学を巡回訪問すること等により全国にちらばる革新的な技術シーズの掘り起こしを行う。また、テーマの選定に当たっては、新規性・独創性・革新性や将来的な波及効果を重視することにより優良案件の採択を促進し、将来の国家プロジェクト化への道筋をつけることを目標とする。 ・技術開発成果の国際的普及のため、事業実施期間中から国際標準化に一体的に取り組むとともに、以下の項目に関する数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)を設定して技術開発成果の国際標準化に取り組む。 ①標準化に係る取組を含んだ事業の計画数 ②ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数

【機関名】資金配分制度名	アウトプット 目標・アウト カム目標 の有無	アウトプット 目標・アウト カム目標 の区別の 有無	アウトプット目標・アウトカム目標の具体的内容
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の取組により、我が国の企業、大学、研究機関等の優れた技術を基にした産業界をリードする研究開発型ベンチャーを創出・育成するとともに、グローバルなネットワークを持つベンチャーキャピタル等の日本での活動が強化されることを目標とする。 ・技術開発成果の国際的普及のため、事業実施期間中から国際標準化に一体的に取り組むとともに、以下の項目に関する数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)を設定して技術開発成果の国際標準化に取り組む。 ①標準化に係る取組を含んだ事業の計画数 ②ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数
【国交】建設技術研究開発助成制度	○	○	我が国が直面する国土交通行政における課題の解決に資することを目的とする。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	○	○	交通運輸分野における、国土交通省施策を推進することを目的とする。
【環境】環境研究総合推進費	○	×	課題毎の事後評価(5段階)で上位2段階を獲得した課題(上位2段階の課題数/全評価対象課題数)60%以上を目標とする。
【防衛】安全保障技術研究推進制度	○	○	防衛に応用可能な技術を発掘・育成した件数

アウトプット目標・アウトカム目標に対する達成状況の評価結果の概要、評価への対応

【機関名】配分(助成)プログラム名称	達成状況の評価結果の概要	評価への対応
【内閣】食品健康影響評価技術研究	<p><アウトプット目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品健康影響評価技術研究成果報告書を食品安全委員会ホームページに掲載した。 <p><アウトカム目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公表済みの評価等(評価書、評価指針、ガイドライン、リスクプロファイル等)に活用された課題の割合は、目標30%に対して29%。ただし、今後、研究成果が評価等に活用される予定である課題を含めると100%となる。 	国が行うべきリスク評価方法の確立や食品のリスク評価技術の高度化に係る研究に引き続き取り組み、その成果物である研究成果報告書については、そのままリスク評価のガイドライン等として活用するほか、リスク評価の基礎データとして活用していく。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム		ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクトのKPIに目標が変更された。中間評価、事後評価はKPIに基づいて行われている。
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	本プログラムは、遺伝情報を基に個人個人に適合した診断・治療・予防を可能とする医療(オーダーメイド医療)の実現に向けて、第1・2期に構築したデータおよび資源を円滑に最大限活用し、対象疾患の患者の血清・臨床情報・予後情報を継続収集するとともに、新たに生活習慣情報の収集を行い、バイオバンクの安定した維持・運営を図っている。平成25年度からの「がん関連」、「メタボリック・シンドローム」、「薬疹」、「保存血清」に関する4領域の疾患関連遺伝子研究体制に加え、平成26年11月に、NC(国立がん研究センター、国立精神・神経医療研究センター、国立成育医療研究センター)及び国立病院機構並びに多施設共同臨床試験グループ(JCOG、JCCG)との連携体制の構築は、体制強化の観点から評価できる。一方で、基盤機能の業務においては、以前より多くの業務が発生したため、特に、解析面におけるスケジュールの遅れが懸念されるので、業務の優先順位を付けることにより、効率的な運用を行うべきである。また、疾患関連遺伝子や薬剤応答遺伝子の同定及び疾患SNP解析データベースの構築により、新しい診断・治療・予防への展開を図り、オーダーメイド医療の医療現場への導入を目指し、SNP解析に十分な体制を維持しつつ、疾患関連遺伝子の解明に加え、実用性が高いと思われる疾患予後・重症化関連遺伝子の解析や薬剤副作用の回避や至適投薬量の決定のための遺伝的素因を解明しているもの、更なるゲノム研究の進展のため、全ゲノムシーケンスへの移行が求められる。また、遺伝子解析を充分に行える体制と人材育成制度を構築すべきである。今後は、本プログラムで明らかになった他の疾患関連遺伝子の情報において、早急な社会還元を目指し、解析結果の有用性を証明できるようにする等、臨床応用に向けた方策を明示するべきである。さらに、積極的なデータ公開と外部利用が可能なシステムの構築が求められる。	評価者へ通知、サイトビジットを行い研究計画に反映する。
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	本研究事業は、多種多様な疾患におけるゲノム医療の実装化のために臨床現場で問題となる課題の抽出と解決法を検討し、今後のゲノム医療の発展に貢献することを目的としている。課題としては4つの研究領域、即ち、1)ゲノム医療の実施体制の構築と実証的臨床研究、2)患者情報の管理手法、特に偶発的所見の取り扱い、3)バイオバンクの国際標準化、4)人材育成、を取り上げ、それぞれについて実証的研究と調査研究を行っており、その取り組みについては高く評価されるべきである。これまでの成果としては、各分担機関でパラシキがあるものの、全体としては概ね妥当であると判断される。ただし、研究領域ごとの評価でも指摘されているが、今後は、この研究組織全体としての統一した目的を明確にすること、各施設間のゲノム医療やクリニカル・シーケンスについての考え方を統一させることなどの取り組みが必要である。	評価者へ通知、翌年度の研究計画に反映。
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	1件の企業等への導出を確認している。	企業等へのさらなる導出に向けて、引き続き、適切な事業運営に努めているところ。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	病気の原因となる標的タンパク質に対する医薬品候補化合物を特定するソフトウェアに係る革新的アルゴリズムの確立平成27年度60%のアウトプット目標に対し、予定通り60%達成した。	順調に技術開発を進めているので、企業等への導出に向けて、引き続き、適切な事業運営に努めている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	バイオ医薬品製造技術の各工程の技術の確立数を平成27年度9件のアウトプット目標に対し、17件達成した。	順調に技術開発を進めているので、技術全体のシステム化を含め、企業等への導出に向けて、引き続き、適切な事業運営に努めている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	がんやアルツハイマーを特定するための診断アルゴリズム数を平成27年度2件のアウトプット目標に対し、5件達成した。	診断マーカーの選定は順調に進んでおり、前向き試験による検証に向けてPMDAとの相談を進めているところである。今後参画企業による実用化に向けて、引き続き、適切な事業運営に努めている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	プログラム評価を実施していないので、記載不能。
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	プログラム評価を実施していないので、記載不能。
【AMED】医工連携事業化推進事業	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	プログラム評価を実施していないので、記載不能。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	プログラム評価を実施していないので、記載不能。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	プログラム評価を実施していないので、記載不能。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	プログラム評価を実施していないので、記載不能。

【機関名】配分(助成)プログラム名称	達成状況の評価結果の概要	評価への対応
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	プログラム評価を実施していないので、記載不能。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(Ｂ型肝炎創薬実用化等研究事業)	外部評価を受け、概ね良好と評価された。	引き続き目標達成に向け事業を推進する。
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	外部評価を受け、概ね良好と評価された。	引き続き目標達成に向け事業を推進する。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	・相談・シーズ評価421件 ・有望シーズへの創薬支援44件 ・企業への導出0件 (平成27年度末時点)	引き続き、目標達成に向けて務める。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォマティクスシステム構築)	5年計画の初年度であり、進捗状況に問題はない。	引き続き、進捗管理を実施する。
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	事業開始初年度につき特段の成果なし。	引き続き、進捗管理を実施する。
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	自己評価および日本医療研究開発機構審議会による評価において指摘された内容についてはアクションプランを考案し、適切な対応を取る予定。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	自己評価および日本医療研究開発機構審議会による評価において指摘された内容についてはアクションプランを考案し、適切な対応を取る予定。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	自己評価および日本医療研究開発機構審議会による評価において指摘された内容についてはアクションプランを考案し、適切な対応を取る予定。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	自己評価および日本医療研究開発機構審議会による評価において指摘された内容についてはアクションプランを考案し、適切な対応を取る予定。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	自己評価および日本医療研究開発機構審議会による評価において指摘された内容についてはアクションプランを考案し、適切な対応を取る予定。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	平成27年度にプログラム評価を実施していない。	自己評価および日本医療研究開発機構審議会による評価において指摘された内容についてはアクションプランを考案し、適切な対応を取る予定。
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	PD、PS、POと共に革新的医療技術創出拠点へのサイトビジット等を通じ、アカデミア等における画期的な基礎研究成果を一貫して実用化につなぐ体制の構築や各開発段階のシーズについて国際水準の質の高い臨床研究や治験を実施・支援する体制の整備に向けた指導助言を行ったことで、各拠点の体制整備の進捗が認められたことは評価できる。 拠点機能の強化・特色化のために、専門人材の育成や確保に加え、プロジェクト連携シンポジウムによる拠点外とのネットワークの強化を実施し革新的な医療技術創出に向けたノウハウの共有を実施し、また、拠点の保有情報の確認を行う等の取組が進められていることは評価できる。 ICH-GCP準拠の質の高い医師主導治験の実施により医薬品医療機器等法に基づく承認品目が出たことは高く評価できるとともに、中長期目標及び今年度目標に掲げられている医療機関に対し、PD、PS、POとともに文部科学省、厚生労働省とともにサイトビジット等を行い、ARO機能の整備状況の確認及び改善・向上の為に適切な指導・助言を実施したことは、今後の成果の創出に資するものであり評価できる。	当該取り組みについては引き続き革新的医療技術創出拠点プロジェクトとして推進
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	PD、PS、POと共に革新的医療技術創出拠点へのサイトビジット等を通じ、アカデミア等における画期的な基礎研究成果を一貫して実用化につなぐ体制の構築や各開発段階のシーズについて国際水準の質の高い臨床研究や治験を実施・支援する体制の整備に向けた指導助言を行ったことで、各拠点の体制整備の進捗が認められたことは評価できる。 拠点機能の強化・特色化のために、専門人材の育成や確保に加え、プロジェクト連携シンポジウムによる拠点外とのネットワークの強化を実施し革新的な医療技術創出に向けたノウハウの共有を実施し、また、拠点の保有情報の確認を行う等の取組が進められていることは評価できる。 ICH-GCP準拠の質の高い医師主導治験の実施により医薬品医療機器等法に基づく承認品目が出たことは高く評価できるとともに、中長期目標及び今年度目標に掲げられている医療機関に対し、PD、PS、POとともに文部科学省、厚生労働省とともにサイトビジット等を行い、ARO機能の整備状況の確認及び改善・向上の為に適切な指導・助言を実施したことは、今後の成果の創出に資するものであり評価できる。	当該取り組みについては引き続き革新的医療技術創出拠点プロジェクトとして推進
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	PD、PS、POと共に革新的医療技術創出拠点へのサイトビジット等を通じ、アカデミア等における画期的な基礎研究成果を一貫して実用化につなぐ体制の構築や各開発段階のシーズについて国際水準の質の高い臨床研究や治験を実施・支援する体制の整備に向けた指導助言を行ったことで、各拠点の体制整備の進捗が認められたことは評価できる。 拠点機能の強化・特色化のために、専門人材の育成や確保に加え、プロジェクト連携シンポジウムによる拠点外とのネットワークの強化を実施し革新的な医療技術創出に向けたノウハウの共有を実施し、また、拠点の保有情報の確認を行う等の取組が進められていることは評価できる。 ICH-GCP準拠の質の高い医師主導治験の実施により医薬品医療機器等法に基づく承認品目が出たことは高く評価できるとともに、中長期目標及び今年度目標に掲げられている医療機関に対し、PD、PS、POとともに文部科学省、厚生労働省とともにサイトビジット等を行い、ARO機能の整備状況の確認及び改善・向上の為に適切な指導・助言を実施したことは、今後の成果の創出に資するものであり評価できる。	当該取り組みについては引き続き革新的医療技術創出拠点プロジェクトとして推進

【機関名】配分(助成)プログラム名称	達成状況の評価結果の概要	評価への対応
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	PD、PS、POと共に革新的医療技術創出拠点へのサイトビジット等を通じ、アカデミア等における画期的な基礎研究成果を一貫して実用化につなぐ体制の構築や各開発段階のシーズについて国際水準の質の高い臨床研究や治験を実施・支援する体制の整備に向けた指導助言を行ったことで、各拠点の体制整備の進捗が認められたことは評価できる。 拠点機能の強化・特色化のために、専門人材の育成や確保に加え、プロジェクト連携シンポジウムによる拠点外とのネットワークの強化を実施し革新的な医療技術創出に向けたノウハウの共有を実施し、また、拠点の保有情報の確認を行う等の取組が進められていることは評価できる。 ICH-GCP準拠の質の高い医師主導治験の実施により医薬品医療機器等法に基づく承認品目が出たことは高く評価できるとともに、中長期目標及び今年度目標に掲げられている医療機関に対し、PD、PS、POとともに文部科学省、厚生労働省とともにサイトビジット等を行い、ARO機能の整備状況の確認及び改善・向上の為に適切な指導・助言を実施したことは、今後の成果の創出に資するものであり評価できる。	当該取り組みについては引き続き革新的医療技術創出拠点プロジェクトとして推進
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	PD、PS、POと共に革新的医療技術創出拠点へのサイトビジット等を通じ、アカデミア等における画期的な基礎研究成果を一貫して実用化につなぐ体制の構築や各開発段階のシーズについて国際水準の質の高い臨床研究や治験を実施・支援する体制の整備に向けた指導助言を行ったことで、各拠点の体制整備の進捗が認められたことは評価できる。 拠点機能の強化・特色化のために、専門人材の育成や確保に加え、プロジェクト連携シンポジウムによる拠点外とのネットワークの強化を実施し革新的な医療技術創出に向けたノウハウの共有を実施し、また、拠点の保有情報の確認を行う等の取組が進められていることは評価できる。 ICH-GCP準拠の質の高い医師主導治験の実施により医薬品医療機器等法に基づく承認品目が出たことは高く評価できるとともに、中長期目標及び今年度目標に掲げられている医療機関に対し、PD、PS、POとともに文部科学省、厚生労働省とともにサイトビジット等を行い、ARO機能の整備状況の確認及び改善・向上の為に適切な指導・助言を実施したことは、今後の成果の創出に資するものであり評価できる。	当該取り組みについては引き続き革新的医療技術創出拠点プロジェクトとして推進
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	PD、PS、POと共に革新的医療技術創出拠点へのサイトビジット等を通じ、アカデミア等における画期的な基礎研究成果を一貫して実用化につなぐ体制の構築や各開発段階のシーズについて国際水準の質の高い臨床研究や治験を実施・支援する体制の整備に向けた指導助言を行ったことで、各拠点の体制整備の進捗が認められたことは評価できる。 拠点機能の強化・特色化のために、専門人材の育成や確保に加え、プロジェクト連携シンポジウムによる拠点外とのネットワークの強化を実施し革新的な医療技術創出に向けたノウハウの共有を実施し、また、拠点の保有情報の確認を行う等の取組が進められていることは評価できる。 ICH-GCP準拠の質の高い医師主導治験の実施により医薬品医療機器等法に基づく承認品目が出たことは高く評価できるとともに、中長期目標及び今年度目標に掲げられている医療機関に対し、PD、PS、POとともに文部科学省、厚生労働省とともにサイトビジット等を行い、ARO機能の整備状況の確認及び改善・向上の為に適切な指導・助言を実施したことは、今後の成果の創出に資するものであり評価できる。	当該取り組みについては引き続き革新的医療技術創出拠点プロジェクトとして推進
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	PD、PS、POと共に革新的医療技術創出拠点へのサイトビジット等を通じ、アカデミア等における画期的な基礎研究成果を一貫して実用化につなぐ体制の構築や各開発段階のシーズについて国際水準の質の高い臨床研究や治験を実施・支援する体制の整備に向けた指導助言を行ったことで、各拠点の体制整備の進捗が認められたことは評価できる。 拠点機能の強化・特色化のために、専門人材の育成や確保に加え、プロジェクト連携シンポジウムによる拠点外とのネットワークの強化を実施し革新的な医療技術創出に向けたノウハウの共有を実施し、また、拠点の保有情報の確認を行う等の取組が進められていることは評価できる。 ICH-GCP準拠の質の高い医師主導治験の実施により医薬品医療機器等法に基づく承認品目が出たことは高く評価できるとともに、中長期目標及び今年度目標に掲げられている医療機関に対し、PD、PS、POとともに文部科学省、厚生労働省とともにサイトビジット等を行い、ARO機能の整備状況の確認及び改善・向上の為に適切な指導・助言を実施したことは、今後の成果の創出に資するものであり評価できる。	当該取り組みについては引き続き革新的医療技術創出拠点プロジェクトとして推進
【AMED】医薬品等開発研究PDCAパイロット事業	・外部有識者として国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所に進捗管理を業務委託することで、研究マネジメントを効率的に実施したことは評価できる。	特になし
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	小児用補助人工心臓及びレザフィリンおよび半導体レーザーを用いた光線力学療法が薬事承認されたことは高く評価できる。	引き続き臨床研究・医師主導治験を推進
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	PS・POと共働のもと、統合医療に関する、安全性・有効性に関する知見を収集しその評価手法を研究する課題について進捗管理を行ったことに加え、より効果的・効率的に研究開発が進められるよう研究班の実施体制及び研究内容に対して指導・助言を実施した。 ・また、機動的な研究費の配分として成果が見込まれる研究開発課題に対してPSPOの助言を仰ぎつつ研究費の追加配分を行うなど、今後の成果の創出の期待が認められ評価できる。	引き続き統合医療の質の確保と根拠の収集を推進
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	11の病院で実施し、着実に参加病院を拡大している点、また実際にサンプル抽出・解析に着手していることは評価できる。	引き続き推進する
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	短期間で、NDBの使いづらさ、限界、改善すべき点について整理されたことは評価できる。	今後、NDBデータの使いづらさを踏まえ、これらデータを活用する新しいプラットフォーム作りの参考になるような公募を予定。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし

【機関名】配分(助成)プログラム名称	達成状況の評価結果の概要	評価への対応
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし	平成27年度に事業評価は実施していないため特になし
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	さらなる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。	評価・運営委員会での審査のより効率的な実施に努める。
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	事業化率:32%	今後とも、採択・事後評価を適切に実施することで、事業化率の目標達成を図っていく。
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	成果は活用されている	研究成果の普及にも一層力を入れる
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	平成28年度については、3月にプログラムディレクター・プログラムオフィサー会議を予定しており、研究課題の目標達成状況の評価を行う予定である。	アウトカム目標:評価結果を公表した上、蓄積された知見、技術による新たな知の創造や新サービスの創出、産業応用の実現に向け、次回の研究開発課題の検討の参考とする。 アウトプット目標:各課題毎に設定している成果目標の達成に向け、評価結果を参考に効果的・効率的な進捗管理に努める。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	目標とする論文数を達成している。	達成状況を参考に、効果的・効率的な運営に努める。今後も着実に光・量子科学技術を活用したイノベーション創出に向けた研究開発と、その将来を担う人材育成を推進していく。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	目標とする論文数を達成している。	達成状況を参考に、効果的・効率的な運営に努める。今後も着実に光・量子科学技術を活用したイノベーション創出に向けた研究開発と、その将来を担う人材育成を推進していく。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	各年度毎の評価は行っていない。	N/A
【文科】元素戦略プロジェクト	各年度毎の評価は行っていない。	N/A
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	アウトプット目標・アウトカム目標ともに当初の目標を達成している。	持続的・安定的な原子力技術の向上に資する基礎的・基盤的な研究活動を強化するための研究活動を実施し、その実施状況を把握するために、論文数・発表件数等を指標とした評価を継続する。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	・機構の自己評価委員会、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出やマネジメント改革等による将来的な成果の創出・展開の期待が認められると評価。 ・文部科学省の独立行政法人評価委員会、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	・機構の自己評価委員会、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出やマネジメント改革等による将来的な成果の創出・展開の期待が認められると評価。 ・文部科学省の独立行政法人評価委員会、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	・機構の自己評価委員会、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出やマネジメント改革等による将来的な成果の創出・展開の期待が認められると評価。 ・文部科学省の独立行政法人評価委員会、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	・機構の自己評価委員会、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。 ・文部科学省の独立行政法人評価委員会、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	・機構の自己評価委員会、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。 ・文部科学省の独立行政法人評価委員会、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。

【機関名】記分(助成)プログラム名称	達成状況の評価結果の概要	評価への対応
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	<p>・機構の自己評価委員会で、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	<p>・機構の自己評価委員会で、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	<p>・機構の自己評価委員会で、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	<p>・機構の自己評価委員会で、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	<p>・機構の自己評価委員会で、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	<p>・機構の自己評価委員会で、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	<p>・機構の自己評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で、「研究開発成果の最大化」に向けて特に顕著な成果の創出や将来的な特別な成果の創出の期待等が認められると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	<p>・機構の自己評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で、「研究開発成果の最大化」に向けて特に顕著な成果の創出や将来的な特別な成果の創出の期待等が認められると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	<p>・機構の自己評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で、「研究開発成果の最大化」に向けて特に顕著な成果の創出や将来的な特別な成果の創出の期待等が認められると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	<p>・機構の自己評価委員会で、「研究開発成果の最大化」に向けて成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、事業全体の設計、採択課題の選定、実施計画の調整等が概ね順調に進められたことから、着実な業務運営が認められると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	<p>・機構の自己評価委員会で、「研究開発成果の最大化」に向けて成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。</p> <p>・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、「研究開発成果の最大化」に向けて成果の創出や将来的な成果の創出の期待が認められ、着実な業務運営がなされていると評価。</p>	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。

【機関名】配分(助成)プログラム名称	達成状況の評価結果の概要	評価への対応
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	・機構の自己評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で、「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められると評価。 ・文部科学省の独立行政法人評価委員会で、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果創出の期待等が認められると評価。	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	SIP各課題について内閣府総合科学技術会議で評価を実施している。	評価結果をふまえ、内閣府で各課題への配分額に反映させている。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	平成27年度に評価を実施せず。	評価していないため、対応していない。
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	助成金交付による経済的支援、試験研究に係る指導・助言・相談等を行い、全体としては計画を上回る成果を達成したものと評価する。 また、引き続き、開発支援の充実強化、マネジメント体制を強化し、充実した助成金の交付及び指導・助言・相談を実施する必要がある	当研究所の事業として、さらに充実強化されるよう努力する。
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	助成金交付による経済的支援、試験研究に係る指導・助言・相談等を行い、全体としては計画を上回る成果を達成したものと評価する。 また、引き続き、開発支援の充実強化、マネジメント体制を強化し、充実した助成金の交付及び指導・助言・相談を実施する必要がある	当研究所の事業として、さらに充実強化されるよう努力する。
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	早期事業化及び収益最大化に向けた支援の経験、実用化研究支援事業及び承継事業の成果を活かし、知的財産戦略の策定支援、新規分野である希少疾病用再生医療等製品の開発等を進め、さらなる収益の確保に努めていただきたい。	早期実用化に向けて、評価体制の強化と指導・助言を通じた適切なフォローを行う。
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	アウトカム ・ シーズ創出ステージ(基礎研究段階)、発展融合ステージ(応用研究段階)においては、研究開発を実施した100%について、優れた研究成果が見込まれる研究課題を創出。 ・ 実用技術開発ステージ(実用化研究段階)においては、研究を実施した課題の92%について、生産現場等で実用化につながる技術的成果を創出。 アウトプット :各年度の実施課題数:92課題	目標を達成した。
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	研究計画数は64。評議委員会(外部評価)にて評価を行った結果、全64課題のうち、評価点が4以上のものは37課題となり、全体の58%。	各評価及びその内容を、それぞれの研究機関へフィードバックし、改善を促した。
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	評議委員会(外部評価)にて評価を行った結果、経営評価研究は研究計画7課題のうち、評価点が4以上のものは6課題となり、全体の85%。 マーケティング研究は研究計画3課題のうち、評価点が4以上のものは1課題となり、全体の43%。	各評価及びその内容を、それぞれの研究機関へフィードバックし、改善を促した。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	共同研究の実施研究分野数は3(ICT、日本食評価、ウイルス対策)、終了時評価は28年度に行う。	単年度評価を行い、その内容をそれぞれの研究機関へフィードバックし、改善を促している。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	共同研究の実施研究分野数は1(高性能性素材)、終了時評価は28年度に行う。	単年度評価を行い、その内容をそれぞれの研究機関へフィードバックし、改善を促している。
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	外部評議委員による研究課題ごとの単年度評価を実施 結果:当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。	翌年度の試験研究予算の配分に活用
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	外部評議委員による研究課題ごとの単年度評価を実施 結果:当該年度の目標を達成し、予定した成果が得られた。	翌年度の試験研究予算の配分に活用
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	平成30年度以降に事後評価を実施予定。	平成30年度以降に事後評価を実施予定。
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	現在、事業中のため集計等はしておりません	
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	・平成21年度終了案件の事業終了後5年経過後の時点での実用化達成率が28.3%となり、目標を達成している。 ・終了事業者に対して、技術的成果、実用化見通し、マネジメント等を評価項目とした事後評価を実施した結果、100%が「合格」以上であり、このうち92.3%が「優良」という評価を受け、目標を達成している。 ・平成27年度において、標準化に係る取組を含んだ事業の計画数を25件程度、ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数を3件程度とする数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)に対し、それぞれ34件、12件の実績があり、目標を達成している。	第3期中長期目標期間全期間での目標達成に向け、引き続き事業実施に取り組む。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	・平成21年度終了案件の事業終了後5年経過後の時点での実用化達成率が28.3%となり、目標を達成している。 ・終了事業者に対して、技術的成果、実用化見通し、マネジメント等を評価項目とした事後評価を実施した結果、100%が「合格」以上であり、このうち92.3%が「優良」という評価を受け、目標を達成している。 ・平成27年度において、標準化に係る取組を含んだ事業の計画数を25件程度、ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数を3件程度とする数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)に対し、それぞれ34件、12件の実績があり、目標を達成している。	第3期中長期目標期間全期間での目標達成に向け、引き続き事業実施に取り組む。

【機関名】配分(助成)プログラム名称	達成状況の評価結果の概要	評価への対応
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度終了案件の事業終了後3年経過後の時点での実用化達成率が26.4%となり、平成21～23年度累積は目標を上回る30.5%を達成している。 終了事業者に対して、技術的成果、実用化見通し等を評価項目とした事後評価を実施した結果、77.4%が「順調」という評価を受け、目標を達成している。 平成27年度において、標準化に係る取組を含んだ事業の計画数を25件程度、ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数を3件程度とする数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)に対し、それぞれ34件、12件の実績があり、目標を達成している。 	第3期中長期目標期間全期間での目標達成に向け、引き続き事業実施に取り組む。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度終了案件の事業終了後3年経過後の時点での実用化達成率が26.4%となり、平成21～23年度累積は目標を上回る30.5%を達成している。 終了事業者に対して、技術的成果、実用化見通し等を評価項目とした事後評価を実施した結果、77.4%が「順調」という評価を受け、目標を達成している。 平成27年度において、標準化に係る取組を含んだ事業の計画数を25件程度、ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数を3件程度とする数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)に対し、それぞれ34件、12件の実績があり、目標を達成している。 	第3期中長期目標期間全期間での目標達成に向け、引き続き事業実施に取り組む。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	<ul style="list-style-type: none"> 将来の産業技術シーズとしてポテンシャルを有するテーマや広範な産業への波及効果が期待できるテーマを対象とするとともに、所属機関や経歴・業績等にとらわれず、若手研究者や地方の大学・公的研究機関からの優れた案件にも助成する「先導的産業技術創出事業(若手研究 Grant)」について、継続分28件のテーマを実施した。 平成27年度において、標準化に係る取組を含んだ事業の計画数を25件程度、ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数を3件程度とする数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)に対し、それぞれ34件、12件の実績があり、目標を達成している。 	平成27年9月に全件終了。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	<ul style="list-style-type: none"> 2030年以降に必要となる将来の技術開発テーマを発掘し、ナショナルプロジェクト化への道筋をつける事業として、「エネルギー・環境新技術先導プログラム」を実施した。平成27年度は30件を新規採択した。 平成27年度において、標準化に係る取組を含んだ事業の計画数を25件程度、ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数を3件程度とする数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)に対し、それぞれ34件、12件の実績があり、目標を達成している。 	第3期中長期目標期間全期間での目標達成に向け、引き続き事業実施に取り組む。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	<ul style="list-style-type: none"> 事業化支援人材によるビジネスプラン構築支援と研究開発支援を合わせた事業の他、機構が認定するベンチャーキャピタルから出資を受けたベンチャー企業の研究開発とビジネスプラン構築を支援する等、民間ベンチャーキャピタルとの連携を行っている。加えて、既存企業との連携を促進する事業を開始した。 平成27年度において、標準化に係る取組を含んだ事業の計画数を25件程度、ISO等の国内審議団体又はISO等への標準化に関する提案件数を3件程度とする数値目標(ナショナルプロジェクト、実用化促進事業、技術シーズの発掘における合計値)に対し、それぞれ34件、12件の実績があり、目標を達成している。 	第3期中長期目標期間全期間での目標達成に向け、引き続き事業実施に取り組む。
【国交】建設技術研究開発助成制度	我が国が直面する国土交通行政における課題の解決に資することを目的とする。	
【国交】交通運輸技術開発推進制度	交通運輸分野における、国土交通省施策を推進することを目的とする。	
【環境】環境研究総合推進費	目標値60%に対して、64.3%の達成率であり、達成となった。	毎年のアドバイザーボード会合、政策担当会合及び中間評価を通して、より行政貢献可能な研究への見直しを行っている。研究者が行政ニーズをより理解できるようにプログラム・オフィサーによる研究支援を強化する。
【防衛】安全保障技術研究推進制度	—	—

プログラムのマイルストーン

【機関名】資金配分制度名	プログラムの開始時期	プログラムの終期		マイルストーン(目標の達成水準、達成時期)		中間評価の実施時期	評価実施主体 (内部評価、外部評価の別)	直近の中間評価結果を踏まえた見直しの内容
		設定の有無	有の場合、その終期	設定の有無	有の場合、その内容			
【内閣】食品健康影響評価技術研究	平成17年度	×		×		毎年度1月頃	外部評価	研究計画の見直し(研究対象の絞り込み、追加試験の実施等)
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最速展開支援プログラム(A-STEP)	M38.7.7	○	継続課題が終了した時点でプログラムも終了	×		未定	未定	実施していない
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	M38.7.7	○	継続課題が終了した時点でプログラムも終了	×		未定	未定	実施していない
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	M38.7.7	○	継続課題が終了した時点でプログラムも終了	×		未定	未定	実施していない
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	M38.7.7	×		×		未定	未定	実施していない
【AMED】再生医療実用化研究事業	M38.7.7	×		×		3年間の課題は2年目、5年間の課題は2年目及び4年目	外部評価	
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	M38.7.7	○	2018年度	×		5年間の課題は3年目に実施	外部評価	
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	M38.7.7	○	2022年度	×		5年間の課題は3年目に実施	外部評価	
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	M38.7.7	○	2015年度	×		設定なし		
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】脳科学研究推進プログラム	M38.7.7	×		×		採択年度から3年目に実施	外部評価	
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	M38.7.7	○	2023年度	×		2016年、2018年	外部評価	研究開発内容・予算の見直し
【AMED】長寿科学研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし	外部評価	
【AMED】認知症研究開発事業	M38.7.7	×		×		設定なし	外部評価	
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	M38.7.7	×		×		設定なし	外部評価	
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	M38.7.7	○	2020年度	○	2016年度までに研究参加者15万人のリクルートを達成する	未定	内部評価:なし 外部評価:「東北メディカル・メガバンク計画」中間評価委員会	目標値に対して実績値が少ない三世代コホート調査を加速する。岩手医科大学における解析研究を強化する。
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	M38.7.7	○	2017年度	×		2015年6月、7月	外部評価	
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	M38.7.7	○	2016年度	×		2016年2-3月	外部評価	事業としては特になし。
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	M38.7.7	○	2016年度	×		設定なし	外部評価	事業の見直しについては特になし。中間評価報告書によって評価内容を各課題事業実施者を含め一般に公開。
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	M38.7.7	○	2018年度	○	次世代バイオ医薬品の創出に係る革新的基盤技術を確立するとともに、5年以内に企業等へ導出すること。	2016年度	文部科学省ライフサイエンス委員会/外部評価	未実施
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	M38.7.7	○	2016年度	×		設定なし	文部科学省ライフサイエンス委員会/外部評価	重点化については、機能ゲノム領域において追加支援の仕組みを導入したり、解析拠点・情報拠点の支援課題選定協議会の審査基準を見直し、生物学・医学上の重要な研究や創薬を志向した研究に重点を置く方針にしたりするなどの対応を行った。統合的な支援体制整備については、追加支援の仕組みの導入、連携ワークショップを通じて、研究者間ネットワークが充実してきた結果、領域内外、拠点間の連携も少しずつ増加し、統合的な支援を実施できる体制が確立しつつある。情報発信の強化については、積極的に改善に取り組んだ。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	M38.7.7	○	2016年度	×		設定なし	文部科学省ライフサイエンス委員会/外部評価	人材育成に関しては、融合研究の若手研究者育成を着実に推進するとともに、女性研究者や若手研究者の雇用や大学院生など学生への配慮についても改善を行った。拠点外連携については、各拠点が特色のある先端的な計測技術の活用を通じた国内外の研究者との共同研究を実施した。実験系と理論系の連携については、各拠点での実験系人材と理論系人材が同じ研究環境を共有し、明確な応用を見据えた特定分野の融合研究、密接な人材育成を集約的・有機的に行なった。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし		

【機関名】資金配分制度名	プログラムの開始時期	プログラムの終期		マイルストーン(目標の達成水準、達成時期)		中間評価の実施時期	評価実施主体 (内部評価、外部評価の別)	直近の中間評価結果を踏まえた見直しの内容
		設定の有無	有の場合、その終期	設定の有無	有の場合、その内容			
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	M38.7.7	○	2017年度	○	病気の原因となる標的タンパク質に対する医薬品候補化合物を特定するソフトウェアの国内製薬企業等の利用件数について、平成35年度30件をアウトカム目標とする。	予定無し		
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	M38.7.7	○	2017年度	○	国際基準に適合したバイオ医薬品製造技術の利用数について、平成35年度開発成果による製品の導入実績10件とトータルシステムとしての導入実績をアウトカム目標とする。	予定無し		
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	M38.7.7	○	2018年度	○	がんやアルツハイマーを特定するために構築したデータベース及び特定に利用するマイクロRNA測定技術を利用した製品数について、平成35年度開発成果による製品の数5件をアウトカム目標とする。	予定無し		
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	M38.7.7	×		×		未定	未定	該当なし。
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	M38.7.7	○	2021年度	×		未定	未定	該当なし。
【AMED】医工連携事業化推進事業	M38.7.7	○	2019年度	×		未定	未定	該当なし。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	M38.7.7	○	2017年度	×		未定	未定	該当なし。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	M38.7.7	○	2017年度	×		未定	未定	該当なし。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	M38.7.7	×		×		未定	未定	該当なし。
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	M38.7.7	○	2018年度	×		未定	未定	該当なし。
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	M38.7.7	○	9課題が2019年度、4課題が2017年度	○	Deng熱他感染症病原体の疫学研究、また得られた病原体の全ゲノムデータ等を基にした、薬剤ターゲット部位の特定及び新たな治療薬等の開発	設定なし		
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォマティクスシステム構築)	M38.7.7	○	2019年度	○	2020年3月までに、薬物動態予測、心毒性(QT延長)予測、肝毒性予測のインフォマティクスシステムを統合する。	2017年度	外部評価委員会	現在までに未実施
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	M38.7.7	×		×		設定なし		

【機関名】資金配分制度名	プログラムの開始時期	プログラムの終期		マイルストーン(目標の達成水準、達成時期)		中間評価の実施時期	評価実施主体 (内部評価、外部評価の別)	直近の中間評価結果を踏まえた見直しの内容
		設定の有無	有の場合、その終期	設定の有無	有の場合、その内容			
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	M38.7.7	×		○	中長期計画において以下の目標を設定している。 希少・難治性疾患(難病)の克服を目指すため、患者数が希少な分野において、各省が連携して全ての研究プロセスで切れ目ない援助を行うことで、難病の病態を解明するとともに、効果的な新規治療薬の開発、既存薬剤の適応拡大等を一体的に推進する。具体的には、未だ治療法の確立していない難病等に対し、治療法の開発に結びつくような新しい疾患の病因、病態解明を行う研究を推進するため、疾患モデルの作成や生体試料の収集、管理、運用するシステムに関する研究を行い研究基盤の創出を図りつつ、遺伝子解析等、病因、病態解明を行う研究及びシーズの探索を行う研究を推進する。また、実用化を視野に入れた画期的な診断法、治療法及び予防法の開発を目指す研究を推進するため、薬事承認に必要とされる前臨床試験及び臨床試験を実施して薬事承認の取得を目指す研究や診療に関する質の高いエビデンスを提供するための研究を促進し、研究成果の活用を図る。また、難病患者由来の疾患特異的iPS細胞を用いて疾患の発症機構の解明、創薬研究や予防・治療法の開発等の推進を行う。さらに、成果を患者に還元するための関係機関の協力体制を構築しつつ、希少疾患や未診断疾患に関する研究を行う。 これらの取組を実施することにより、2020年頃までの達成目標として、 ・新規薬剤の薬事承認や既存薬剤の適応拡大を11件以上達成(ALS、遠位型ミオパチー等) ・欧米等のデータベースと連携した国際共同臨床研究及び治療の推進を目指すものとする。	研究開発事業に実施期間の定めがない場合、5年毎を目安に、その中断及び中止を含めた計画変更の要否の確認等を行うための評価を実施する。	外部評価	未実施
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	M38.7.7	×		×		研究開発事業に実施期間の定めがない場合、5年毎を目安に、その中断及び中止を含めた計画変更の要否の確認等を行うための評価を実施する。	外部評価	未実施
【AMED】腎疾患実用化研究事業	M38.7.7	×		×		研究開発事業に実施期間の定めがない場合、5年毎を目安に、その中断及び中止を含めた計画変更の要否の確認等を行うための評価を実施する。	外部評価	未実施
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	M38.7.7	×		×		研究開発事業に実施期間の定めがない場合、5年毎を目安に、その中断及び中止を含めた計画変更の要否の確認等を行うための評価を実施する。	外部評価	未実施
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	M38.7.7	×		×		研究開発事業に実施期間の定めがない場合、5年毎を目安に、その中断及び中止を含めた計画変更の要否の確認等を行うための評価を実施する。	外部評価	未実施
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	M38.7.7	×		×		研究開発事業に実施期間の定めがない場合、5年毎を目安に、その中断及び中止を含めた計画変更の要否の確認等を行うための評価を実施する。	外部評価	未実施
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	M38.7.7	○	2016年度	○	橋渡し研究支援を行う基盤の整備、拠点のシーズ育成能力の強化、恒久的な橋渡し支援拠点の確立を実施することで、橋渡し研究支援基盤を整備し、総合的なシーズ育成能力を強化するとともに、自己収入の確保を図ること等により自立化を進め、恒久的な拠点の確立を目指す。	設定なし		
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	M38.7.7	○	2015年度	×		設定なし		
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	M38.7.7	○	2017年度	×		設定なし		
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	M38.7.7	○	2015年度	×		設定なし		
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	M38.7.7	○	2016年度	×		設定なし		
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	M38.7.7	○	2017年度	×		設定なし		
【AMED】医薬品等開発研究PDCA/パイロット事業	M38.7.7	○	2016年度	×		設定なし		
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	M38.7.7	○	2018年度	○	代理機関制度の開始を見越し、平成30年度末までに電子カルテ情報などからマッピングした標準形式の情報を、医療の質向上・均てん化・診療支援の基盤として活用するとともに、臨床研究等の基盤としても活用する、恒常的な仕組みを構築する	設定なし		
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	M38.7.7	○	2015年度	○	平成27年度末までに診療情報データ(NDB、DPC)を元に、地域横断的な医療介護情報のICT化によりデータ基盤を作成し、同データを用いた臨床研究の効率化への応用などの検討を試行的に実施	設定なし		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	M38.7.7	○	2018年度	×		設定なし		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SIGORP	M38.7.7	×		×		設定なし		

【機関名】資金配分制度名	プログラムの開始時期	プログラムの終期		マイルストーン(目標の達成水準、達成時期)		中間評価の実施時期	評価実施主体 (内部評価、外部評価の別)	直近の中間評価結果を踏まえた見直しの内容
		設定の有無	有の場合、その終期	設定の有無	有の場合、その内容			
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	M38.7.7	○	2016年度	×		設定なし		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アプリ力における顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	M38.7.7	×		×		設定なし		
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	M38.7.7	○	2020年度	×		設定なし		
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	平成14年度	×		×		設定なし	外部評価	PD・POの意見を踏まえた効果的かつ効果的な事業の運営に努める。
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	平成26年度	×		×		設定なし	外部評価	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	1997年度	×		×		設定なし	外部評価	外部評価委員の意見を踏まえた効果的かつ効果的な事業の運営に努める。
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	平成15年度	○	平成30年度	×		平成25年度	外部評価	重要性・緊急性が高い研究開発課題への重点化を進めていくため制度設計を実施。また、消防防災科学技術に係る研究開発上の課題認識や研究開発成果等について、一層の情報発信、情報共有等を図った。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	平成19年	×		○	文部科学省科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会情報科学技術委員会において、重点的に推進すべき研究領域等を設定し、社会への明確な応用を見据えて対応が急務とされる研究課題を実施している。新規の研究課題を開始する前には、情報科学技術委員会において事前評価を行い、達成すべき目標、達成時期(研究課題実施期間)を決定している。	実施期間が5年の研究課題は3年目に中間評価を行うこととしている。	外部評価	順調な進捗や成果と、おしなべて評価が高く、特筆すべき見直し内容はなし。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	平成20年	○	平成29年	×		平成23年 平成27年	外部評価:外部有識者による評価委員会	おしなべて評価が高かったため、特筆すべき見直し内容はない。創出された成果の「見える化」の推進を期待。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	平成25年	○	平成29年	×		平成27年	外部評価:外部有識者による評価委員会	評価の低かった1課題について計画を大幅に見直すとともに、評価に応じて各課題への資金配分の見直しを行った。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	平成21年度	○	平成30年度	×		平成23年度、平成26年度	外部有識者による検討会(外部評価)	外部機関との連携、強いマネジメントの体制の構築、論文発表数とは異なる、課題解決の評価。
【文科】元素戦略プロジェクト	平成24年度	○	平成33年度	×		平成27年度、平成30年度	外部有識者による検討会(外部評価)	各研究拠点の進捗状況等をふまえた戦略的な予算配分効果的な研究推進体制の再構築
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	平成21年度	×		×		設定なし	—	—
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	平成20年度 (本事業の前身である「原子力基礎基盤戦略研究プログラム」の開始年度が平成20年度であり、平成27年度より「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」というプログラム名称となった)	×		○	文部科学省科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会情報科学技術委員会において、重点的に推進すべき研究領域等を設定し、社会への明確な応用を見据えて対応が急務とされる研究課題を実施している。新規の研究課題を開始する前には、原子力科学技術委員会において事前評価を行い、達成すべき目標、達成時期(研究課題実施期間)を決定している。	実施期間に定めのないプログラムは5年ごとに中間評価を行うこととしている。	外部評価	直近では平成25年度に中間評価が行われた。順調な進捗や成果と、おしなべて評価が高く、特筆すべき見直し内容はなし。

【機関名】資金配分制度名	プログラムの開始時期	プログラムの終期		マイルストーン(目標の達成水準、達成時期)		中間評価の実施時期	評価実施主体 (内部評価、外部評価の別)	直近の中間評価結果を踏まえた見直しの内容
		設定の有無	有の場合、その終期	設定の有無	有の場合、その内容			
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	昭和56年度	×		○	中期計画において、研究開発の内容、研究開発の成果、その成果の活用状況及びその社会・経済への波及効果等について把握することと定め、達成すべき成果として、以下の目標を設定している。 ・中期目標期間中に事後評価を行う領域の7割以上が目標の達成に資する十分な成果が得られたとの評価結果を得る。 ・領域終了後1年を目標に、制度の趣旨を踏まえつつ研究成果の展開や社会還元につながる活動が行われたと認められる課題が7割以上となること。 ・研究成果がイノベーション創出に貢献すること及び国際的に高い水準にあることを目指す。その指標として、中期目標期間中の基礎研究における研究成果の展開・移行状況や論文被引用回数や国際的な科学賞の受賞数、招待講演数等の定量的指標を活用する。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	平成22年度	×		○	中期計画において、研究開発の内容、研究開発の成果、その成果の活用状況及びその社会・経済への波及効果等について把握することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・機構は、研究領域の事後評価において、研究領域全体として戦略目標の達成に向けた研究成果の状況を評価し、中期計画中に事後評価を行う領域の6割以上において、戦略目標の達成に資する十分な成果が得られたとの評価結果が得られることを目指す。 ・機構は、本事業における研究が国際的に高い水準にあることを目指す。その指標として、論文被引用回数、国際的な科学賞の受賞数、招待講演数等の定量的指標を活用する。 ・機構は、イノベーションの創出に資すると期待できる研究成果について、機構の技術移転制度等を積極的に活用して展開を促進し、研究領域終了後1年を目標に、成果の発展・展開を目指す他制度での採択、民間企業との共同研究の実施、得られたソフトウェア・データベースの利用等明らかに成果の展開が行われたと認められる領域が、8割以上となることを目指す。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	平成13年度	×		○	中期計画において、研究開発の内容、研究開発の成果、その成果の活用状況及びその社会・経済への波及効果等について把握することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・研究開発課題の事後評価において、研究開発目標の達成状況について評価し、現実社会の問題解決に資する十分な成果が得られたとの評価が得られた研究開発課題が、評価対象研究開発課題全体の7割以上となることを目指す。 ・追跡評価時において、研究開発課題の成果の活用や展開状況について評価し、活用・展開がなされているとの評価が得られた研究開発課題が、評価対象研究開発課題全体の5割以上となることを目指す。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	平成21年度	×		○	中期計画において、機構は、大学等における基礎研究により生み出された新技術に基づき、柔軟な運営により企業が単独では実施しづらい基盤的かつ挑戦的な研究開発を推進することで、科学技術イノベーション創出に貢献することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・プログラムの趣旨に沿って挑戦的な課題を採択しつつ、本中期計画中に評価を行う課題について、事後評価の8割以上で適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果を得られること。 ・プログラムの研究開発終了課題について、プログラムにより定められた期間が経過した時点で、3割以上(委託開発については、平成14年度以降の開発終了課題製品化率が全体の2割以上)が、各プログラムで想定する適切なフェーズに至っている(他制度で実施、企業又は大学等独自にあるいは共同で実施、既に企業化、ベンチャー企業設立など)と判断されること。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	平成22年度	○	平成32年度	○	中期計画において、機構は、大学等における基礎研究により生み出された新技術に基づき、柔軟な運営により企業が単独では実施しづらい基盤的かつ挑戦的な研究開発を推進することで、科学技術イノベーション創出に貢献することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・プログラムの趣旨に沿って挑戦的な課題を採択しつつ、本中期計画中に評価を行う課題について、「産業界に共通する技術的な課題の解決に資する研究開発」では事後評価の6割以上の課題で、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果が得られること。 ・プログラムの研究開発終了課題について、プログラムにより定められた期間が経過した時点で、「産業界に共通する技術的な課題の解決に資する研究開発」では3割以上の課題が、各プログラムで想定する適切なフェーズに至っている(他制度で実施、企業又は大学等独自にあるいは共同で実施、既に企業化、ベンチャー企業設立など)と判断されること。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	平成21年度	○	平成32年度	○	中期計画において、機構は、大学等における基礎研究により生み出された新技術に基づき、柔軟な運営により企業が単独では実施しづらい基盤的かつ挑戦的な研究開発を推進することで、科学技術イノベーション創出に貢献することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・プログラムの趣旨に沿って挑戦的な課題を採択しつつ、本中期計画中に評価を行う課題について、「テーマを設定した、コンソーシアム形式による大規模かつ長期的な研究開発」では中間評価の7割以上の課題で、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果が得られること。 ・プログラムの研究開発終了課題について、プログラムにより定められた期間が経過した時点で、「テーマを設定した、コンソーシアム形式による大規模かつ長期的な研究開発」では3割以上の課題が、各プログラムで想定する適切なフェーズに至っている(他制度で実施、企業又は大学等独自にあるいは共同で実施、既に企業化、ベンチャー企業設立など)と判断されること。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	独立行政法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。

【機関名】資金配分制度名	プログラムの開始時期	プログラムの終期		マイルストーン(目標の達成水準、達成時期)		中間評価の実施時期	評価実施主体 (内部評価、外部評価の別)	直近の中間評価結果を踏まえた見直しの内容
		設定の有無	有の場合、その終期	設定の有無	有の場合、その内容			
【JST】研究成果展開事業(センター・オープンイノベーション(COI)プログラム)	平成25年度	×		○	中期計画において、機構は、大学等における基礎研究により生み出された新技術に基づき、柔軟な運営により企業が単独では実施しづらい基盤的かつ挑戦的な研究開発を推進することで、科学技術イノベーション創出に貢献することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・挑戦的な課題を採択しつつ、中間評価において、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果が7割以上の課題で得られること。 ・研究開発期間終了後適切な時点で、プログラムで想定する適切なフェーズに至っているとの判断が、3割以上の課題でされること。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	平成27年度	×		○	中期計画において、機構は、大学等における基礎研究により生み出された新技術に基づき、柔軟な運営により企業が単独では実施しづらい基盤的かつ挑戦的な研究開発を推進することで、科学技術イノベーション創出に貢献することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・挑戦的な課題を採択しつつ、中間評価において、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果が6割以上の課題で得られること。 ・研究開発期間終了後適切な時点で、プログラムで想定する適切なフェーズに至っているとの判断が、3割以上の課題でされること。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	平成27年度 (平成24年度文部科学省「大学発新産業創出拠点プロジェクト」として開始、平成27年度からJSTに移管)	×		○	中期計画において、研究開発の内容、研究開発の成果、その成果の活用状況及びその社会・経済への波及効果等について把握することと定め、達成すべき成果として、以下の目標を設定している。 ・機構は、事後評価の5割以上の課題で、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られることを目指す。 ・終了課題については、プログラムにより定められた期間が経過した時点で、3割以上の課題が、プログラムで想定する適切なフェーズに至っているとの判断されることを目指す。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチンプレックス)推進プログラム)	平成27年度	×		○	中期計画において、機構は、大学等における基礎研究により生み出された新技術に基づき、柔軟な運営により企業が単独では実施しづらい基盤的かつ挑戦的な研究開発を推進することで、科学技術イノベーション創出に貢献することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・挑戦的な課題を採択しつつ、中間評価において、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られたとの評価結果が7割以上の課題で得られること。 ・研究開発期間終了後適切な時点で、プログラムで想定する適切なフェーズに至っているとの判断が、3割以上の課題でされること。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	平成23年度	×		○	中期計画において、研究開発の内容、研究開発成果に係る論文発表、口頭発表、特許出願の状況及び研究開発の成果、研究開発終了後市場投入に向けた開発状況、将来の市場規模予測等及びその成果の社会・経済への波及効果等について把握することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・本プログラムの趣旨に沿って挑戦的な課題を採択しつつ、本中期計画中に評価を行う課題について、事後評価の8割5分以上の課題で、適切に研究開発が進捗し、実用化に向けた次の研究開発フェーズに進むための十分な成果が得られた。完成したプロトタイプ機が実用可能な段階である(本プログラムの一部)との評価結果が得られること。 ・本プログラムの研究開発終了課題について、プログラムにより定められた期間が経過した時点で5割以上の課題が、適切なフェーズに至っている(他制度で実施、企業又は大学等独自にあるいは共同で実施、既に企業化、ベンチャー企業設立など)と判断されること。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	平成20年度	×		○	中期計画において、達成すべき成果として以下具体的内容を示している。 ・中期目標期間中に、事後評価を行う課題について、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムは6割以上において、各プログラムの目標の達成に資する十分な成果を得る。 ・中期目標期間中に、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムの終了課題の6割以上において、社会実装に向けた次のフェーズへの展開(機構他事業、政府開発援助実施機関の他事業、国際機関の事業、企業との開発等への発展)が図られることを目指す。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	平成21年度	×		○	・中期計画において、達成すべき成果として、具体的内容が示されており、中期計画期間中に事後評価を行う国際共同研究課題の6割以上において、各プログラムの目標の達成に資する十分な成果を得ることを目指すことが定められている。 ・年度計画において、研究内容、研究成果に係る論文発表、口頭発表、特許出願の状況及び成果の社会・経済への波及効果について把握することと定められている。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	平成15年度	○	平成27年度末	○	・中期計画において、達成すべき成果として、具体的内容が示されており、中期計画期間中に事後評価を行う国際共同研究交流課題の7割以上において、各プログラムの目標の達成に資する十分な成果を得ることを目指すことが定められている。 ・年度計画において、研究内容、研究成果に係る論文発表、口頭発表、特許出願の状況及び成果の社会・経済への波及効果について把握することと定められている。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	平成27年度	×		○	中期計画において、機構は、研究開発法人を中核として、産学官の垣根を越えて国内外の人材を糾合する場(イノベーションハブ)を構築するため、研究開発法人の飛躍性ある優れた取組を支援することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・機構が支援した研究開発法人について、中間評価の6割以上の時点で、イノベーション創出に資する取組が適切に進捗していると評価されること。 ・大学、産業界等の人材を糾合するためのしくみの整備・運用が、支援を行った研究開発法人の全てで実施されていること。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。

【機関名】資金配分制度名	プログラムの開始時期	プログラムの終期		マイルストーン(目標の達成水準、達成時期)		中間評価の実施時期	評価実施主体 (内部評価、外部評価の別)	直近の中間評価結果を踏まえた見直しの内容
		設定の有無	有の場合、その終期	設定の有無	有の場合、その内容			
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	平成23年度	×		○	中期計画において以下の通り具体的内容を示している。 国の示す方針に則り、外部有識者や専門家による本事業の評価において、「研究開発による成果について、ライフサイエンス分野のデータベースの統合に資する成果が得られている」との評価結果を得る。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	平成24年度	×		○	中期計画において、研究開発の内容、研究開発成果に係る論文発表、口頭発表、特許出願の状況及び研究開発の成果、研究開発終了後市場投入に向けた開発状況、将来の市場規模予測等及びその成果の社会・経済への波及効果等について把握することと定め、達成すべき成果として、具体的内容を示している。 ・本プログラムの放射線計測領域で実施した課題のうち、本中期目標期間中に実施された課題の事後評価において、8割以上の課題で、適切に研究開発が進捗し十分な成果が得られた。または、プロトタイプ機が実用可能な段階であるとの評価結果が得られること。 ・本プログラムの放射線計測領域で実施した課題の終了後、プログラムにより定めた期間が経過した後に実施する課題の追跡調査において、課題の7割以上で、プログラムで想定する適切なフェーズに至っていると判断される(開発されたプロトタイプ機、もしくはそれを基に企業化/製品化された機器が被災地等の現場や行政に利用され公開データが取得されているなど)こと。	毎年、文部科学大臣による文部科学省国立研究開発法人審議会の助言を踏まえた業務の実績に関する評価を受けている。	外部評価	国立研究開発法人として現中期目標期間終了時の中期目標達成に向けて、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	平成26年度	×		○	SIP各課題で内閣府が研究開発計画を策定し設定している。	毎年、内閣府 総合科学技術・イノベーション会議による評価を受けている。	外部評価	毎年、内閣府 総合科学技術・イノベーション会議の評価、指導を受け、適切な事業運営に努めているところ。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(InPACT)	平成25年度	○	平成30年度	○	個々のPMIにおいて設定	実施しない	中間評価は実施しない	評価していないため、対応していない
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	昭和54年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	平成13年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	平成8年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	平成8年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	平成8年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	平成21年	○		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	平成14年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	平成14年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	平成22年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	平成14年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	昭和61年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	平成3年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	平成20年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	昭和53年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	昭和56年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	平成27年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	平成27年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(帰国発展研究))	平成27年	×		×		毎年度、審査終了後	科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会(外部評価)	
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	昭和26年度に厚生行政科学研究費制度として創設。	×		×		プログラム全体としての評価は実施していない。	プログラム全体としての評価は実施していない。	プログラム全体としての評価は実施していない。
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	平成17年度	×		×		該当なし。(運営評議会及び国立研究開発法人審議会は毎年度実施)	内部評価:運営評議会 外部評価:国立研究開発法人審議会	該当無し
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	平成24年度	×		×		該当なし。(運営評議会及び国立研究開発法人審議会は毎年度実施)	内部評価:運営評議会 外部評価:国立研究開発法人審議会	該当無し

【機関名】資金配分制度名	プログラムの開始時期	プログラムの終期		マイルストーン(目標の達成水準、達成時期)		中間評価の実施時期	評価実施主体 (内部評価、外部評価の別)	直近の中間評価結果を踏まえた見直しの内容
		設定の有無	有の場合、その終期	設定の有無	有の場合、その内容			
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	平成26年度	×		×		該当なし。(運営評議会及び国立研究開発法人審議会は毎年度実施)	内部評価:評価委員会 外部評価:国立研究開発法人審議会	該当なし
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	平成25年度	○	平成29年度予定	×		設定なし		
【NARO】攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	平成26年度	○	平成27年度	○	年度計画として設定	平成26年度末	外部評価委員	翌年度の研究計画の見直し等
【NARO】攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)	平成26年度	○	平成27年度	○	年度計画として設定	平成26年度末	外部評価委員	翌年度の研究計画の見直し等
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	平成26年度	○	平成28年度	○	年度計画として設定	毎年度評価を実施	外部評価委員	翌年度の研究計画の見直し等
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	平成26年度	○	平成28年度	○	年度計画として設定	毎年度評価を実施	外部評価委員	翌年度の研究計画の見直し等
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	平成26年度	○	3年以内	○	研究終了後に行う評価により判定	なし	外部評価委員	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	平成26年度	○	3年以内	○	研究終了後に行う評価により判定	なし	外部評価委員	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	平成26年度	○	平成30年度	○	全体計画、単年度計画として設定	平成28年度	外部評価委員	
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	平成27年4月から最大2年	○	平成29年3月	○	事業終了後2年時点の事業化率40%	経済産業省において中間評価は事業期間5年以上の事業に限り実施しており、本事業は該当しないため、中間評価は不要。	なし	なし
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	平成18年度(競争的資金は平成26年度)	×		×		3年に1度	外部評価	特になし
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	平成4年度	○	平成35年度	○	事業実施期間中に達成すべき中間目標、最終目標、達成時期等をマイルストーンとして定めている。	事業実施期間が5年以上の場合には、概ね3年毎を目途に中間評価を実施している。また、技術開発における技術動向、政策動向に応じ必要と認められる場合には、予定していた時期に拘わらず中間評価を実施している。	外部の専門家及び有識者で構成される評価委員会において外部評価を実施している。	直近の中間評価結果を踏まえ、資源配分や事業計画等に適切に反映させることにより、事業の拡充・縮小・中止等を的確に実施し、技術開発内容やマネジメント等の改善・見直しを行うこととした。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	平成4年度	○	平成29年度	○	事業実施期間中に達成すべき中間目標、最終目標、達成時期等をマイルストーンとして定めている。	概ね3年毎を目途に中間評価を実施している。また、技術開発における技術動向、政策動向に応じ必要と認められる場合には、予定していた時期に拘わらず中間評価を実施している。	外部の専門家及び有識者で構成される評価委員会において外部評価を実施している。	直近の中間評価結果を踏まえ、資源配分や事業計画等に適切に反映させることにより、事業の拡充・縮小・中止等を的確に実施し、技術開発内容やマネジメント等の改善・見直しを行うこととした。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	平成5年度	×		○	事業実施期間中に達成すべき最終目標、達成時期等をマイルストーンとして定めている。	事業の中間時点において、技術的及び政策的観点から、研究開発の意義・目標達成度、成果の技術的意義並びに将来の産業への波及効果等について中間評価を実施している。	外部の専門家及び有識者の意見を求めるなど可能な限り外部性を取り入れて内部評価を実施している。	直近の中間評価結果を踏まえ、事業の進捗を確認するとともに必要な動言・指導を行い実用化をさらに促すこととした。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	平成26年度	○	平成29年度	○	事業実施期間中に達成すべき最終目標、達成時期等をマイルストーンとして定めている。	事業期間が最大2年で短いため、中間評価は実施していない。	—	—
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	平成12年度	○	平成27年度	○	事業実施期間中に達成すべき中間目標、最終目標、達成時期等をマイルストーンとして定めている。	研究開発期間が4年の場合は、中間評価ゲート方式を実施している。	外部の専門家及び有識者で構成される評価委員会において外部評価を実施している。	中間時点で評価結果が一定水準に達しないテーマについては、ステージ1をもって終了することとした。なお、平成27年度は制度終了年度であり、中間評価対象案件がなかったため、中間評価は実施していない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外))	平成26年度	○	平成30年度	○	事業実施期間中に達成すべき中間目標、最終目標、達成時期等をマイルストーンとして定めている。	研究開発の実施期間が1年を超える研究開発テーマについては、研究開始後10ヵ月経過した時点で外部性を取り入れた中間評価を実施している。	外部の専門家及び有識者で構成される評価委員会において外部評価を実施している。	直近の中間評価結果を踏まえ、資源配分や事業計画等に適切に反映させることにより、事業の拡充・縮小・中止等を的確に実施し、技術開発内容やマネジメント等の改善・見直しを行うこととした。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	平成26年度	○	平成27年度	○	事業実施期間中に達成すべき中間目標、最終目標、達成時期等をマイルストーンとして定めている。	3年目(または随時)に中間評価を事業終了翌年度に事後評価を実施。また、評価の実施時期については、当該技術シーズに係る技術動向、政策動向や当該事業化の進捗状況等に応じて、前倒しする等、適宜見直しを行うものとする。	外部の専門家及び有識者で構成される評価委員会において外部評価を実施している。	直近の中間評価結果を踏まえ、資源配分や事業計画等に適切に反映させることにより、事業の拡充・縮小・中止等を的確に実施し、技術開発内容やマネジメント等の改善・見直しを行うこととした。

【機関名】資金配分制度名	プログラムの開始時期	プログラムの終期		マイルストーン(目標の達成水準、達成時期)		中間評価の実施時期	評価実施主体 (内部評価、外部評価の別)	直近の中間評価結果を踏まえた見直しの内容
		設定の有無	有の場合、その終期	設定の有無	有の場合、その内容			
【国交】建設技術研究開発助成制度	平成13年度	×		×		未設定	外部有識者委員会を実施年度毎に継続の評価。最終年に研究課題の終了時評価。	終期を設定していないため、中間評価を行っていない。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	平成25年度	×		×		未設定		H25年度からの事業のため未実施
【環境】環境研究総合推進費	平成22年度	×		×		平成26年度(5年ごとに制度評価を実施)	外部有識者による評価	研究者が行政ニーズをより理解できるようにプログラム・オフィサーによる研究支援を強化する。研究終了後に行政担当官は、研究がどのように政策立案に貢献したかを評価する。
【防衛】安全保障技術研究推進制度	2015年度	×		×		設定なし		

女性研究者のための支援措置

【機関名】資金配分制度名	出産・育児等の期間に配慮した要件の緩和	出産・育児等による研究期間中断に対する措置	それ以外の支援措置	具体的内容・実績等
【内閣】食品健康影響評価技術研究	×	×	×	女性研究者を対象を限定すべき事業ではないため。
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	×	○	×	事務処理説明書以下に記載 「ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について ●研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合や、長期間の海外留学(研究)・派遣等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前にAMEDへ相談してください。諸事情を勘案し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があります。」
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	×	○	×	事務処理説明書以下に記載 「ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について ●研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合や、長期間の海外留学(研究)・派遣等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前にAMEDへ相談してください。諸事情を勘案し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があります。」
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	×	○	×	事務処理説明書以下に記載 「ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について ●研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合や、長期間の海外留学(研究)・派遣等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前にAMEDへ相談してください。諸事情を勘案し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があります。」
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	×	○	×	事務処理説明書以下に記載 「ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について ●研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合や、長期間の海外留学(研究)・派遣等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前にAMEDへ相談してください。諸事情を勘案し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があります。」
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	×	○	×	事務処理説明書以下に記載 「ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について ●研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合や、長期間の海外留学(研究)・派遣等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前にAMEDへ相談してください。諸事情を勘案し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があります。」
【AMED】再生医療実用化研究事業	×	×	×	
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	×	×	×	
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	×	×	×	
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	×	○	×	公募はしていない。 産前・産後休暇期間の人性費を研究費から支出可能(機関側の規程などで規定されている場合)
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	○	○	×	女性の活躍を促進すべく、女性研究者の参画を促進している。 特に若手研究者については、年齢制限を満45歳以下とし、産前・産後休業及び育児休業をとった場合は、その期間を除外する等の支援措置を拡大している。 産前・産後休暇期間の人性費を研究費から支出可能(機関側の規程などで規定されている)
【AMED】脳科学研究推進プログラム	×	×	×	
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	×	×	×	
【AMED】長寿科学研究事業	×	×	×	
【AMED】認知症研究開発事業	×	×	×	
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	×	×	×	
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	×	×	×	
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	×	○	×	産前産後休暇の取得期間における給与についても、規程等に規定されている場合には、(その内容に基づき)人性費として計上し、支給することが可能。
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	×	○	×	産休中の給与を認める
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	×	×	×	
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	×	○	×	公募要領で女性研究者のキャリアパス支援への配慮を求めている。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	×	○	×	公募要領で女性研究者のキャリアパス支援への配慮を求めている。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	×	○	×	公募要領で女性研究者のキャリアパス支援への配慮を求めている。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	×	×	×	
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	×	×	×	
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	×	×	×	
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	×	×	×	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	×	○	×	研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前の相談の上、諸事情を勘案し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があるとしている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ノロタイプ)	×	○	×	研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前の相談の上、諸事情を勘案し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があるとしている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベートタイプ)	×	○	×	研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前の相談の上、諸事情を勘案し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があるとしている。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	×	○	×	研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前の相談の上、諸事情を勘案し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があるとしている。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	×	○	×	研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前の相談の上、諸事情を勘案し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があるとしている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベートタイプ)	×	○	×	ライフイベント(出産・育児・介護)から研究への復帰を支援するために、1課題に男女共同参画促進費を支給した。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	×	○	×	雇用契約に関する諸条件は、各研究機関の規程等に準拠することとしており、産前産後休暇の取得期間における給与についても、規程等に規定されている場合には、(その内容に基づき)人性費として計上し、支給することが可能である。

【機関名】資金配分制度名	出産・育児等の期間に配慮した要件の緩和	出産・育児等による研究期間中断に対する措置	それ以外の支援措置	具体的内容・実績等
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	×	○	×	雇用契約に関する諸条件は、各研究機関の規程等に準拠することとしており、産前産後休暇の取得期間における給与についても、規程等に規定されている場合には、(その内容に基づき)人件費として計上し、支給することが可能である。
【AMED】医工連携事業化推進事業	×	○	×	雇用契約に関する諸条件は、各研究機関の規程等に準拠することとしており、産前産後休暇の取得期間における給与についても、規程等に規定されている場合には、(その内容に基づき)人件費として計上し、支給することが可能である。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	×	○	×	雇用契約に関する諸条件は、各研究機関の規程等に準拠することとしており、産前産後休暇の取得期間における給与についても、規程等に規定されている場合には、(その内容に基づき)人件費として計上し、支給することが可能である。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	×	○	×	雇用契約に関する諸条件は、各研究機関の規程等に準拠することとしており、産前産後休暇の取得期間における給与についても、規程等に規定されている場合には、(その内容に基づき)人件費として計上し、支給することが可能である。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	×	○	×	雇用契約に関する諸条件は、各研究機関の規程等に準拠することとしており、産前産後休暇の取得期間における給与についても、規程等に規定されている場合には、(その内容に基づき)人件費として計上し、支給することが可能である。
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	×	○	×	雇用契約に関する諸条件は、各研究機関の規程等に準拠することとしており、産前産後休暇の取得期間における給与についても、規程等に規定されている場合には、(その内容に基づき)人件費として計上し、支給することが可能である。
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	○	○	○	事務処理説明書に以下を記載 「ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について ●研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合は、長期間の海外留学(研究)・派遣等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前にAMEDへ相談してください。諸事情を助産し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があります。」
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	○	○	○	事務処理説明書に以下を記載 「ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について ●研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合は、長期間の海外留学(研究)・派遣等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前にAMEDへ相談してください。諸事情を助産し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があります。」
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	○	○	○	事務処理説明書に以下を記載 「ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について ●研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合は、長期間の海外留学(研究)・派遣等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前にAMEDへ相談してください。諸事情を助産し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があります。」
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	○	○	○	事務処理説明書に以下を記載 「ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について ●研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合は、長期間の海外留学(研究)・派遣等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前にAMEDへ相談してください。諸事情を助産し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があります。」
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	○	○	○	事務処理説明書に以下を記載 「ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について ●研究開発担当者が育児休業や産前産後の休暇を取得する場合は、長期間の海外留学(研究)・派遣等で委託研究の遂行ができなくなる場合については、事前にAMEDへ相談してください。諸事情を助産し委託研究を一時中断し、その後再開する等の措置ができる場合があります。」
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	×	×	×	
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォマティクスシステム構築)	×	×	×	
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	×	×	×	
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	×	×	×	
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	×	×	×	
【AMED】腎疾患実用化研究事業	×	×	×	
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	×	×	×	
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	×	×	×	
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	×	×	×	
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	×	○	×	平成28年度の研究課題の追加採択をする上で、強化・重点課題として、研究代表者が「女性」である研究課題を採択した。その結果、5課題中1課題の研究課題を採択をしている。
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	×	×	×	
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	×	×	×	
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	×	×	×	
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	×	×	×	
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	×	×	×	
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	×	×	×	
【AMED】医薬品等開発研究PDCA/パイロット事業	×	×	×	
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	×	×	×	
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	×	×	×	
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	×	×	×	
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	×	×	×	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	×	○	○	・応募資格要件に年齢等、性別が影響する制限はない ・委託研究開発契約事務処理説明書において、ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について記載 ・産休時の給与の支払いが可能
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	×	○	○	・応募資格要件に年齢等、性別が影響する制限はない ・委託研究開発契約事務処理説明書において、ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について記載 ・産休時の給与の支払いが可能

【機関名】資金配分制度名	出産・育児等の期間に配慮した要件の緩和	出産・育児等による研究期間中断に対する措置	それ以外の支援措置	具体的内容・実績等
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	×	○	○	・応募資格要件に年齢等、性別が影響する制限はない ・委託研究開発契約事務処理説明書において、ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について記載 ・産休時の給与の支払いが可能
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	×	○	○	・応募資格要件に年齢等、性別が影響する制限はない ・委託研究開発契約事務処理説明書において、ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について記載 ・産休時の給与の支払いが可能
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	×	○	○	・応募資格要件に年齢等、性別が影響する制限はない ・補助事業事務処理説明書において、ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について記載 ・産休時の給与の支払いが可能
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	×	○	○	・応募資格要件に年齢等、性別が影響する制限はない ・委託研究開発契約事務処理説明書において、ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について記載 ・産休時の給与の支払いが可能
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	×	○	○	・応募資格要件に年齢等、性別が影響する制限はない ・委託研究開発契約事務処理説明書において、ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について記載 ・産休時の給与の支払いが可能
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	×	○	○	・応募資格要件に年齢等、性別が影響する制限はない ・委託研究開発契約事務処理説明書において、ライフイベント(育児休業等)や長期海外出張等による研究の中断等について記載 ・産休時の給与の支払いが可能 ・平成28年度「地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)」に係る若手・女性育成のための公募では、若手または女性研究者の参加を条件とし、人材育成を図る予定
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	×	×	×	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	○	×	×	若手研究者向けプログラム(年齢制限あり)において、出産により研究に従事しなかった期間を考慮。
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	×	×	×	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	×	×	×	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	○	×	×	女性研究者については、出産・育児期間等を考慮し若手研究者要件の緩和を行っている
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	×	×	×	女性研究者を対象を限定すべき事業でないため。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	×	×	×	公募要領などで女性研究者のための支援措置に関して明記していないが、本事業は委託事業であるため委託先機関の規約等に則って支援措置を受けることは可能である。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	×	×	×	公募要領などで女性研究者のための支援措置に関して明記していないが、本事業は委託事業であるため委託先機関の規約等に則って支援措置を受けることは可能である。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	×	×	×	
【文科】元素戦略プロジェクト	×	×	×	
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	×	×	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	×	×	×	女性研究者を対象を限定すべき事業でないため。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。 平成27年度は1課題で実績有り。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。

【機関名】資金配分制度名	出産・育児等の期間に配慮した要件の緩和	出産・育児等による研究期間中断に対する措置	それ以外の支援措置	具体的内容・実績等
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(OOI)プログラム)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情勘案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。

【機関名】資金配分制度名	出産・育児等の期間に配慮した要件の緩和	出産・育児等による研究期間中断に対する措置	それ以外の支援措置	具体的内容・実績等
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情動案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	×	○	×	「科学技術振興機構の業務に係る男女共同参画推進計画」を策定し、女性研究者等多様な研究人材が能力を発揮できる環境づくりを進めている。具体的取組としては、研究担当者が産前産後の休暇を取得する場合等は、諸事情動案の上、研究の一時中止等の措置をとることができることとしている。 また、研究員がライフイベント(出産・育児等)に際し、キャリアを中断することなく継続できること、また一時中断せざるを得ない場合は、復帰可能となった時点で研究に復帰し、その後のキャリア継続が図れることを目的に、1年あたり上限300万円の男女共同参画促進費を支給する出産・子育て等支援制度を運用している。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	×	×	×	
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	×	×	×	対応していない。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(帰国発展研究))	○	○	×	育児休業等に伴い研究を中断する女性研究者等を支援するため、交付内定時に交付申請を留保すること及び研究期間中に研究の中断をした後に研究を再開することを可能としている。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	○	○	×	育児休業等(産前休暇、産後休暇、育児休業または介護休業)を取得する期間に応じて研究期間の延長等が可能。若手研究者を対象とする枠での研究課題において、産前・産後休業又は育児休業を取得した者については、その日数を応募資格の制限日に加算することが可能。
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	×	×	×	本事業は医薬品等の開発企業を対象としているため、該当しない。
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	×	×	×	本事業は医薬品等の開発企業を対象としているため、該当しない。
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	×	×	×	本事業は医薬品等の開発法人を対象としているため、該当しない。
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	×	×	×	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	×	×	×	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	×	×	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	×	×	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	×	×	×	

【機関名】資金配分制度名	出産・育児等の期間に配慮した要件の緩和	出産・育児等による研究期間中断に対する措置	それ以外の支援措置	具体的内容・実績等
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	×	×	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	×	×	×	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	×	×	×	
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	×	×	×	中小企業、小規模事業者と大学等との産学連携体の構築を通じた実用化技術の事業化及び事業創出を一義的な目標としているため。
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基礎技術高度化支援事業)	×	×	×	
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	○	○	○	産業界のニーズや社会のニーズに応える産業技術シーズの発掘や産業技術研究人材の育成を図ることを目的として事業を実施しており、研究者が出産・育児に係る休暇を取得する場合、申請により1年間の研究開発期間延長を認めている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【国交】建設技術研究開発助成制度	×	×	×	現在のところ対象としていない。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	×	×	×	
【環境】環境研究総合推進費	○	○	○	女性の出産・育児におけるヒアリング審査出席等に対する配慮を実施。
【防衛】安全保障技術研究推進制度	×	×	×	

外国人研究者(英語対応)

【機関名】資金配分制度名	英文での募集要項揭示	英文での申請書(応募書類)受理	審査時の英語でのヒアリング	英語での成果報告受理	具体的内容・実績等
【内閣】食品健康影響評価技術研究	x	x	x	x	原則として国内の研究機関を対象として公募を行っているため。
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最速展開支援プログラム(A-STEP)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】再生医療実用化研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】脳科学研究推進プログラム	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。

【機関名】資金配分制度名	英文での募集要項揭示	英文での申請書(応募書類)受理	審査時の英語でのヒアリング	英語での成果報告受理	具体的内容・実績等
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】長寿科学研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】認知症研究開発事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。

【機関名】資金配分制度名	英文での募集要項揭示	英文での申請書(応募書類)受理	審査時の英語でのヒアリング	英語での成果報告受理	具体的内容・実績等
【AMED】創薬基盤推進研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	○	○	○	○	日本国内の研究機関に所属する外国籍研究者の応募に対応するため、公募について英文のウェブページを作成し、公募要領を掲載している。成果報告については、研究内容等、一部を英文で記載したものを受け取ることができる。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	○	○	○	○	日本国内の研究機関に所属する外国籍研究者の応募に対応するため、公募について英文のウェブページを作成し、公募要領を掲載している。成果報告については、研究内容等、一部を英文で記載したものを受け取ることができる。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	○	○	○	○	公募要領については必要に応じて英文の資料を作成することとしている。成果報告については、研究内容等、一部を英文で記載したものを受け取ることができる。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。

【機関名】資金配分制度名	英文での募集要項揭示	英文での申請書(応募書類)受理	審査時の英語でのヒアリング	英語での成果報告受理	具体的内容・実績等
【AMED】医工連携事業化推進事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。

【機関名】資金配分制度名	英文での募集要項揭示	英文での申請書(応募書類)受理	審査時の英語でのヒアリング	英語での成果報告受理	具体的内容・実績等
【AMED】創業支援推進事業(創業支援インフォマティクスシステム構築)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】創業支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。

【機関名】資金配分制度名	英文での募集要項揭示	英文での申請書(応募書類)受理	審査時の英語でのヒアリング	英語での成果報告受理	具体的内容・実績等
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】医薬品等開発研究PDCAパイロット事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	○	△	△	○	HPでの募集案内、募集要項は英語にて対応。AMEDでは国内研究者の審査をするため、申請書受理・ヒアリングは日本語で実施(外国人研究者は相手国での審査)
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	△	△	△	○	既に公募は終了しているため
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	○	○	△	○	HPでの募集案内、募集要項、申請書は英語にて対応。審査過程にヒアリングは含まれていない。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	○	○	△	○	HPでの募集案内、募集要項、申請書は英語にて対応。審査過程にヒアリングは含まれていない。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	△	△	△	○	既に公募は終了しているため
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	○	○	△	○	HPでの募集案内、募集要項、申請書は英語にて対応。

【機関名】資金配分制度名	英文での募集要項揭示	英文での申請書(応募書類)受理	審査時の英語でのヒアリング	英語での成果報告受理	具体的内容・実績等
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	△	△	△	○	本事業では、申請者の要件として、国内の大学等研究機関に所属している研究者を対象としているため。また、対象とする途上国の地域を設定するものの、その国との共同研究の仕組みを取らないため、公募要領等の英語対応はしていない。
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	○	○	△	○	HPでの募集案内、募集要項、申請書は英語にて対応。 審査過程にヒアリングは含まれていない。
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	△	△	△	△	英語での対応は、段階を踏むものとし、第1ステップとして、H29年度公募分からは、全事業を対象として提案書に英文概要書を盛り込み、公募・審査に活用することとした。将来的には、全英語のcall for proposalを準備するとともに、研究提案のサイエンスメリットの部分はわかりやすく英語化してもらう等、審査(査読・面接)も全て英語を原則として、評価者に外国人レビューアを入れることを検討してゆく予定である。また、その過程で生まれた成果物の収集やアウトリーチ等も英語対応に努めたい。
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	×	×	×	×	本事業は、外国人研究者を排除するものではないが、今まで事業実施主体が外国企業であった実績や、外国からの問い合わせがなく、阻害要因として顕在化していない。また、本事業は日本国内に設置された研究機関に所属し、日本国内で研究開発を行うことのできる研究者を対象にしており、研究者が外国人であっても、当該外国人は前記研究機関の一員であることから、英語対応の必要性は必ずしも高くはないもの。仮に英語対応を行った場合、評議会等において通訳対応等の経費増を招くことが考えられる。
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	×	×	×	×	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	×	×	×	×	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	×	×	×	×	予算が十分でないとともに、有効な審査体制を構成できない
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	×	×	×	×	本プログラムは、国内の機関を対象として公募をおこなっているため。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	×	×	×	×	本事業は追加公募の予定はないため、募集要項や申請書の英文対応の予定はない。英語での事後評価(ヒアリング)や成果報告は、採択課題からの希望があれば対応を検討する。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	×	×	×	×	本事業は追加公募の予定はないため、募集要項や申請書の英文対応の予定はない。英語での事後評価(ヒアリング)や成果報告は、採択課題からの希望があれば対応を検討する。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	×	×	×	×	応募は国内の研究機関を対象としたものであることから、英語対応の必要性がない。
【文科】元素戦略プロジェクト	×	×	×	×	応募は国内の研究機関を対象としたものであることから、英語対応の必要性がない。
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	×	×	×	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	×	×	×	×	本プログラムは、国内の機関を対象として公募をおこなっているため。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	○	○	○	○	日本で研究する外国人研究者も応募できるよう、英文募集要領をWeb等で公開し、英語での提案書の申請を受け付け、英語でのヒアリング等の審査に対応している。さらに、英語による募集説明会を27年度は国内3ヶ所で開催し、国内にいる外国人研究者への応募を促進した。 また、本事業のうちERATOでは、審査単位ごとに外国人有識者1名を審査員に加えた審査を導入しており、審査は英語で行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○	○	○	○	日本で研究する外国人研究者も応募できるよう、英文募集要領をWeb等で公開し、英語での提案書の申請を受け付け、英語でのヒアリング等の審査に対応している。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	×	○	○	×	国内のコミュニティに関与することが必要であり、応募を希望する研究者のグループには日本語のスキルがあると想定されるため、特段英語対応はしていないが、研究代表者の英語による応募は受け入れる。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	×	×	×	×	国内の研究機関に限定しているため、英語申請に対する需要が低い。ただし、国内の大学等に所属する外国人研究者に対しては、必要に応じ、英文申請書作成を認めている。 過去の公募において審査時の英語ヒアリング実績はない。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	×	○	×	×	国内の研究機関に限定しているため、英語申請に対する需要が低い。ただし、国内の大学等に所属する外国人研究者に対しては、必要に応じ、英文申請書作成を認めている。 過去の公募において審査時の英語ヒアリング実績はない。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	×	○	×	×	日本の法人格を有する民間企業と国内の研究機関による共同提案に限定しているため、英語申請に対する需要が低い。 過去の公募において申請実績がない。 なお、H25年度以降新規公募を実施していない。また、公募予定もない。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	×	×	×	×	同プログラムの支援対象は複数の主体から構成されており(一研究者のみを支援するものではない)、報告書に代えて英語での提出を認める必要性は無いため。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	×	×	×	×	応募要件として、日本国内に居住し、かつ、日本国内の大学等に常勤の研究者として所属していることとしており、英語申請に対する需要が低い。

【機関名】資金配分制度名	英文での募集要項揭示	英文での申請書(応募書類)受理	審査時の英語でのヒアリング	英語での成果報告受理	具体的内容・実績等
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	×	×	×	×	日本の法人格を有するベンチャーキャピタル等の民間企業と国内の大学等に所属する研究者が大学発ベンチャーを創出する事業であり、英語申請に対する需要が低い。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	×	×	×	×	日本国内の組織(大学、公的研究機関、法人、都道府県、政令指定都市等)の連名による提案に限定しているため、英語申請に対する需要が低い。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	×	×	×	×	原則、国内の研究機関と日本の法人格を有する民間企業とによる共同提案に限定しているため、英語申請に対する需要が低い。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	○	○	○	○	英文募集要領をWeb等で公開し、英語での提案書の申請を受け付け、英語でのヒアリング等の審査に対応している。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	○	○	○	報告書については、研究実施状況や成果の把握、経費執行の合理性確認等の必要から日本語で提出いただくこととしているが、相手国によっては英語での成果報告の受理にも対応している場合がある。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	○	○	×	○	審査は書面審査のみであるため、ヒアリングを含む面接審査は実施していない。報告書については、研究実施状況や成果の把握、経費執行の合理性確認等の必要から日本語で提出いただくこととしているが、相手国によっては英語での成果報告の受理にも対応している場合がある。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	×	×	×	×	国立研究開発法人からの提案に限定しているため、対応の予定はない。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	×	×	○	×	国内のコミュニティに関与することが必要であり、応募を希望する研究者のグループには日本語のスキルがあるものと想定されるため、特段英語対応はしていない。ただし、日本語での面接が困難な場合、英語での面接も可能。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	×	×	×	×	原則、国内の研究機関と日本の法人格を有する民間企業とによる共同提案に限定しているため、英語申請に対する需要が低い。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	×	×	×	×	日本国内の組織(大学、公的研究機関、法人、都道府県、政令指定都市等)の連名による提案に限定しているため、英語申請に対する需要が低い。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	×	×	×	×	PM自身の採用については、英文での募集要項提示、英文での申請書(応募書類)受理に対応。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	○	○	○	○	科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出、審査時の英語でのヒアリングが可能である。また、英語版公募要領を作成し、ホームページで公開している。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	○	○	○	○	科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出、審査時の英語でのヒアリングが可能である。また、英語版公募要領を作成し、ホームページで公開している。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	○	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。また、英語版公募要領を作成し、ホームページで公開している。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	○	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。また、英語版公募要領を作成し、ホームページで公開している。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	○	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。また、英語版公募要領を作成し、ホームページで公開している。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	○	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。また、英語版公募要領を作成し、ホームページで公開している。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	○	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。また、英語版公募要領を作成し、ホームページで公開している。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。

【機関名】資金配分制度名	英文での募集要項揭示	英文での申請書(応募書類)受理	審査時の英語でのヒアリング	英語での成果報告受理	具体的内容・実績等
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	○	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。また、英語版公募要領を作成し、ホームページで公開している。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	○	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。また、英語版公募要領を作成し、ホームページで公開している。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	×	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	×	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	×	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	△	○	○	○	科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出、審査時の英語でのヒアリングが可能である。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	△	○	○	○	科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出、審査時の英語でのヒアリングが可能である。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	×	○	○	○	科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出、審査時の英語でのヒアリングが可能である。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	×	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	△	○	○	○	科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出、審査時の英語でのヒアリングが可能である。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(帰国発展研究))	×	○	×	○	ヒアリング審査を実施していないが、科学研究費助成事業では、従来より、英文での応募書類等の提出が可能である。そのほか、科研費による研究を行っている方などを対象として、科学研究費助成事業についての基本的な内容を分かりやすく解説した科研費ハンドブック(研究者用)や、科研費パンフレットの英語版を作成し、ホームページで公開している。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	×	×	×	×	本資金配分プログラムは、国内の研究機関を対象としており、英語対応の必要性は低いと判断しているため。
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	×	×	×	×	外国企業の場合、最終的に国内販売できないため、国内選任製造販売業者を選定している。HPでの概要は英語でも対応しているが、申請書等は英語で対応する必要性が低い。
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	×	×	×	×	外国企業の場合、最終的に国内販売できないため、国内選任製造販売業者を選定している。HPでの概要は英語でも対応しているが、申請書等は英語で対応する必要性が低い。
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	×	×	×	×	申請資格を国内の開発法人に限定している
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	×	×	×	×	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	×	×	×	×	我が国の生物系特定産業に資することを目的とした事業であるため、応募者は日本の研究機関に所属し、日本語での対応が可能であることを前提としている。
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	×	×	×	×	我が国の生物系特定産業に資することを目的とした事業であるため、応募者は日本の研究機関に所属し、日本語での対応が可能であることを前提としている。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	×	×	×	×	我が国の生物系特定産業に資することを目的とした事業であるため、応募者は日本の研究機関に所属し、日本語での対応が可能であることを前提としている。

【機関名】資金配分制度名	英文での募集要項掲示	英文での申請書(応募書類)受理	審査時の英語でのヒアリング	英語での成果報告受理	具体的内容・実績等
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	×	×	×	×	我が国の生物系特定産業に資することを目的とした事業であるため、応募者は日本の研究機関に所属し、日本語での対応が可能であることを前提としている。
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	×	×	×	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	×	×	×	×	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	×	×	×	×	
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	×	×	×	×	中小企業、小規模事業者と大学等との産学連携体の構築を通じた実用化技術の事業化及び事業創出を一義的な目標としているため。
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	×	×	×	×	
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	×	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	×	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	×	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	×	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	○	○	×	○	日本を含めた2カ国以上の国際共同研究チームを対象とする国際的分野等については、英語による公募要領を別途策定して公開しており、成果報告書は英文での提出も受け付けている。 なお、平成27年度は当該事業の公募及び新規採択は行っていない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	×	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	×	×	×	×	当該事業は機関を対象としており、個別研究者の支援を目的としていない。
【国交】建設技術研究開発助成制度	×	×	×	×	現在のところ対象としていない。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	×	×	×	×	
【環境】環境研究総合推進費	×	×	×	×	運用制度が整っていない。
【防衛】安全保障技術研究推進制度	×	×	×	×	
○: 対応している △: 現在対応していないが、今後対応予定 ×: 対応していない(現時点で対応予定なし)					

審査員の多様性に関する取組状況や今後の課題

【機関名】資金配分制度名	審査員の多様性に関する取組状況や今後の課題
【内閣】食品健康影響評価技術研究	食品安全委員会常勤委員と、食品の安全性の確保に関し優れた識見を有し、食品健康影響評価に精通する者のうちから食品安全委員会委員長が指名する者で構成しており、多様性は確保されている。
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	女性研究者、年齢が若め(40～50代)の審査員を含めるなど、構成を検討する。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	審査委員の増強
【AMED】再生医療実用化研究事業	今後、若手研究者、女性研究者の増員を含め、多様性確保に向けた検討を行う。
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	2016年度は産業界、女性研究者の審査員を確保し多様性を図っている。
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	2015年度は公募を実施していないため該当無し
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	平成28年度から開始する次世代がん医療創生研究事業においては、若手、異分野、女性等の多様性確保に配慮して評価委員を選定した。
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	平成28年度から革新的がん医療実用化研究事業においては、若手、異分野、女性等の多様性確保に配慮して評価委員を選定した。
【AMED】脳科学研究推進プログラム	多様性のある委員会を構築するため、女性委員、若手研究者の割合を増やしていくことを実施中。
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	多様性のある委員会を構築するため、女性委員、若手研究者の割合を増やしていくことを実施中。
【AMED】長寿科学研究事業	多様性のある委員会を構築するため、女性委員、若手研究者の割合を増やしていくことを実施中。
【AMED】認知症研究開発事業	多様性のある委員会を構築するため、女性委員、若手研究者の割合を増やしていくことを実施中。
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	多様性のある委員会を構築するため、女性委員、若手研究者の割合を増やしていくことを実施中。
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	専門が遺伝学だけに限らず、臨床や基礎医学など多様な専門分野の委員が必要になる。
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	動物、植物、微生物、細胞、遺伝子材料と幅広いリソースを扱う為に、その全ての領域をカバーする多様な専門分野の委員等によって審査を行う。
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	評価委員については、多様性確保の観点から、年齢、性別、所属施設及び領域等の視点で事業ごとに拡充方策を検討する。特に、年齢、性別及び所属施設については、目標を設定する。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	評価委員については、多様性確保の観点から、年齢、性別、所属施設及び領域等の視点で事業ごとに拡充方策を検討する。特に、年齢、性別及び所属施設については、目標を設定する。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	評価委員については、多様性確保の観点から、年齢、性別、所属施設及び領域等の視点で事業ごとに拡充方策を検討する。特に、年齢、性別及び所属施設については、目標を設定する。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	評価委員については、多様性確保の観点から、年齢、性別、所属施設及び領域等の視点で事業ごとに拡充方策を検討する。特に、年齢、性別及び所属施設については、目標を設定する。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	評価委員については、多様性確保の観点から、年齢、性別、所属施設及び領域等の視点で事業ごとに拡充方策を検討する。特に、年齢、性別及び所属施設については、目標を設定する。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	評価委員については、多様性確保の観点から、年齢、性別、所属施設及び領域等の視点で事業ごとに拡充方策を検討する。特に、年齢、性別及び所属施設については、目標を設定する。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	評価委員については、多様性確保の観点から、年齢、性別、所属施設及び領域等の視点で事業ごとに拡充方策を検討する。特に、年齢、性別及び所属施設については、目標を設定する。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	評価委員については、年齢、性別、所属機関等の観点から、より多様性に配慮していく。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ノロタイプ)	評価委員については、年齢、性別、所属機関等の観点から、より多様性に配慮していく。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	評価委員については、年齢、性別、所属機関等の観点から、より多様性に配慮していく。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	評価委員については、年齢、性別、所属機関等の観点から、より多様性に配慮していく。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	評価委員については、年齢、性別、所属機関等の観点から、より多様性に配慮していく。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)	評価委員については、年齢、性別、所属機関等の観点から、より多様性に配慮していく。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	審査員の多様性を担保するため、女性や若手の登用を進めたい。
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	審査員の多様性を担保するため、女性や若手の登用を進めたい。
【AMED】医工連携事業化推進事業	審査員の多様性を担保するため、女性や若手の登用を進めたい。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	審査員の多様性を担保するため、女性や若手の登用を進めたい。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	審査員の多様性を担保するため、女性や若手の登用を進めたい。
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	評価委員については、年齢、性別、所属機関等の観点から、より多様性に配慮していく。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	評価委員については、年齢、性別、所属機関等の観点から、より多様性に配慮していく。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	評価委員については、年齢、性別、所属機関等の観点から、より多様性に配慮していく。
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	若手研究者追加を検討する。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォマティクスシステム構築)	審査員の多様性を担保するための方策について検討する
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	審査員の多様性を担保するための方策について検討する

【機関名】資金配分制度名	審査員の多様性に関する取組状況や今後の課題
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	【2015年度の取組】疾患領域や開発フェーズ、専門性の多様性等を考慮し、評価委員の委嘱を行った。また、年齢や性別の多様性の観点から30～40代の男性委員4名や、女性委員1名の委嘱を行った。 【今後の課題】引き続き若返り及び多様性を図ると共に、専門性等の必要に応じた追加委嘱を検討する。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	【2015年度の取組】評価委員は40～60代であり、かつ女性も2名含まれているなどバランスが良かったが、更に若返り及び多様性を図るため、年度途中で若手(30代)委員1名と女性1名を追加。 【今後の課題】専門性等の必要に応じて、追加を検討する。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	【2015年度の取組】60～70代が9割近く占めていたため、当時39才の委員を追加。 【今後の課題】人数と専門領域のバランスを考慮しながら、女性・60才未満・産業界からの追加を検討する。評価に資する助言が可能な科学技術調査員の委嘱も検討する。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	【2015年度の取組】採択課題のポートフォリオから疾患領域、研究フェーズを考慮し、評価委員を新規に5名追加した。うち、60～70代の評価委員が占める中、50代の委員を1名委嘱した。 【今後の課題】研究フェーズとして、基礎的研究を評価できる人材の追加および、若手(40～50代)、女性の評価委員の追加を検討する。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	【2015年度の取組】60～70代の男性委員のみであったため、若返り及び多様性を図るため、年度途中で若手(40代～50代)、女性、医師以外の観点を中心に委員を計4名追加。年齢や評価姿勢等により2名の委員の継続委嘱を見送った。 【今後の課題】専門性等の必要に応じて、追加を検討する。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	【2015年度の取組】男性委員のみであったため、多様性を図るため、年度途中で女性を1名追加。評価姿勢等により1名の委員の継続委嘱を見送った。 【今後の課題】年齢層が高いため、専門性等も鑑みて若手の追加を検討する
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	今後の課題としては、若手及び女性研究者の増員。
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	
【AMED】医薬品等開発研究PDCA/パイロット事業	
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	今後の課題としては、若手及び女性研究者の増員
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	今後の課題としては、若手及び女性研究者の増員
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	若手研究者、女性研究者登用に加え、東京に評価委員が集中しないよう、全国から評価委員を選定。
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	若手研究者、女性研究者登用に加え、東京に評価委員が集中しないよう、全国から評価委員を選定。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	女性研究者、年齢が若めの審査員を含めるなど、構成を検討する
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	女性研究者、年齢が若めの審査員を含めるなど、構成を検討する。
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	評価員に関しては定期的に見直しを実施している
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	提案された技術課題についての技術的な実現可能性等に関する検討等を行う技術専門委員を置いている。
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	本事業の目的に照らし、評価委員は、人間工学、情報通信技術、放送事業、通信事業、標準化の分野から各1名、福祉及び企業財務の分野については2名を参集していること、また、評価委員の所属は大学、研究所、民間企業、会計事務所と多岐にわたっていることから、評価委員の多様性に関する取組は十分確保されているものとする。
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	審査員数は適切な状態である。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	平成28年度は新規応募を行っていない。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を旨としたネットワーク研究拠点プログラム」	(公募は2008年度のみ。追加公募の予定なし)
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	(公募は2013年度のみ。追加公募の予定なし)
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	公募は2009年度のみ。追加公募の予定無し。
【文科】元素戦略プロジェクト	公募は2012年度のみ。追加公募の予定無し。
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	今後も増員の予定は特になし。
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	人数不足による問題は生じなかったため、審査員数に変動はない。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	産業界及び女性の審査員については、審査者の選定の際に原則加えることとしている。 若手研究者については、利益相反の問題から、若手研究者が審査員になると、自身が応募できなくなってしまうため、人数増加が難しい。 外国人研究者の参画に向けた取り組みについては、ERATOにおいて、審査員(パネルメンバー)のうち必ず1名を外国人研究者とすることとしている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	審査員は、専門性、産学官比率、所属機関、男女比率等の点でバランスを考慮し、多様性の確保に努めている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	事業の位置づけから、産業界のみならずNPO関係者にも審査員をお願いしている。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	審査員の構成を見直す際には、多様性の確保に努めている。なお、一部のタイプについては、平成27年度から評価体制を刷新し、プログラムオフィサーの権限を強化した。また、現在、公的機関に所属するものの産業界出身の委員は左記の他に5名。

【機関名】資金配分制度名	審査員の多様性に関する取組状況や今後の課題
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎盤研究プログラム)	審査員の構成を見直す際には、多様性の確保に努めている。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	新規募・集採択なしのため、対象外
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	新規募・集採択なしのため、対象外
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	女性研究者の有識者の登用に努めた。今後審査員の構成を見直す際は、多様性の確保に努める。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	審査員は、専門性、産学官比率、所属機関、男女比率等の点でバランスを考慮し、多様性の確保に努めている。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	今後審査員の構成を見直す際は、多様性の確保に努める。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	審査員の構成を見直す際には、多様性の確保に努めている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	2015年度でも審査員の構成を見直し、産業界からの審査員の数および女性の割合が増加。それにより各領域に1名以上の産業界および女性の審査員を確保し、女性比率は全体の約23%となった。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	分野や国際共同研究に精通している研究者の中から審査員を選ぶことができるよう、審査員のデータベース整備を進めている。なお、原則として、相手国の研究資金配分機関と共同で公募、審査・採択することとなっているため相手国側審査員には外国人が参画している。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	新規募・集採択なしのため、対象外
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	今後審査員の構成を見直す際は、多様性の確保に努める。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	審査員の構成を見直す際には、多様性の確保に努めている。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	新規募・集採択なしのため、対象外
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	今後審査員の構成を見直す際は、多様性の確保に努める。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	外部有識者の協力の下、ImPACT有識者会議がPMの審査を実施。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	<p>【審査委員数について】 左記には科学研究費助成事業(日本学術振興会所管種目(特別推進研究～特別研究員奨励費、国際共同研究強化、帰国発展研究))の審査委員総数を記入している。審査委員についての国籍情報は取得していないため、外国人研究者の正確な数は把握できない。</p> <p>【若手研究者について】 審査委員の選考に当たって、若手研究者の積極的登用に配慮することとしており、今後も若手研究者の積極的登用に配慮した選考を行っていくこととしている。</p> <p>【外国人研究者について】 現在、審査委員の選考の際に外国人研究者について特段の配慮は行っていない。なお、国際的な視点を審査に加味するため、特別推進研究の審査意見書作成者には、海外の研究機関に所属する外国人研究者を参画させているが、外国人研究者の審査への参画については、英語による応募書類作成の義務付けや、研究アイデアの海外への流出等の危険もあることから、他の研究種目への積極的な登用については、慎重に対応する必要があると考えている。</p>
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(S))	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(A))	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(B))	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(C))	
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	<p>【審査委員数について】 左記には科学研究費助成事業(文部科学省所管種目)の審査委員数を記入している。審査委員についての国籍情報は取得していないため、外国人研究者の正確な数は把握できない。</p> <p>【若手研究者について】 審査委員の選考に当たって、若手研究者の積極的登用に配慮することとしており、今後も若手研究者の積極的登用に配慮した選考を行っていくこととしている。</p> <p>【外国人研究者について】 現在、審査委員の選考の際に外国人研究者について特段の配慮は行っていない。なお、国際的な視点を審査に加味するため、特別推進研究の審査意見書作成者には、海外の研究機関に所属する外国人研究者を参画させているが、外国人研究者の審査への参画については、英語による応募書類作成の義務付けや、研究アイデアの海外への流出等の危険もあることから、他の研究種目への積極的な登用については、慎重に対応する必要があると考えている。</p>
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	審議会(科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会)において審査を行っている。各分野から幅広く委員を選考して、多様性を確保するとともに、若手研究者の登用にも配慮している。外国人研究者について特段の配慮は行っていない。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	審議会(科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会)において審査を行っている。各分野から幅広く委員を選考して、多様性を確保するとともに、若手研究者の登用にも配慮している。外国人研究者について特段の配慮は行っていない。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究加速基金(国際共同研究加速基金(国際共同研究加速基金)))	<p>【審査委員数について】 左記には科学研究費助成事業(文部科学省所管種目)の審査委員数を記入している。審査委員についての国籍情報は取得していないため、外国人研究者の正確な数は把握できない。</p> <p>【若手研究者について】 審査委員の選考に当たって、若手研究者の積極的登用に配慮することとしており、今後も若手研究者の積極的登用に配慮した選考を行っていくこととしている。</p> <p>【外国人研究者について】 現在、審査委員の選考の際に外国人研究者について特段の配慮は行っていない。なお、国際的な視点を審査に加味するため、特別推進研究の審査意見書作成者には、海外の研究機関に所属する外国人研究者を参画させているが、外国人研究者の審査への参画については、英語による応募書類作成の義務付けや、研究アイデアの海外への流出等の危険もあることから、他の研究種目への積極的な登用については、慎重に対応する必要があると考えている。</p>
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(帰国発展研究))	
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	厚生労働科学研究費補助金を含む研究開発評価については、「厚生労働省の科学研究開発評価に関する指針」(平成22年11月1日策定、平成27年4月1日一部改正)に沿った運用を行っている。平成26年度においても同指針に基づいた運用を行っており、評価員数に特段大きな変化はない。

【機関名】資金配分制度名	審査員の多様性に関する取組状況や今後の課題
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	応募案件は、大臣指定を受けており、既に医療上の必要性や開発の可能性が高いと大臣に判断されているため、原則全品目支援している。ヒアリング等は、開発経験豊富なPOを中心に実施しているため、審査員の登録はしていない。
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	応募案件は、大臣指定を受けており、既に医療上の必要性や開発の可能性が高いと大臣に判断されているため、原則全品目支援している。ヒアリング等は、開発経験豊富なPOを中心に実施しているため、審査員の登録はしていない。
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	応募案件は、技術、経営、知財の各分野の専門家を審査員として評価を行っている。ヒアリング等は、開発経験豊富なPOを中心に実施しているため、審査員の登録はしていない。
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	年齢、性別、国籍については不明。
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	研究課題に応じ、適切な審査体制が図られるように、日頃より、審査員候補者となりうる専門家について、情報収集に努めている。
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	研究課題に応じ、適切な審査体制が図られるように、日頃より、審査員候補者となりうる専門家について、情報収集に努めている。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	研究課題に応じ、適切な審査体制が図られるように、日頃より、審査員候補者となりうる専門家について、情報収集に努めている。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	研究課題に応じ、適切な審査体制が図られるように、日頃より、審査員候補者となりうる専門家について、情報収集に努めている。
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	研究課題に応じ、適切な審査体制が図られるように、日頃より、審査員候補者となりうる専門家について、情報収集に努めている。
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	研究課題に応じ、適切な審査体制が図られるように、日頃より、審査員候補者となりうる専門家について、情報収集に努めている。
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	研究課題に応じ、適切な審査体制が図られるように、日頃より、審査員候補者となりうる専門家について、情報収集に努めている。
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	採択予定件数を考慮した結果、審査員の増減無し。
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	分類を把握していないため。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	実用化・事業化の推進を図るため、技術面のみならず、事業化面、ユーザー視点等、その他多角的観点で審査できる体制により提案書審査を行っている。 なお、女性研究者数は集計していない。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	実用化・事業化の推進を図るため、技術面のみならず、事業化面、ユーザー視点等、その他多角的観点で審査できる体制により提案書審査を行っている。 なお、女性研究者数は集計していない。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	実用化・事業化の推進を図るため、技術面のみならず、事業化面、ユーザー視点等、その他多角的観点で審査できる体制により提案書審査を行っている。 なお、女性研究者数は集計していない。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	実用化・事業化の推進を図るため、技術面のみならず、事業化面、ユーザー視点等、その他多角的観点で審査できる体制により提案書審査を行っている。 なお、女性研究者数は集計していない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	実用化・事業化の推進を図るため、技術面のみならず、事業化面、ユーザー視点等、その他多角的観点で審査できる体制により提案書審査を行っている。 ただし、平成27年度においては、新規公募を実施していない。 なお、女性研究者数は集計していない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	実用化・事業化の推進を図るため、技術面のみならず、事業化面、ユーザー視点等、その他多角的観点で審査できる体制により提案書審査を行っている。 なお、女性研究者数は集計していない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	実用化・事業化の推進を図るため、技術面のみならず、事業化面、ユーザー視点等、その他多角的観点で審査できる体制により提案書審査を行っている。 なお、女性研究者数は集計していない。
【国交】建設技術研究開発助成制度	特になし。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	平成28年度よりビジネスの知見を有する民間の有識者を追加。
【環境】環境研究総合推進費	女性研究者の拡大に向けた取組を実施
【防衛】安全保障技術研究推進制度	適切な審査員の確保

審査員のデータベース整備

【機関名】資金配分制度名	審査員のデータベース整備	審査員のデータベース整備の効果、整備していない理由
【内閣】食品健康影響評価技術研究	×	平成26年度に実施したデータベース整備を目的とした請負事業の成果を活用して、今後整備を検討する予定。
【AMED】医薬品等規制緩和・評価研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最速展開支援プログラム(A-STEP)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎盤研究プログラム(産学共創)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】再生医療実用化研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】脳科学研究推進プログラム	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】長寿科学研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】認知症研究開発事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】医工連携事業化推進事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	×	公募無し
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォーマティクスシステム構築)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	×	公募無し
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	×	公募無し
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	×	公募無し
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	×	公募無し
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	×	公募無し
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	×	公募無し
【AMED】医薬品等開発研究PDCA/バイロット事業	×	業務委託
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	○	データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っている。
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	×	
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	×	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	○	審査業務の公平性の確保、効率化等
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	×	評価・運営委員会のメンバーは非公開であり、課で把握するにとどめている。
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	○	審査業務の公平性の確保及び専門性の明確化
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	×	審査員数が10名程度のため、整備する必要がない
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	×	現在のところデータベース整備まで必要としないため。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	×	追加公募の予定はないため
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	×	追加公募の予定はないため
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	×	公募は2009年度のみであり、追加公募の予定が無いため。
【文科】元素戦略プロジェクト	×	公募は2012年度のみであり、追加公募の予定が無いため。

【機関名】資金配分制度名	審査員のデータベース整備	審査員のデータベース整備の効果、整備していない理由
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	×	データベースの定義が不明であるが、宇宙航空分野に限定した委託費であるため、現時点では整備予定なし。
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	×	専門分野が広範囲にわたるものではなく、原子力分野に限定されていることから、データベース整備のメリットは低い。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	×	複数年度を任期とした推進委員会を組織し、審査を行っているため。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	○	データベースによる効果としては、データを一元的に管理することにより、業務の効率化に役立っているほか、専門性、産学、所属機関、男女共同参画、若手参画等の点でバランスを考慮した幅広い審査員を選ぶことへの寄与があげられる。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	×	毎年度募集の事業ではないため。 ※左記はPMの審査に関して記載。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。

【機関名】資金配分制度名	審査員のデータベース整備	審査員のデータベース整備の効果、整備していない理由
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	×	選人数が比較的少数であるため、多様な分野のPOが審査員の選考を行っている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	×	審議会(科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会)において審査を行っている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	×	審議会(科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会)において審査を行っている。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	×	選人数が比較的少数であるため、多様な分野のPOが審査員の選考を行っている。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(韓国発展研究))	○	「審査委員候補者データベース」を整備し、本データベースに基づき、学術システム研究センター研究員が審査委員候補者を選考している。 データベースは、年々登録者数を充実し、科学研究費補助金の研究代表者を中心に約8万6千名を登録しており、登録情報(所属機関、性別、年齢、審査可能分野、発表論文、主な受賞歴、主な競争的資金の獲得状況など)については、毎年登録者本人に確認・更新を依頼しており、最新の情報に基づき各研究種目等の審査委員として最も相応しい者を選考できるシステムにしている。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	○	評価者の評価に対する責任を明確にするために、評価実施後、適切な時期に評価者名及び評価者の実績又は業績を公表している。
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	×	応募案件は、大臣指定を受けており、既に医療上の必要性や開発の可能性が高いと大臣に判断されているため、原則全品目支援している。ヒアリング等は、開発経験豊富なPOを中心に実施しているため、審査員の登録はしていない。
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	×	応募案件は、大臣指定を受けており、既に医療上の必要性や開発の可能性が高いと大臣に判断されているため、原則全品目支援している。ヒアリング等は、開発経験豊富なPOを中心に実施しているため、審査員の登録はしていない。
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	○	審査員の所属、専門分野をDB化することで、研究プロジェクトの評価について適切な審査員を選定することができる。
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	○	評価委員の確認が容易
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	×	事業の途中で審査委員の変更を想定していないため
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	×	事業の途中で審査委員の変更を想定していないため
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	×	事業の途中で審査委員の変更を想定していないため
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	×	事業の途中で審査委員の変更を想定していないため
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	×	単年度ごとに委嘱を行うため
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	×	単年度ごとに委嘱を行うため
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	×	事業の途中で審査委員の変更を想定していないため
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	×	継続事業でないため。
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	○	各評価者の連絡先、審査可能な技術分野を把握できる。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	○	利害関係者や専門分野等を素早く把握できることで、より適切な委員を速やかに選任することが可能となった。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	○	利害関係者や専門分野等を素早く把握できることで、より適切な委員を速やかに選任することが可能となった。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	○	利害関係者や専門分野等を素早く把握できることで、より適切な委員を速やかに選任することが可能となった。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	○	利害関係者や専門分野等を素早く把握できることで、より適切な委員を速やかに選任することが可能となった。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	○	利害関係者や専門分野等を素早く把握できることで、より適切な委員を速やかに選任することが可能となった。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	○	利害関係者や専門分野等を素早く把握できることで、より適切な委員を速やかに選任することが可能となった。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	○	利害関係者や専門分野等を素早く把握できることで、より適切な委員を速やかに選任することが可能となった。
【国交】建設技術研究開発助成制度	×	本制度は審査員数がそれほど多くないので、データベースの必要性は薄い。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	×	人数が少数のため。
【環境】環境研究総合推進費	×	環境分野の研究者はすそ野が狭く、審査員候補者についても限定されている。
【防衛】安全保障技術研究推進制度	△	現時点では、制度開始直後であり、今後整備予定

○:整備している
△:現在整備していないが、今後整備予定
×:整備していない(現時点では整備予定なし)

(注)対象外のプログラム(新規採択なしの場合など)を除く。

フィードバックに関するその他の取組・阻害要因、申請負担軽減に関する取組

【機関名】資金配分制度名	フィードバックに関するその他の取組	審査内容と結果に関する応募者へのフィードバックの阻害要因	研究費の申請における負担軽減に関する取組
【内閣】食品健康影響評価技術研究	ヒアリング審査を行った結果不採択となった研究課題の応募者に対して、今後の研究に生かすことができるよう、審査結果に詳細な評価所見を付してフィードバックしている。	-	競争的資金に関する関係府省連絡会担当者会議での議論を踏まえ、対応を検討する。
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業			
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)			
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)			
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)			
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)			申請書を電子データのみとした。
【AMED】再生医療実用化研究事業			
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業			
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	採択・不採択の通知とともに、応募者への個別コメントをフィードバックしている。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム			
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業			
【AMED】脳科学研究推進プログラム			
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト			
【AMED】長寿科学研究事業			
【AMED】認知症研究開発事業			
【AMED】障害者対策総合研究開発事業			
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画			
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	特になし	特になし	特になし
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業			
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト			e-Radによる完全電子申請化を行った。
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	採択通知について、個別コメントをフィードバック	特になし	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)			
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)			
【AMED】創薬基盤推進研究事業	採択通知について、個別コメントをフィードバック	特になし	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する資料の様式としている。またe-Radで一括処理することで簡素化を図っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)			
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)			
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)			
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	採択または不採択の結果及び不採択理由を応募者に書面にて通知している。		申請書類は必要最小限にするとともに、e-Radにより申請を受け付けている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	採択または不採択の結果及び不採択理由を応募者に書面にて通知している。		申請書類は必要最小限にするとともに、e-Radにより申請を受け付けている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベートタイプ)	採択または不採択の結果及び不採択理由を応募者に書面にて通知している。		申請書類は必要最小限にするとともに、e-Radにより申請を受け付けている。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	採択または不採択の結果及び不採択理由を応募者に書面にて通知している。		申請書類は必要最小限にするとともに、e-Radにより申請を受け付けている。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	採択または不採択の結果及び不採択理由を応募者に書面にて通知している。		申請書類は必要最小限にするとともに、e-Radにより申請を受け付けている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベートタイプ)	新規課題の採択は行っていない。		
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム			
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業			
【AMED】医工連携事業化推進事業			
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)			
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)			
【AMED】医療機器開発推進研究事業			
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備事業			
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	特になし	現在部内で検討中	特になし
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	特になし	現在部内で検討中	特になし

【機関名】資金配分制度名	フィードバックに関するその他の取組	審査内容と結果に関する応募者へのフィードバックの阻害要因	研究費の申請における負担軽減に関する取組
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業（B型肝炎克服実用化等研究事業）	特になし	現在部内で検討中	特になし
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	特になし	現在部内で検討中	特になし
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	採択課題に関して後日J-GRID HPから事業内容の紹介を適宜実施している。	特になし	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radlにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【AMED】創薬支援推進事業（創薬総合支援事業）	公募無し		
【AMED】創薬支援推進事業（創薬支援インフォマティクスシステム構築）	採択の条件等を通知している。		
【AMED】創薬支援推進事業（希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業）			
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	・提案者が十分な準備期間を確保出来るよう、公募開始前には機構ホームページ上で公募予告を行うようにしている。 ・提案時の書類と採択後の書類のフォーマットを統一し、事務負担の軽減を図っている。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	・提案者が十分な準備期間を確保出来るよう、公募開始前には機構ホームページ上で公募予告を行うようにしている。 ・提案時の書類と採択後の書類のフォーマットを統一し、事務負担の軽減を図っている。
【AMED】腎疾患実用化研究事業			
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業（免疫アレルギー疾患実用化研究分野）	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	・提案者が十分な準備期間を確保出来るよう、公募開始前には機構ホームページ上で公募予告を行うようにしている。 ・提案時の書類と採択後の書類のフォーマットを統一し、事務負担の軽減を図っている。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業（移植医療技術開発研究分野）			
【AMED】慢性の痛み解明研究事業			
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	採択結果を通知する際に、評価委員の意見を取りまとめ、研究者にフィードバックしている。特に不採択となった研究課題の研究者については、変更すべき点等について、フィードバックしている。		
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	公募なし		
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	公募なし		
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	非公募型		
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	公募なし		
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	非公募型		
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	公募なし		
【AMED】医薬品等開発研究PDCAパイロット事業	業務委託		
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業			
【AMED】「統合医療II」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業			
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	研究者へフィードバックとして、評点の総点と評価委員からのコメントを研究者へ伝えている。		
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	研究者へフィードバックとして、評点の総点と評価委員からのコメントを研究者へ伝えている。		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）SAITREPS			
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（戦略的国際科学技術協力プログラム）SICP			
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（戦略的国際共同研究プログラム）SICORP			
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（e-ASIA共同研究プログラム）			
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム）			
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（アフリカにおける顧みられない熱帯病（NTDs）対策のための国際共同研究プログラム）	なし	なし	なし
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	なし	なし	なし
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業（日米医学協力計画）	なし	なし	なし
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業			
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業			
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム			

【機関名】資金配分制度名	フィードバックに関するその他の取組	審査内容と結果に関する応募者へのフィードバックの阻害要因	研究費の申請における負担軽減に関する取組
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発			申請書類は必要最小限としている。
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	審査員のコメントに対する回答を研究者に求め、その回答に応じた対応を行っているか、研究成果の評価の際に審査する	特になし	申請書類は、必要最低限としている。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	採択・不採択の結果及び不採択理由を応募者へ書面で通知している。		
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」			
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」			
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発			
【文科】元素戦略プロジェクト			
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	採択・不採択の結果を書面にて通知。		応募書類と契約締結書類の書式統一
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	採択・不採択の結果及び不採択理由を応募者へ書面で通知している。		府省共通研究開発管理システム(e-Rad)により応募を受け付けている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	研究領域の応募・採択状況や選考に関する総評等については、採択結果と併せてホームページ等で速やかに公表している。研究者からの採択・不採択に関する問い合わせに対して、適切に対応している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。その他、戦略的創造研究推進事業では、新規戦略目標についての情報が提示され次第、募集専用のホームページでの掲示、募集の予告を行い、提案者が準備のために可能な限り長い時間を使えるよう努めている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	技術分野の応募・採択状況等については、採択結果と併せてホームページ等で速やかに公表している。採択・不採択に関する問い合わせに対して、適切に対応している。	特になし	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。先端的低炭素化技術開発事業では募集専用のホームページでの掲示、募集の予告を行い、提案者が準備のために可能な限り長い時間を使えるよう努めている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	研究開発領域の応募・採択状況や選考に関する総評等については、採択結果と併せてホームページ等で速やかに公表している。採択・不採択に関する問い合わせに対して、適切に対応している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	新規募集・集採採なしのため、対象外		
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	新規募集・集採採なしのため、対象外		
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。

【機関名】資金配分制度名	フィードバックに関するその他の取組	審査内容と結果に関する応募者へのフィードバックの阻害要因	研究費の申請における負担軽減に関する取組
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。極力相手国機関と調整し、相手国側でも同一の申請様式による応募を行うこととし、また一部の国については従来の日本側研究者はJSTへ応募し相手国研究者は相手国機関へ応募する並行応募方式ではなく、応募先を一本化し応募書類作成の負担を軽減する取り組みを行っている。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	新規募・集採採なしのため、対象外		
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	新規募・集採採なしのため、対象外		
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	審査結果は採否を問わず全ての応募者へ書面にて通知している。不採択者宛の通知には、その理由を付している。	特になし。	研究費の申請に係る提案書を、審査に必要な最低限の情報のみを記述する様式としており、資料の簡素化を図っている。また、申請受付をe-Radにより一括して行い、申請書のダウンロード、提出等申請者にかかる一連の作業をe-Rad上で可能とすることにより、申請者の負担を軽減している。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	※左記はPMの審査に関して記載。		
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	書面及び合議による2段階のピアレビューによる審査を行っている。審査の公正性・透明性を高めるため、審査方針・評定基準等の審査に関する規程について、応募締切前に公開している。 また、基礎研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち希望者には、細目(分野)におけるおおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、定型所見を電子システム(Web)により開示している。 また、特別推進研究や新学術領域研究等の研究種目では、応募者に、審査結果の所見を通知している。	大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率二十数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員員の評価・意見をフィードバックすることは困難であるが、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表し、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証、審査方法の見直しを行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。	応募書類の受付を電子申請システムで行うことにより、応募時の入力ミスを減少させるなど、応募者(申請者)の書類作成の負担を軽減に努めている。 なお、応募書類の様式は、ホームページに掲載し、応募者(申請者)が迅速に入手できるようにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	書面及び合議による2段階のピアレビューによる審査を行っている。審査の公正性・透明性を高めるため、審査方針・評定基準等の審査に関する規程について、応募締切前に公開している。 また、基礎研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち希望者には、細目(分野)におけるおおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、定型所見を電子システム(Web)により開示している。 また、特別推進研究や新学術領域研究等の研究種目では、応募者に、審査結果の所見を通知している。	大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率二十数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員員の評価・意見をフィードバックすることは困難であるが、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表し、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証、審査方法の見直しを行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。	応募書類の受付を電子申請システムで行うことにより、応募時の入力ミスを減少させるなど、応募者(申請者)の書類作成の負担を軽減に努めている。 なお、応募書類の様式は、ホームページに掲載し、応募者(申請者)が迅速に入手できるようにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	書面及び合議による2段階のピアレビューによる審査を行っている。審査の公正性・透明性を高めるため、審査方針・評定基準等の審査に関する規程について、応募締切前に公開している。 また、基礎研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち希望者には、細目(分野)におけるおおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、定型所見を電子システム(Web)により開示している。 また、特別推進研究や新学術領域研究等の研究種目では、応募者に、審査結果の所見を通知している。	大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率二十数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員員の評価・意見をフィードバックすることは困難であるが、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表し、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証、審査方法の見直しを行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。	応募書類の受付を電子申請システムで行うことにより、応募時の入力ミスを減少させるなど、応募者(申請者)の書類作成の負担を軽減に努めている。 なお、応募書類の様式は、ホームページに掲載し、応募者(申請者)が迅速に入手できるようにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	書面及び合議による2段階のピアレビューによる審査を行っている。審査の公正性・透明性を高めるため、審査方針・評定基準等の審査に関する規程について、応募締切前に公開している。 また、基礎研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち希望者には、細目(分野)におけるおおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、定型所見を電子システム(Web)により開示している。 また、特別推進研究や新学術領域研究等の研究種目では、応募者に、審査結果の所見を通知している。	大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率二十数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員員の評価・意見をフィードバックすることは困難であるが、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表し、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証、審査方法の見直しを行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。	応募書類の受付を電子申請システムで行うことにより、応募時の入力ミスを減少させるなど、応募者(申請者)の書類作成の負担を軽減に努めている。 なお、応募書類の様式は、ホームページに掲載し、応募者(申請者)が迅速に入手できるようにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	書面及び合議による2段階のピアレビューによる審査を行っている。審査の公正性・透明性を高めるため、審査方針・評定基準等の審査に関する規程について、応募締切前に公開している。 また、基礎研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち希望者には、細目(分野)におけるおおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、定型所見を電子システム(Web)により開示している。 また、特別推進研究や新学術領域研究等の研究種目では、応募者に、審査結果の所見を通知している。	大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率二十数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員員の評価・意見をフィードバックすることは困難であるが、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表し、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証、審査方法の見直しを行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。	応募書類の受付を電子申請システムで行うことにより、応募時の入力ミスを減少させるなど、応募者(申請者)の書類作成の負担を軽減に努めている。 なお、応募書類の様式は、ホームページに掲載し、応募者(申請者)が迅速に入手できるようにしている。

【機関名】資金配分制度名	フィードバックに関するその他の取組	審査内容や結果に関する応募者へのフィードバックの阻害要因	研究費の申請における負担軽減に関する取組
【JSPS】科学研究費助成事業（特別研究促進費）	書面及び合議による2段階のピアレビューによる審査を行っている。審査の公正性・透明性を高めるため、審査方針・評定基準等の審査に関する規程について、応募締切前に公開している。 また、基礎研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち希望者には、細目（分野）におけるおおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、定型所見を電子システム(Web)により開示している。 また、特別推進研究や新学術領域研究等の研究種目では、応募者に、審査結果の所見を通知している。	大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率二十数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員毎の評価・意見をフィードバックすることは困難であるが、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表し、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証、審査方法の見直しを行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。	応募書類の受付を電子申請システムで行うことにより、応募時の入力ミスを減少させるなど、応募者（申請者）の書類作成の負担を軽減に努めている。 なお、応募書類の様式は、ホームページに掲載し、応募者（申請者）が迅速に入手できるようにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業（特定奨励費）	書面及び合議による2段階のピアレビューによる審査を行っている。審査の公正性・透明性を高めるため、審査方針・評定基準等の審査に関する規程について、応募締切前に公開している。 また、基礎研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち希望者には、細目（分野）におけるおおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、定型所見を電子システム(Web)により開示している。 また、特別推進研究や新学術領域研究等の研究種目では、応募者に、審査結果の所見を通知している。	大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率二十数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員毎の評価・意見をフィードバックすることは困難であるが、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表し、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証、審査方法の見直しを行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。	応募書類の受付を電子申請システムで行うことにより、応募時の入力ミスを減少させるなど、応募者（申請者）の書類作成の負担を軽減に努めている。 なお、応募書類の様式は、ホームページに掲載し、応募者（申請者）が迅速に入手できるようにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金（国際共同研究強化））	書面及び合議による2段階のピアレビューによる審査を行っている。審査の公正性・透明性を高めるため、審査方針・評定基準等の審査に関する規程について、応募締切前に公開している。 また、基礎研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち希望者には、細目（分野）におけるおおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、定型所見を電子システム(Web)により開示している。 また、特別推進研究や新学術領域研究等の研究種目では、応募者に、審査結果の所見を通知している。	大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率二十数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員毎の評価・意見をフィードバックすることは困難であるが、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表し、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証、審査方法の見直しを行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。	応募書類の受付を電子申請システムで行うことにより、応募時の入力ミスを減少させるなど、応募者（申請者）の書類作成の負担を軽減に努めている。 なお、応募書類の様式は、ホームページに掲載し、応募者（申請者）が迅速に入手できるようにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金（国際活動支援班））	書面及び合議による2段階のピアレビューによる審査を行っている。審査の公正性・透明性を高めるため、審査方針・評定基準等の審査に関する規程について、応募締切前に公開している。 また、基礎研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち希望者には、細目（分野）におけるおおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、定型所見を電子システム(Web)により開示している。 また、特別推進研究や新学術領域研究等の研究種目では、応募者に、審査結果の所見を通知している。	大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率二十数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員毎の評価・意見をフィードバックすることは困難であるが、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表し、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証、審査方法の見直しを行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。	応募書類の受付を電子申請システムで行うことにより、応募時の入力ミスを減少させるなど、応募者（申請者）の書類作成の負担を軽減に努めている。 なお、応募書類の様式は、ホームページに掲載し、応募者（申請者）が迅速に入手できるようにしている。
【JSPS】科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金（帰国発展研究））	書面及び合議による2段階のピアレビューによる審査を行っている。審査の公正性・透明性を高めるため、審査方針・評定基準等の審査に関する規程について、応募締切前に公開している。 また、基礎研究、挑戦的萌芽研究又は若手研究に応募し、不採択となった者のうち希望者には、細目（分野）におけるおおよその順位、各評定要素に係る審査委員の平均点等に加え、定型所見を電子システム(Web)により開示している。 また、特別推進研究や新学術領域研究等の研究種目では、応募者に、審査結果の所見を通知している。	大型の研究費を措置する特別推進研究等では、採択されなかった各研究課題について審査結果の所見等の開示を行っているが、全体では年間10万件を超える応募件数があり、平均採択率二十数パーセントであることから、採択されなかった数万件全ての研究課題について、応募内容に関する総評や審査委員毎の評価・意見をフィードバックすることは困難であるが、審査の基本的な考え方、審査体制及び審査方法について定めた規程、並びに審査委員名簿をホームページ上で公表し、学術システム研究センターにおいて審査結果について検証、審査方法の見直しを行うなど、審査の信頼性の向上に向けた取組を行っている。	応募書類の受付を電子申請システムで行うことにより、応募時の入力ミスを減少させるなど、応募者（申請者）の書類作成の負担を軽減に努めている。 なお、応募書類の様式は、ホームページに掲載し、応募者（申請者）が迅速に入手できるようにしている。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金（NIBIOHN）希少疾病用医薬品等開発振興事業	大臣指定を受けていることが応募条件であり、既に医療上の必要性や開発の可能性が高いと大臣に判断されたものに限定されているため、原則採択している。交付決定は、ヒアリング等を行い、速やかに通知している。	該当無し	該当無し
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	大臣指定を受けていることが応募条件であり、既に医療上の必要性や開発の可能性が高いと大臣に判断されたものに限定されているため、原則採択している。交付決定は、ヒアリング等を行い、速やかに通知している。	該当無し	該当無し
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	評価結果（内容：評点、得点分布、書面審査における委員コメント、面接審査における委員コメント）を郵送にて通知。	該当無し	該当無し
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業			
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」（産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立）			
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」（経営評価研究及びマーケティング研究）			
【NARO】革新的技術創造促進事業（異分野融合共同研究）（25補正予算分）			
【NARO】革新的技術創造促進事業（異分野融合共同研究）（26本予算分）			
【NARO】革新的技術創造促進事業（事業化促進）（本予算分）	審査結果については、公文書にて通知		e-Radを利用して公募を行っている
【NARO】革新的技術創造促進事業（事業化促進）（補正予算分）			
【NARO】SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）次世代農林水産業創造技術（経産）平成27年度シーズ活用研究開発事業（革新的ものづくり産業創出連携促進事業）	なし		なし
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）			

【機関名】資金配分制度名	フィードバックに関するその他の取組	審査内容と結果に関する応募者へのフィードバックの阻害要因	研究費の申請における負担軽減に関する取組
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	特になし。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者が十分な準備期間を確保できるよう、公募開始前には機構ホームページ上で公募予告を行い、また、原則30日以上公募期間を確保することとしている。 ・公募に関する問合せや機構を初めて利用する提案者等に対し、応募相談窓口を設置して電話や機構ホームページを通じた相談対応を行っている。 ・優良な技術開発テーマ等を発掘するため、地方の提案者の利便にも配慮し、機構本部以外でも公募説明会を実施している。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	特になし。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者が十分な準備期間を確保できるよう、公募開始前には機構ホームページ上で公募予告を行い、また、原則30日以上公募期間を確保することとしている。 ・公募に関する問合せや機構を初めて利用する提案者等に対し、応募相談窓口を設置して電話や機構ホームページを通じた相談対応を行っている。 ・優良な技術開発テーマ等を発掘するため、地方の提案者の利便にも配慮し、機構本部以外でも公募説明会を実施している。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	特になし。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者が十分な準備期間を確保できるよう、公募開始前には機構ホームページ上で公募予告を行い、また、原則30日以上公募期間を確保することとしている。 ・公募に関する問合せや機構を初めて利用する提案者等に対し、応募相談窓口を設置して電話や機構ホームページを通じた相談対応を行っている。 ・優良な技術開発テーマ等を発掘するため、地方の提案者の利便にも配慮し、機構本部以外でも公募説明会を実施している。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	特になし。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者が十分な準備期間を確保できるよう、公募開始前には機構ホームページ上で公募予告を行い、また、原則30日以上公募期間を確保することとしている。 ・公募に関する問合せや機構を初めて利用する提案者等に対し、応募相談窓口を設置して電話や機構ホームページを通じた相談対応を行っている。 ・優良な技術開発テーマ等を発掘するため、地方の提案者の利便にも配慮し、機構本部以外でも公募説明会を実施している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	特になし。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者が十分な準備期間を確保できるよう、公募開始前には機構ホームページ上で公募予告を行い、また、原則30日以上公募期間を確保することとしている。 ・公募に関する問合せや機構を初めて利用する提案者等に対し、応募相談窓口を設置して電話や機構ホームページを通じた相談対応を行っている。 ・優良な技術開発テーマ等を発掘するため、地方の提案者の利便にも配慮し、機構本部以外でも公募説明会を実施している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	特になし。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者が十分な準備期間を確保できるよう、公募開始前には機構ホームページ上で公募予告を行い、また、原則30日以上公募期間を確保することとしている。 ・公募に関する問合せや機構を初めて利用する提案者等に対し、応募相談窓口を設置して電話や機構ホームページを通じた相談対応を行っている。 ・優良な技術開発テーマ等を発掘するため、地方の提案者の利便にも配慮し、機構本部以外でも公募説明会を実施している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	特になし。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者が十分な準備期間を確保できるよう、公募開始前には機構ホームページ上で公募予告を行い、また、原則30日以上公募期間を確保することとしている。 ・公募に関する問合せや機構を初めて利用する提案者等に対し、応募相談窓口を設置して電話や機構ホームページを通じた相談対応を行っている。 ・優良な技術開発テーマ等を発掘するため、地方の提案者の利便にも配慮し、機構本部以外でも公募説明会を実施している。
【国交】建設技術研究開発助成制度	特になし		継続の案件について、様式の一部を簡略化。
【国交】交通運輸技術開発推進制度			継続研究課題について、「参加者の有無を確認する公募手続き方式」を採用
【環境】環境研究総合推進費			府省統一ルールへの対応
【防衛】安全保障技術研究推進制度			

PO・PDの業務や裁量における工夫

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【内閣】食品健康影響評価技術研究	研究事業における個々の研究課題の選定、評価等の実務を行う。	研究事業を統括する。
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS（プログラムスーパーバイザー）も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS（プログラムスーパーバイザー）も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】再生医療実用化研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価		
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム		
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	<p>・POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・各POに対し、AMED領域担当を配置し、進捗管理など、POの業務をサポートする体制を構築している。またPSPO会議を開催し、PSPOとAMED事務局の連携を図り、事業を推進している。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】脳科学研究推進プログラム	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】脳機能ネットワークの全容説明プロジェクト	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】長寿科学研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】認知症研究開発事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画 【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム		
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト		
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業		
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)		
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)		
【AMED】創薬基盤推進研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)		
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)		
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)		
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベートタイプ)	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベートタイプ)	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業		
【AMED】医工連携事業化推進事業		

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業 (委託)		
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業 (補助)		
【AMED】医療機器開発推進研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 課題評価の調整 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 研究開発計画の調整 現地調査の実施 その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 運営方針案の決定 課題評価又は課題評価に関する助言 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 新規事業の提言 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 PS 間の調整 その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 運営方針案の決定 課題評価の結果の確認 採択課題、採択条件等の案の決定 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 研究開発計画の確認 事業等の進捗管理の実施 現地調査の実施 PO 間の調整 その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業		
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 課題評価の調整 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 研究開発計画の調整 現地調査の実施 その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 運営方針案の決定 課題評価又は課題評価に関する助言 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 新規事業の提言 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 PS 間の調整 その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 運営方針案の決定 課題評価の結果の確認 採択課題、採択条件等の案の決定 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 研究開発計画の確認 事業等の進捗管理の実施 現地調査の実施 PO 間の調整 その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業（肝炎等克服緊急対策研究事業）	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS（プログラムスーパーバイザー）も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業（B型肝炎創薬実用化等研究事業）	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS（プログラムスーパーバイザー）も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS（プログラムスーパーバイザー）も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム		
【AMED】創薬支援推進事業（創薬総合支援事業）		

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフラ構築)		
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)		
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	<p>・POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・疾患領域の網羅性を鑑み、POを委嘱し、それぞれの専門性に合わせて、業務を分担している。</p> <p>・予算や事業全体に関する件については、PSPPO全員に確認を行っているが、課題単位の進捗管理についてはPSおよび特定のPOに分担し、全体の会議で事後に情報の共有することで業務の効率化を図っている。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	<p>・POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・疾患領域の網羅性を鑑み、POを委嘱し、それぞれの専門性に合わせて、業務を分担している。</p> <p>・予算や事業全体に関する件については、PSPPO全員に確認を行っているが、課題単位の進捗管理についてはPSおよび特定のPOに分担し、全体の会議で事後に情報の共有することで業務の効率化を図っている。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
<p>【AMED】腎疾患実用化研究事業</p>	<p>・POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・疾患領域の網羅性を鑑み、POを委嘱し、それぞれの専門性に合わせて、業務を分担している。</p> <p>・予算や事業全体に関する件については、PSPO全員に確認を行っているが、課題単位の進捗管理についてはPSおよび特定のPOに分担し、全体の会議で事後に情報の共有することで業務の効率化を図っている。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
<p>【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)</p>	<p>・POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・疾患領域の網羅性を鑑み、POを委嘱し、それぞれの専門性に合わせて、業務を分担している。</p> <p>・予算や事業全体に関する件については、PSPO全員に確認を行っているが、課題単位の進捗管理についてはPSおよび特定のPOに分担し、全体の会議で事後に情報の共有することで業務の効率化を図っている。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
<p>【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)</p>	<p>・POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・疾患領域の網羅性を鑑み、POを委嘱し、それぞれの専門性に合わせて、業務を分担している。</p> <p>・予算や事業全体に関する件については、PSPO全員に確認を行っているが、課題単位の進捗管理についてはPSおよび特定のPOに分担し、全体の会議で事後に情報の共有することで業務の効率化を図っている。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	<p>・POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・疾患領域の網羅性を鑑み、POを委嘱し、それぞれの専門性に合わせて、業務を分担している。</p> <p>・予算や事業全体に関する件については、PSPO全員に確認を行っているが、課題単位の進捗管理についてはPSおよび特定のPOに分担し、全体の会議で事後に情報の共有することで業務の効率化を図っている。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム		
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業		
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業		
【AMED】臨床試験支援機能構築事業		
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業		
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業		
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】医薬品等開発研究PDCAパイロット事業		

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PD は、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS 間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PD は、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PS は、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO 間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PS は、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
<p>【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)</p>	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
<p>【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)</p>		
<p>【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)</p>	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>
<p>【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業</p>	<p>POは、担当する事業に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題評価の調整 (2) 課題間の資金の配分額及び配分方式の調整 (3) 研究開発計画の調整 (4) 現地調査の実施 (5) その他運営に必要な事項 <p>2 POは、担当する事業の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>	<p>「PDの人数」には以下PS(プログラムスーパーバイザー)も含んでいる。</p> <p>・PDは、担当する分野に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価又は課題評価に関する助言 (3) 事業間の資金の配分額及び配分方式に関する助言 (4) 研究開発の加速等のため、拡充の必要な事業の提言 (5) 新規事業の提言 (6) 当該分野の推進等のため、関連する他の分野において実施することが必要な措置の提言 (7) PS間の調整 (8) その他運営に必要な事項 <p>2 PDは、担当する分野の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p> <p>・PSは、担当する事業等に関して次の各号に掲げる業務を行うことを基本的な任務とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営方針案の決定 (2) 課題評価の結果の確認 (3) 採択課題、採択条件等の案の決定 (4) 課題間の資金の配分額及び配分方式の確認 (5) 研究開発計画の確認 (6) 事業等の進捗管理の実施 (7) 現地調査の実施 (8) PO間の調整 (9) その他運営に必要な事項 <p>2 PSは、担当する事業等の特色を踏まえて、前項各号に掲げる業務の全部又は一部の業務を行うものとする。</p>

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)		
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業		
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業		
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム		評価・運営委員会の「座長」等はPD,POには該当しないものとして整理
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発		
【総務】消防防災科学技術研究推進制度		
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発		
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を旨としたネットワーク研究拠点プログラム」		
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」		
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発		
【文科】元素戦略プロジェクト		
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費		
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業		
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	具体的には以下の通りの研究のマネジメントを実施している。 ・日常的な研究進捗把握や中間評価等を通じて、研究計画の最適化・見直しの助言・指示。また、研究課題への研究費配分の見直しや、必要に応じて評価を終了研究課題の中止等の措置を実施。 ・研究領域の構想の実現のために必要な場合には、研究課題間の連携や融合(統合)を助言・指導。 ・研究成果をイノベーションにつなげていくため、研究者同士(同一戦略目標下の他の研究領域の研究者などを含む)、また産業化や社会実装の担い手となる産業界等、研究領域内外との情報交換や連携等のネットワーク形成を先導・支援。	PDの活動を活性化するため、平成24年度より研究主監(PD)会議を月1回程度開催し、制度改善に向けた取り組みを実施している。平成27年度の具体的な取り組みは以下の通り。 ・事業運営と研究成果の両面から国際的視点を踏まえた事業の総合的な評価を実施し、その結果を事業の運営に反映させる目的で、第3回国際評価委員会を開催。 ・ACCELにおいて、平成27年度よりフィジビリティスタディ(FS)を導入。等
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	技術領域の運営責任者として、技術領域全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・研究課題評価全般の実施 ・採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・研究開発計画の変更の提言 ・必要に応じて、サイトビジットの実施	事業全体の運営責任者として、事業全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・先端的低炭素化技術開発事業推進会議の運営 ・本事業の根幹にあたる国の施策に対応した技術領域の選定 ・本事業の制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・研究の推進・評価に関連し、技術領域間(PO間)の資金配分等の調整や本事業で実施した研究の特筆すべき進捗・成果・影響を踏まえた加速強化等の措置に関する方策提言
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	研究領域の運営責任者として、研究領域全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・担当する研究領域における募集・選考方針の策定 ・研究課題評価全般の実施 ・必要に応じてサイトビジットの実施	事業全体の運営責任者として、事業全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・外部有識者による研究開発主監会議の意見を聴いた上で、研究開発領域の設定及び領域総括(PO)及び領域アドバイザーを選定 ・研究開発主監会議の意見を聴いた上で、本事業の制度、運営、評価の各仕組み・方策に関して決定 ・研究の推進・評価に関連し、採択課題の決定、研究開発領域間(PO間)の資金配分等の調整
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	POの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) プログラム又は領域の運営方針案(目的、目標等の設定)の作成 (2) 評価者の候補者リストの作成 (3) 外部評価に基づく採択課題候補案の作成(優先順位付け、研究開発費の査定、研究開発分担者の必要性及び重複の排除) (4) 評価内容及び不採択理由の開示並びにそれらに対する申請者からの質問及び不服申立への対応 (5) 採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘及び不採択の申請者に対する助言 (6) 進捗状況や予算執行状況の把握及び必要に応じた現地調査の実施 (7) 研究開発計画の変更(拡大・縮小・中止を含む)の提言 (8) プログラム全体の運営見直し等の提案 (9) その他競争的資金制度の運営に必要な事項	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。 PDの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) マネジメントシステムの改善 (2) プログラム又は領域の運営方針案の作成並びに新規のプログラム又は領域の設定案の作成 (3) プログラム間、領域間等の資金の配分額及び配分方式の案の作成 (4) PO間の調整 (5) 採択課題案の作成 (6) POの評価 (7) その他競争的資金制度の運営に必要な事項
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤基盤研究プログラム)	POの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) プログラム又は領域の運営方針案(目的、目標等の設定)の作成 (2) 評価者の候補者リストの作成 (3) 外部評価に基づく採択課題候補案の作成(優先順位付け、研究開発費の査定、研究開発分担者の必要性及び重複の排除) (4) 評価内容及び不採択理由の開示並びにそれらに対する申請者からの質問及び不服申立への対応 (5) 採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘及び不採択の申請者に対する助言 (6) 進捗状況や予算執行状況の把握及び必要に応じた現地調査の実施 (7) 研究開発計画の変更(拡大・縮小・中止を含む)の提言 (8) プログラム全体の運営見直し等の提案 (9) その他競争的資金制度の運営に必要な事項	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。 PDの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) マネジメントシステムの改善 (2) プログラム又は領域の運営方針案の作成並びに新規のプログラム又は領域の設定案の作成 (3) プログラム間、領域間等の資金の配分額及び配分方式の案の作成 (4) PO間の調整 (5) 採択課題案の作成 (6) POの評価 (7) その他競争的資金制度の運営に必要な事項

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	POの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) プログラム又は領域の運営方針案(目的、目標等の設定)の作成 (2) 評価者の候補者リストの作成 (3) 外部評価に基づく採択課題候補案の作成(優先順位付け、研究開発費の査定、研究開発分担者の必要性及び重複の排除) (4) 評価内容及び不採択理由の開示並びにそれらに対する申請者からの質問及び不服申立への対応 (5) 採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘及び不採択の申請者に対する助言 (6) 進捗状況や予算執行状況の把握及び必要に応じた現地調査の実施 (7) 研究開発計画の変更(拡大・縮小・中止を含む)の提言 (8) プログラム全体の運営見直し等の提案 (9) その他競争的資金制度の運営に必要な事項	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。 PDの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) マネジメントシステムの改善 (2) プログラム又は領域の運営方針案の作成並びに新規のプログラム又は領域の設定案の作成 (3) プログラム間、領域間等の資金の配分額及び配分方式の案の作成 (4) PO間の調整 (5) 採択課題案の作成 (6) POの評価 (7) その他競争的資金制度の運営に必要な事項
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	・研究課題評価全般の実施 ・採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・研究開発計画の変更の提言 ・必要に応じて、サイトビジットの実施	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。 ・本事業制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・評価会に出席し、取りまとめの実施 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	・研究課題評価全般の実施 ・採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・研究開発計画の変更の提言 ・必要に応じて、サイトビジットの実施	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。 ・本事業制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・評価会に出席し、取りまとめの実施 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	POの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) プログラム又は領域の運営方針案(目的、目標等の設定)の作成 (2) 評価者の候補者リストの作成 (3) 外部評価に基づく採択課題候補案の作成(優先順位付け、研究開発費の査定、研究開発分担者の必要性及び重複の排除) (4) 評価内容及び不採択理由の開示並びにそれらに対する申請者からの質問及び不服申立への対応 (5) 採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘及び不採択の申請者に対する助言 (6) 進捗状況や予算執行状況の把握及び必要に応じた現地調査の実施 (7) 研究開発計画の変更(拡大・縮小・中止を含む)の提言 (8) プログラム全体の運営見直し等の提案 (9) その他競争的資金制度の運営に必要な事項	事業全体の運営責任者として、事業全体の運営方針及びマネジメントの実施 ・本事業の制度、運営、評価の仕組み・方策に関する提言 ・推進委員会に出席し、取りまとめの実施
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	・研究課題評価全般の実施 ・採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・研究開発計画の変更の提言 ・必要に応じて、サイトビジットの実施	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。 ・本事業制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・評価会に出席し、取りまとめの実施 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	・研究課題評価全般の実施 ・採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・研究開発計画の変更の提言 ・必要に応じて、サイトビジットの実施	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。 ・本事業制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・評価会に出席し、取りまとめの実施 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	研究領域の研究推進の取りまとめ責任者であり、採択課題候補を決定する審査委員会を外部有識者とともに構成する。採択課題決定後は、各研究課題の研究計画の調整、研究代表者との意見交換、研究への助言、課題評価、その他必要な手段を通じて担当する研究領域の研究マネージメントを行う。	本プログラムの運営全体の取りまとめ責任者であり、本プログラム全体の推進方針決定、研究分野・研究領域間の調整、採択(条件付採択を含む)課題の決定、各研究課題マネージメントにおける重要事項の審議を行う推進委員会の委員長を務める。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	研究領域の運営責任者として、研究領域全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・担当する研究領域における募集・選考方針の策定 ・研究課題評価全般の指揮・調整 ・研究領域内の各課題研究費配分の方針の策定等	事業全体の運営責任者として、事業全体の運営方針及びマネジメントの実施 ・本事業の制度、運営、評価の仕組み・方策に関する提言 ・研究の推進、評価に関連し、研究領域間(PO間)の資金配分等の調整 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	非競争的研究資金のため対象外	非競争的研究資金のため対象外
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	非競争的研究資金のため対象外	非競争的研究資金のため対象外
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	非競争的研究資金のため対象外	非競争的研究資金のため対象外
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	・研究課題評価全般の実施 ・採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・研究開発計画の変更の提言 ・必要に応じて、サイトビジットの実施	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。 ・本事業制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・評価会に出席し、取りまとめの実施 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	非競争的研究資金のため対象外	非競争的研究資金のため対象外
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	非競争的研究資金のため対象外	非競争的研究資金のため対象外

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(韓国発展研究))	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金		
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業		
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用		
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	プログラムの計画・立案、評価者の選定、外部評価結果に基づく研究プロジェクトの進捗管理(計画書の審査、指導・助言、報告)	プログラムのマネジメント、POの統括管理
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業		
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)		PDを補佐する者としてPD補佐、総括POを設置している。
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)		PDを補佐する者としてPD補佐、総括POを設置している。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)		
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術		
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	なし	なし
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)		
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)		
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)		
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)		
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)		
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	・機構では、競争的資金制度とそれ以外の事業の両方を所管する部署があり、当該部署においては兼任のPOを配置して業務の効率化を図っている。 ・なお、兼任のPOが競争的資金制度以外の事業にも精通することにより、競争的資金制度において得られた優れた成果を効率的にプロジェクト化できるなど、兼任によるメリットを活かしている。	・機構では、競争的資金制度とそれ以外の事業の両方を所管する部署があり、当該部署においては兼任のPDを配置して業務の効率化を図っている。 ・なお、兼任のPDが競争的資金制度以外の事業にも精通することにより、競争的資金制度において得られた優れた成果を効率的にプロジェクト化できるなど、兼任によるメリットを活かしている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))		
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)		
【国交】建設技術研究開発助成制度	任命していない。	任命していない。
【国交】交通運輸技術開発推進制度		
【環境】環境研究総合推進費	総括POの設置によるPO間のレベル合わせと情報共有	
【防衛】安全保障技術研究推進制度		

多段階選抜方式の採用

【機関名】資金配分制度名	多段階選抜方式の採用	採用(○)の場合、実績
【内閣】食品健康影響評価技術研究	×	
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	×	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最速展開支援プログラム(A-STEP)	×	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	○	2015年度に選抜を実施していない(選抜は2016年度末予定)
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	×	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	×	
【AMED】再生医療実用化研究事業	×	
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	×	
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	○	本事業ではステージゲート(SG)方式を取り入れており、2015年度に最初のSG評価を実施
【AMED】次世代がん研究シース戦略的育成プログラム	×	
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	×	
【AMED】脳科学研究推進プログラム	×	
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	×	
【AMED】長寿科学研究事業	×	
【AMED】認知症研究開発事業	×	
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	×	
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	×	
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	×	
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	×	
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	×	
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	×	
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	×	
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	×	
【AMED】創薬基盤推進研究事業	×	
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	×	
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	×	
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	×	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	×	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	×	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータータイプ)	×	
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	×	
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	×	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータータイプ)	×	
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	×	
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	○	ステージゲート方式を採用している。
【AMED】医工連携事業化推進事業	○	継続審査を取り入れている。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	×	
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	○	ステージゲート方式を採用している。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	×	
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	×	
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	×	
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	×	
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	×	
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	×	
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	×	
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	×	
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォマティクスシステム構築)	×	
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	×	
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	×	
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	×	
【AMED】腎疾患実用化研究事業	×	
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	×	
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	×	
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	×	
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	×	
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	×	
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	×	
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	×	
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	×	
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	×	
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	×	
【AMED】医薬品等開発研究PDCA/バイト事業	×	
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	×	
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	×	
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	×	
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	×	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	×	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	×	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	×	

【機関名】資金配分制度名	多段階選抜方式の採用	採用(○)の場合、実績
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	×	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	×	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	×	
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	×	
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	×	
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	×	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	○	一部のプログラムで多段階選抜方式を採用。
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	○	・2015年度の第一次提案55件のうち、ベンチャーキャピタル等で構成する第一次提案審査会を通過した課題は37件 ・2015年度の第二次提案14件のうち、有識者による評価・運営委員会を経て採択に至った課題は4件
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	×	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	×	
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	×	
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	×	
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	×	
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	×	
【文科】元素戦略プロジェクト	×	
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	×	
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	○	平成27年度に発足したCREST・さきがけ複合領域「微小エネルギーを利用した革新的な環境発電技術の創出」研究領域において、分野の特性に応じた中間評価により、それぞれの採択課題における研究を一旦終了させ、産業界との連携につながる「出口を見据えた研究」が行われる上で最適な「研究者群」を分野融合的に形成(加速)して、より最適化した新チームで研究を再スタートさせる「融合・加速方式」を導入。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○	平成22年度採択課題54課題のうち、数回のステージゲート評価(他制度の中間評価等に相当)を経て、平成27年度まで継続した課題は13課題で、当初採択課題数のおよそ24%に絞り込まれた。なお、ALCAにおけるステージゲート評価は、研究開発上の成果・マイルストーンの達成度のみならず、将来の低炭素化社会実現に対する貢献度からの評価、研究開発成果を社会実装するにあたり、他制度や民間企業による研究の展開がふさわしいとして「卒業」した課題もあるため、単純な研究開発上の優劣による評価結果ではないことに留意。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	×	
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	○	平成25年度にCOI拠点等に発展することが期待される拠点をトライアル課題として14課題採択。当該14課題を対象に再構想を求め、平成27年度よりその中から6課題を拠頭に格上げすることを決定した。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	○	平成27年度にFS拠点として3課題採択。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	×	
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	×	
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	相手国機関との協議により延長評価を導入し、評価が高い課題には2年の支援期間の延長を実施している。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	×	
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	○	平成27年度にFS拠点として2課題採択
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	×	
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	×	
【JST】戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)(5課題合計)	○	課題によってはFSとして採択し、2年目に継続の判断などを行っている。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	○	多段階選抜方式を取り入れているPMもいるが、実施段階であり、まだ成果創出に至っていない。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	○	書面審査、審査意見書、ヒアリング、合議審査による多段階の審査方式を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	○	書面審査、審査意見書、ヒアリング、合議審査による多段階の審査方式を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	○	書面審査、審査意見書、ヒアリング、合議審査による多段階の審査方式を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	○	書面審査、審査意見書、ヒアリング、合議審査による多段階の審査方式を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	○	書面審査、審査意見書、ヒアリング、合議審査による多段階の審査方式を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	○	書面審査、審査意見書、ヒアリング、合議審査による多段階の審査方式を実施している。

【機関名】資金配分制度名	多段階選抜方式の採用	採用(○)の場合、実績
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(帰国発展研究))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	×	
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	×	
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	×	
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	×	
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	○	7課題について多段階選抜方式を採用
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業Ⅰ(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	×	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業Ⅰ(経営評価研究及びマーケティング研究)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	×	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	×	
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	×	
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	×	
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	○	事業実施期間を複数のステージに分割することで、採用すべき技術が確定できない初期のステージでは複数の選択肢を並行的に試みることができ、次のステージへ移行する際に評価を行うゲートを設けることで、技術の取捨選択や技術の融合、必要な実施体制の見直し等を柔軟に図ることができている。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	×	
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	×	
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	×	
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	×	
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	×	
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	×	
【国交】建設技術研究開発助成制度	○	平成23年度より一部に導入。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	×	
【環境】環境研究総合推進費	×	
【防衛】安全保障技術研究推進制度	×	

アワード型方式の採用

【機関名】資金配分制度名	アワード型方式の採用	採用(○)の場合、実績
(内閣)食品健康影響評価技術研究	×	
(AMED)医薬品等規制調和・評価研究事業	×	
(AMED)医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	×	
(AMED)医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	×	
(AMED)医療分野研究成果展開事業/産学共創基盤研究プログラム(産学共創)	×	
(AMED)医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	×	
(AMED)再生医療実用化研究事業	×	
(AMED)再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	×	
(AMED)再生医療実現拠点ネットワークプログラム	×	
(AMED)次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	×	
(AMED)革新的がん医療実用化研究事業	×	
(AMED)脳科学研究推進プログラム	×	
(AMED)脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	×	
(AMED)長寿科学研究事業	×	
(AMED)認知症研究開発事業	×	
(AMED)障害者対策総合研究開発事業	×	
(AMED)東北メディカル・メガバンク計画	×	
(AMED)オーダーメイド医療の実現プログラム	×	
(AMED)ゲノム医療実用化推進研究事業	×	
(AMED)ナショナルバイオリソースプロジェクト	×	
(AMED)革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	×	
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	×	
(AMED)創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	×	
(AMED)創薬基盤推進研究事業	×	
(AMED)次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	×	
(AMED)次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	×	
(AMED)次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	×	
(AMED)革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	×	
(AMED)革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	×	
(AMED)革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	×	
(AMED)成育疾患克服等総合研究事業	×	
(AMED)女性の健康の包括的支援実用化研究事業	×	
(AMED)革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)	×	
(AMED)医療分野研究成果展開事業_先端計測分析技術・機器開発プログラム	×	
(AMED)未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	×	
(AMED)医工連携事業化推進事業	×	
(AMED)ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	×	
(AMED)ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	×	
(AMED)医療機器開発推進研究事業	×	
(AMED)国産医療機器創出促進基盤整備等事業	×	
(AMED)新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	×	
(AMED)肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	×	
(AMED)肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	×	
(AMED)エイズ対策実用化研究事業	×	
(AMED)感染症研究国際展開戦略プログラム	×	
(AMED)創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	×	
(AMED)創薬支援推進事業(創薬支援インフォマティクスシステム構築)	×	
(AMED)創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	×	
(AMED)難治性疾患実用化研究事業	×	
(AMED)循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	×	
(AMED)腎疾患実用化研究事業	×	
(AMED)免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	×	
(AMED)免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	×	
(AMED)慢性的痛み解明研究事業	×	
(AMED)橋渡し研究加速ネットワークプログラム	×	
(AMED)世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	×	
(AMED)臨床研究品質確保体制整備事業	×	
(AMED)臨床試験支援機能構築事業	×	
(AMED)日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	×	
(AMED)未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	×	
(AMED)早期探索的・国際水準臨床研究事業	×	
(AMED)医薬品等開発研究PDCA/バイロット事業	×	
(AMED)臨床研究・治験推進研究事業	×	
(AMED)「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	×	
(AMED)臨床研究等ICT基盤構築研究事業	×	
(AMED)地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	×	
(AMED)医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	×	
(AMED)医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	×	
(AMED)医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	×	
(AMED)医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	×	
(AMED)医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	×	
(AMED)医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	×	
(AMED)地球規模保健課題解決推進のための研究事業	×	
(AMED)地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	×	
(AMED)ゲノム医療実用化推進プラットフォーム事業	×	
(総務)戦略的情報通信研究開発推進事業	×	
(総務)ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	×	
(総務)デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	×	
(総務)消防防災科学技術研究推進制度	×	
(文科)未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	×	
(文科)光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	×	
(文科)光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	×	
(文科)ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	×	
(文科)元素戦略プロジェクト	×	
(文科)宇宙航空科学技術推進委託費	×	
(文科)国家課題対応型研究開発推進事業_英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	×	
(JST)戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	×	
(JST)戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	×	
(JST)戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	×	
(JST)研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	×	
(JST)研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	×	
(JST)研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	×	
(JST)研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	×	
(JST)研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	×	
(JST)研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	×	
(JST)研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(U)サーチコンプレックス)推進プログラム)	×	
(JST)研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	×	
(JST)国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	×	
(JST)国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	×	
(JST)戦略的国際科学技術協力推進事業	×	
(JST)イノベーションハブ構築支援事業	×	

【機関名】資金配分制度名	アワード型方式の採用	採用(○)の場合、実績
(JST)ライフサイエンスデータベース統合推進事業	×	
(JST)先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	×	
(JST)戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	×	
(JST)革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(特別推進研究)	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(基盤研究(S))	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(基盤研究(A))	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(基盤研究(B))	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(基盤研究(C))	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(若手研究(A))	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(若手研究(B))	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(奨励研究)	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(新学術領域研究)	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(特別研究促進費)	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(特定奨励費)	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援))	×	
(JSPS)科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(韓国発展研究))	×	
(厚労)厚生労働科学研究費補助金	×	
(NIBIOHN)希少疾病用医薬品等開発振興事業	×	
(NIBIOHN)ウルトラオープン強化費用	×	
(NIBIOHN)希少疾病用再生医療品等開発支援事業	×	
(農水)農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	×	
(NARO)「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業Ⅰ(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	×	
(NARO)「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業Ⅰ(経営評価研究及びマーケティング研究)	×	
(NARO)革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	×	
(NARO)革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	×	
(NARO)革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	×	
(NARO)革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	×	
(NARO)SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	×	
(経産)平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	×	
(経産)革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	×	
(NEDO)ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	×	
(NEDO)ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	×	
(NEDO)実用化促進事業(内、本予算分)	×	
(NEDO)実用化促進事業(内、補正予算分)	×	
(NEDO)技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	×	
(NEDO)技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	×	
(NEDO)技術シーズの発掘(内、補正予算分)	×	
(国交)建設技術研究開発助成制度	×	
(国交)交通運輸技術開発推進制度	×	
(環境)環境研究総合推進費	×	
(防衛)安全保障技術研究推進制度	×	

資金配分マネジメントの強化

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【内閣】食品健康影響評価技術研究 【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業		
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) 【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)		
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)		
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M) 【AMED】再生医療実用化研究事業		
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	研究体制が企業と大学との産学連携であること、及び、出口戦略が明確であること等を応募の際の条件としている。	
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	再生医療の臨床応用に向けた研究開発を加速するため、以下の通り事業内連携を促進する制度設計としている。 ・「疾患・組織別実用化研究拠点」は、「iPS細胞研究中核拠点」から提供される再生医療用iPS細胞を用いて臨床応用を目指し、安全性などに関する情報を還元するなど、「iPS細胞研究中核拠点」との連携をはかることとする。 ・「技術開発個別課題」は、「iPS細胞研究中核拠点」または「疾患・組織別実用化研究拠点」と連携することとし、その際には、拠点長が技術開発個別課題の進捗に責任を持って関与する。また「技術開発個別課題」の実施者に対して、拠点の設備を共用プラットフォームとして提供し、必要な支援を行うことも可能とする。得られた成果は広く「疾患・組織別実用化研究拠点」に供与し、再生医療への応用を積極的に図ることとする。	
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム 【AMED】革新的がん医療実用化研究事業		
【AMED】脳科学研究推進プログラム 【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト 【AMED】長寿科学研究事業 【AMED】認知症研究開発事業 【AMED】障害者対策総合研究開発事業 【AMED】東北メディカル・メガバンク計画 【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム 【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業		
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト 【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	特に無し。	特に無し。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業) 【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	特に無し。 特に無し。	特に無し。 特に無し。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	進捗報告会を実施し、該当年度における進捗をPS、POが確認して評価し、配分に反映できる仕組みを導入している。	PS、POが選択した課題について、サイトビジットを行うことにより、更に進捗状況を把握するようにしている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	事業の進捗状況を年次ごとに評価し、経済産業省、PS/PO、PLおよびAMEDで相談の上で予算の弾力的配分、実施体制の強化を可能としている。	毎年1~2回の進捗報告会を開催し、研究開発の進捗や課題を確認し、それに基づいて次年度研究計画および予算/体制の見直しを行っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	事業の進捗状況を年次ごとに評価し、経済産業省、PS/PO、PLおよびAMEDで相談の上で予算の弾力的配分、実施体制の強化を可能としている。	毎年1~2回の進捗報告会を開催し、研究開発の進捗や課題を確認し、それに基づいて次年度研究計画および予算/体制の見直しを行っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	事業の進捗状況を年次ごとに評価し、経済産業省、PS/PO、PLおよびAMEDで相談の上で予算の弾力的配分、実施体制の強化を可能としている。	毎年1~2回の進捗報告会を開催し、研究開発の進捗や課題を確認し、それに基づいて次年度研究計画および予算/体制の見直しを行っている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	ユニットタイプやソロタイプで創出された顕著な研究成果について、加速的に発展させ、臨床医や企業、ベンチャーなどに研究開発の流れを継承することを目的として、インキュベータータイプを実施する仕組みを構築している。	職員がプログラムスーパーバイザー、プログラムオフィサーと連携して研究開発課題管理を行っている。研究開発課題の進捗状況に応じて、研究開発費の増額、減額を行うなど、柔軟な資金配分ができる仕組みを構築している。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	ユニットタイプやソロタイプで創出された顕著な研究成果について、加速的に発展させ、臨床医や企業、ベンチャーなどに研究開発の流れを継承することを目的として、インキュベータータイプを実施する仕組みを構築している。	職員がプログラムスーパーバイザー、プログラムオフィサーと連携して研究開発課題管理を行っている。研究開発課題の進捗状況に応じて、研究開発費の増額、減額を行うなど、柔軟な資金配分ができる仕組みを構築している。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータータイプ)	プログラムマネージャー(PM)を設置し、研究開発代表者と協働し、研究開発成果を企業等に承継される等の社会的・経済的価値の創造に結びつける取り組みを推進している。	職員がプログラムスーパーバイザー、プログラムオフィサーと連携して研究開発課題管理を行っている。研究開発課題の進捗状況に応じて、研究開発費の増額、減額を行うなど、柔軟な資金配分ができる仕組みを構築している。

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業		職員がプログラムスーパーバイザー、プログラムオフィサーと連携して研究開発課題管理を行っている。研究開発課題の進捗状況に応じて、研究開発費の増額、減額を行うなど、柔軟な資金配分ができる仕組みを構築している。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業		職員がプログラムスーパーバイザー、プログラムオフィサーと連携して研究開発課題管理を行っている。研究開発課題の進捗状況に応じて、研究開発費の増額、減額を行うなど、柔軟な資金配分ができる仕組みを構築している。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)		職員がプログラムスーパーバイザー、プログラムオフィサーと連携して研究開発課題管理を行っている。研究開発課題の進捗状況に応じて、研究開発費の増額、減額を行うなど、柔軟な資金配分ができる仕組みを構築している。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム		サイトビジット等で進捗管理を行った上で、必要に応じて開発費の増減をおこなう。
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業		サイトビジット等で進捗管理を行った上で、必要に応じて開発費の増減をおこなう。
【AMED】医工連携事業化推進事業	ものづくり中小企業の参画を必須としている。	サイトビジット等で進捗管理を行った上で、必要に応じて開発費の増減をおこなう。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)		サイトビジット等で進捗管理を行った上で、必要に応じて開発費の増減をおこなう。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)		サイトビジット等で進捗管理を行った上で、必要に応じて開発費の増減をおこなう。
【AMED】医療機器開発推進研究事業		サイトビジット等で進捗管理を行った上で、必要に応じて開発費の増減をおこなう。
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業		サイトビジット等で進捗管理を行った上で、必要に応じて開発費の増減をおこなう。
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	特になし	特になし
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	特になし	特になし
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	特になし	特になし
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	特になし	特になし
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	各拠点大学・研究所と連携し治療薬・診断法他の開発に関して進める可能性がある案件に関してはPDPSPO及び文科省と相談の上、再委託先に取り込む方向性は検討可能だが、現時点では対象はない。	同左
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)		
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォーマティクスシステム構築)		
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)		
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	研究費の機能的運用として、AMED全体として以下のことに取り組んでいる。 ・研究費の機動的運用 ・研究事務の効率的実施 ・研究機器の合理的運用 http://www.amed.go.jp/content/files/jp/youshiki/other/kenkyuhi_kinoutekiunyo_01-03.pdf	PSPOによる進捗管理等を通じて、所掌する研究課題に対して適宜必要な資金配分が出来るように配慮している。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	研究費の機能的運用として、AMED全体として以下のことに取り組んでいる。 ・研究費の機動的運用 ・研究事務の効率的実施 ・研究機器の合理的運用 http://www.amed.go.jp/content/files/jp/youshiki/other/kenkyuhi_kinoutekiunyo_01-03.pdf	PSPOによる進捗管理等を通じて、所掌する研究課題に対して適宜必要な資金配分が出来るように配慮している。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	研究費の機能的運用として、AMED全体として以下のことに取り組んでいる。 ・研究費の機動的運用 ・研究事務の効率的実施 ・研究機器の合理的運用 http://www.amed.go.jp/content/files/jp/youshiki/other/kenkyuhi_kinoutekiunyo_01-03.pdf	PSPOによる進捗管理等を通じて、所掌する研究課題に対して適宜必要な資金配分が出来るように配慮している。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	研究費の機能的運用として、AMED全体として以下のことに取り組んでいる。 ・研究費の機動的運用 ・研究事務の効率的実施 ・研究機器の合理的運用 http://www.amed.go.jp/content/files/jp/youshiki/other/kenkyuhi_kinoutekiunyo_01-03.pdf	PSPOによる進捗管理等を通じて、所掌する研究課題に対して適宜必要な資金配分が出来るように配慮している。

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業（移植医療技術開発研究分野）	研究費の機能的運用として、AMED全体として以下のことに取り組んでいる。 ・研究費の機動的運用 ・研究事務の効率的実施 ・研究機器の合理的運用 http://www.amed.go.jp/content/files/jp/youshiki/other/kenkyuhi_kinoutekiunyo_01-03.pdf	PSPOIによる進捗管理等を通じて、所掌する研究課題に対して適宜必要な資金配分が出来るように配慮している。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	研究費の機能的運用として、AMED全体として以下のことに取り組んでいる。 ・研究費の機動的運用 ・研究事務の効率的実施 ・研究機器の合理的運用 http://www.amed.go.jp/content/files/jp/youshiki/other/kenkyuhi_kinoutekiunyo_01-03.pdf	PSPOIによる進捗管理等を通じて、所掌する研究課題に対して適宜必要な資金配分が出来るように配慮している。
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	シーズパッケージ制度を導入： シーズ研究者と連携し、拠点の判断により様々な開発段階にあるシーズに関して最適な資金配分を実施する仕組み	
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業		
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業		
【AMED】臨床試験支援機能構築事業		
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業		
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業		
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業		
【AMED】医薬品等開発研究PDCAパイロット事業		
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業		
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業		
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業		
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム） SATREPS		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（戦略的国際科学技術協カプログラム） SICP		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（戦略的国際共同研究プログラム） SICORP		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（e-ASIA共同研究プログラム）		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム）		
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（アフリカにおける顧みられない熱帯病（NTDs）対策のための国際共同研究プログラム）		
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業		
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業（日米医学協カ計画）		
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業		
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	ICT分野の研究者として次世代を担う若手人材を育成することや中小企業の斬新な技術を開発するために、若手研究者又は中小企業の研究者が提案する研究開発を推進するプログラムを設定。	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	公募要領や補助金交付要綱にて、応募対象を企業の場合は、中小企業基本法第2条に規定する中小企業者等に限っている。	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	中小企業への資金配分をより効果的に実施するため、中小企業技術革新制度（SBIR）の特定補助金として登録。	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	SBIR制度に登録し、中小企業への利便性を図っている。また、競争的資金における使用ルール等の統一（関係府省申し合わせ）により概算払いを認め、資金繰りに関する利便性を高めている。	PD・POと事務局、消防庁内の関連部署との連携を密に行いながら研究の進捗状況を把握することで、十分な成果を得られるよう取り組んでいる。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発		
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」		
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」		
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発		
【文科】元素戦略プロジェクト		
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費		
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業		
【文科】英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業		

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	CREST、さきがけ、ERATOなどで創出された世界をリードする顕著な研究成果のうち有望なもの、すぐには企業などではリスクの判断が困難な成果を抽出し、プログラムマネージャー(PM)のイノベーション指向の研究開発マネジメントにより、技術的成立性の証明・提示(Proof of Concept: POC)および適切な権利化を推進することで、企業やベンチャー、他事業などに研究開発の流れをつなげるACCEL事業を平成25年から開始した。CRESTにおいて、CRESTの研究領域全体としての成果の最大化と事業予算の効果的活用を図るため、研究代表者のマネジメント能力に著しい不備がある、目的達成が見込めない等の場合に、課題中間評価で課題を早期終了する仕組みを導入した。Q1-2の通り、融合加速方式を導入した。	本事業のうち、CREST・さきがけでは研究総括(PO)を中心に、研究課題の採択時に研究計画を精査し、必要に応じて研究費の増減、研究実施内容の見直し、修正を行っている。 同様に採択後の研究課題もPOが中心となり、研究実施場所に訪問し研究の進捗状況を確認するサイトビジットや各研究課題の進捗報告を行う領域会議などを通じた研究者との綿密なコミュニケーションにより、研究の進捗を把握し、研究者に対して助言・指示を行っている。また、状況に応じて研究費の機動的な見直し、配分を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	PD・POの強いリーダーシップの下、ステージゲート評価による研究開発の重点化や、PD 裁量経費による研究開発の加速化などを実施。	研究契約の変更等について、速やかに対応することとしている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	成果の受け手となるステークホルダーを含む実施体制での応募を求めるなどにより、成果が社会に還元されるものとなるように努めている。	POは、研究開発を実施している現場を訪問するなどし、逐次研究進捗を確認しアドバイスを行うなど、プロジェクトの目標達成に向けたマネジメントを行っている。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	一部のタイプについては、評価結果を踏まえ研究開発費の増額・減額や支援の中止を行うこととしている。また、「産学共創の場」(産業界ニーズ対応)やコンソーシアム形式による「テーマ推進会議」(戦略テーマ重点タイプ)を通じて、各研究課題に対し、企業との共同研究実施等や研究開発の相乗効果を最大限に引き出すよう促している。 一部のタイプについては、マッチングファンド形式においては、企業の資本金に額に応じて自己負担率を変更しており、ベンチャー企業等の申請を促している。	・プログラムオフィサーが各課題の研究開発の内容・進捗に応じ、柔軟に研究開発費の配分を行っている。また、研究開発の進捗状況に応じ、参画機関(大学・企業等)の追加・交代・脱退や計画の変更等についても実施している。 ・機構職員も、プログラムオフィサーとともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認など、開発管理に必要なスキルを取得できる体制をとっている。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	・最長10年間の技術テーマ実施期間において、研究課題の実施期間を2年とし、評価結果を踏まえさらに2年間の研究期間延長を認めている。また、「産学共創の場」を通じて、各研究課題に対し、終了後の企業との共同研究実施等に結びつけるよう促している。	・プログラムオフィサーが各課題の研究の内容・進捗に応じ、柔軟に研究費の配分を行っている。また、研究の進捗状況に応じ、参画機関(大学等)の追加・交代・脱退や計画の変更等についても実施している。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	・研究開発課題について、最長10年間の研究開発期間を3つのステージ(I, II, III)に区分し、ステージIIIについては「マッチングファンド形式」として参画企業にも応分の負担を求め、企業が事業化に対する本気度を高めることを期待している。	・プログラムオフィサーが各課題の研究開発の内容・進捗に応じ、柔軟に研究開発費の配分を行っている。また、研究開発の進捗状況に応じ、参画機関(大学・企業等)の追加・交代・脱退や計画の変更等についても実施している。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	・社会実装を目指しているため各拠点の責任者(プロジェクトリーダー)は企業が担当。しかしながら、参画企業への資金配分は行わず、自社の負担により研究開発を実施してもらうため、真剣にプログラムの趣旨に賛同する企業のみが参画する仕組みを構築。 ・従って、事業化に係る費用の支出は認めているものの、事業化を担う参画企業の負担を期待。	・ビジョナリーリーダー(PO)とともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認等、マネジメントに必要なスキルを習得できる体制をとっている。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	・マッチングプランナーという専門人材が企業ニーズの解決につながる大学シーズを全国から探索。 ・採択後は、マッチングプランナーの指導・助言を得ながら、研究開発を実施。	・各マッチングプランナーが実地の活動で得た経験やノウハウを持ち寄ることにより、スキルの向上を図っている。 ・マッチングプランナー間で連携することにより、各々のマッチング活動や各担当課題のフォローアップに活かしている。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	事業化ノウハウを持つ民間の専門人材を事業プロモーターとし、事業化をめざした研究開発を推進する。そのため、資金配分についても、推進委員会の評価だけでなく、事業プロモーターの判断を参考とする。	継続課題においては、まず基準額を配分し、前年度の成果及び今後の計画によって、推進委員会の評価を基に、予算を決定する。年度途中においても、推進委員会の評価を基に、増額、減額、を行うこともある。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	・地方自治体、技術シーズを有する大学・研究機関、企業が結集して持続的に成長・発展するリサーチコンプレックスを組織。 ・異分野を融合させた最先端の研究開発・成果の事業化、人材育成を一体的・統合的に運営。	・プログラムオフィサーとともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認等、マネジメントに必要なスキルを習得できる体制をとっている。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	・産と学・官が連携する開発チームを編成し、開発チームにはチームリーダー及びサブリーダーを置くことで、一体となって開発を推進。 ・開発目標が達成された課題は、ステップアップして(例えば、機器開発タイプから実証・実用化タイプへ)継続実施が可能	プログラムオフィサーとともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認など、開発管理に必要なスキルを取得できる体制をとっている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	ODAとの連携を通して開発途上国の開発政策やニーズとの整合性、具体的な社会実装への道筋に留意した選考を行っている。また、プロジェクト終了後の成果の担い手となる企業等との連携提案や相手国の行政機関等を含めた組織的な提案を歓迎している。	研究主幹とともに現地調査を含めた課題の進捗管理など、課題管理に必要なスキルを取得できる体制をとっている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	相手国・地域及び研究分野に応じた、イノベーションの創出に資する共同研究をより柔軟に実施するため、戦略的国際共同研究プログラムへ創出された国際科学技術協力推進事業の制度を統合した。統合後、戦略的国際共同プログラムにおいて予算規模の異なる3つの支援タイプを設けることで、相手国・地域及び研究分野に応じた支援規模の最適化が可能になるとともに、研究の進展に伴い支援規模の拡大など柔軟な運用が可能となることが期待される。また、従来、POが配置されていなかった戦略的国際科学技術推進事業下の協力においてもPOが配置されることがとなり、固定POの俯瞰的な配置による事業全体の最適化、効率的運営が可能となることが期待される。 日本と相手国の研究者を集め両国での協力に資する研究領域の議論を行うワークショップを開催することで、分野探索のプロセスを通じた相手国との研究者ネットワーク構築、相手国でのプレゼンス向上、を促進している。 企業研究者の参加について公募要領に明記し、企業研究者の参加を促進している。	研究領域及び研究主幹の選定は、機構内の関連部署や外部有識者の意見も踏まえて行うことにより、他事業との連携による効果的な研究推進を行うとともに、研究主幹の選定において既存の関係性の高い研究領域との兼任による選定を行うことにより、俯瞰的な視点で複数研究領域をマネジメントできる体制とした。また、採択時には全ての課題の研究代表者へ対面による研究費の適切な執行や研究倫理に根ざした研究活動の実施のための説明を行い、必要に応じて事前評価のコメント等のフィードバックを行っている。

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	相手国・地域及び研究分野に応じた、イノベーションの創出に資する共同研究をより柔軟に実施するため、戦略的国際共同研究プログラムへ戦略的国際科学技術協力推進事業の制度を統合した。統合後、戦略的国際共同プログラムにおいて予算規模の異なる3つの支援タイプを設けることで、相手国・地域及び研究分野に応じた支援規模の最適化が可能になるとともに、研究の進展に伴い支援規模の拡大など柔軟な運用が可能となることが期待される。また、従来、POが配置されていなかった戦略的国際科学技術推進事業下の協力においてもPOが配置されることとなり、固定POの俯瞰的な配置による事業全体の最適化、効率的運営が可能となることが期待される。 日本と相手国の研究者を集め両国での協力を資する研究領域の議論を行うワークショップを開催することで、分野探索のプロセスを通じた相手国との研究者ネットワーク構築、相手国でのプレゼンス向上、を促進している。 企業研究者の参加について公募要領に明記し、企業研究者の参加を促進している。	統合化前に採択された課題については研究主幹によるマネジメントは行われていないが、採択時に全ての課題の研究代表者へ対面による研究費の適切な執行や研究倫理に根ざした研究活動の実施のための説明を行い、また必要に応じて事前評価のコメント等のフィードバックを行うことにより、効果的な研究推進を行っている。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	・国立研究開発法人の運営費交付金等による独自資金と、研究開発成果の最大化に向けて支援するJSTの資金をマッチング。 ・各国立研究開発法人が設定するテーマに関連する人材の流動化を促進し異分野・異セクターの人材が活発に交流する人材糾合の場づくりを支援。	・プログラムオフィサーとともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認等、マネジメントに必要なスキルを習得できる体制をとっている。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	ベンチャー企業等が応募しやすい条件・環境づくり等は特に実施していない。	JST-POの制度や海外大学への研修制度等、専門人材の育成に取り組んでいる。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	・産と学・官が連携する開発チームを編成し、開発チームにはチームリーダー及びサブリーダーを置くことで、一体となって開発を推進。 ・行政ニーズや被災地ニーズ等が高い放射線計測技術を「革新技術タイプ」「実用化タイプ」2つのタイプを推進することにより実施	プログラムオフィサーとともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認等、開発管理に必要なスキルを取得できる体制をとっている。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	・総合科学技術・イノベーション会議で方針、予算配分などをさだめ、省庁横断した予算配分が可能。	・プログラムディレクターとともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認等、マネジメントに必要なスキルを習得できる体制をとっている。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	CSTIが設定するテーマについて優れたアイデアをもつPMを厳選し、大胆な権限をPMに付与し、優秀な研究者とともにイノベーションを創出する。	CSTIの指示の下、PMに対するPM研修を実施。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(韓国発展研究))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金		
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	制度全般に関する説明会を厚生労働省、PMDAの各講師に依頼して東京、大阪で実施し、幅広く、制度の普及に努めている。	シンポジウム等への参加、アンケート等による企業の要望の把握に努めて、改善の必要性について随時検討している。
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	制度全般に関する説明会を厚生労働省、PMDAの各講師に依頼して東京、大阪で実施し、幅広く、制度の普及に努めている。	シンポジウム等への参加、アンケート等による企業の要望の把握に努めて、改善の必要性について随時検討している。
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	シンポジウムにおける発表を通して、幅広く、制度の普及に努めている。	アンケート等による要望の把握に努めて、改善の必要性について随時検討している。
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業		
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)		
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	研究開発終了後に行う評価において、研究開発が成功と判定した場合は支出した委託費の全額の返済を求め、不成功と判断された場合は、委託費の10%の返済を求める。	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	研究開発終了後に行う評価において、研究開発が成功と判定した場合は支出した委託費の全額の返済を求め、不成功と判断された場合は、委託費の10%の返済を求める。	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術		
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	なし	なし
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)		
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創出効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。 ・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。	・事業実施者に対しては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、最高経営責任者(CEO)をはじめとする企業経営層との一層の連携強化を図り、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。 ・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創出効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。 ・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。	・事業実施者に対しては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、最高経営責任者(CEO)をはじめとする企業経営層との一層の連携強化を図り、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。 ・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	<p>・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創造効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。</p> <p>・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。</p>	<p>・事業実施者に対しては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、最高経営責任者(CEO)をはじめとする企業経営層との一層の連携強化を図り、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。</p> <p>・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。</p>
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	<p>・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創造効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。</p> <p>・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。</p>	<p>・事業実施者に対しては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。</p> <p>・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。</p>
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	<p>・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創造効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。</p> <p>・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。</p>	<p>・事業実施者に対しては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。</p> <p>・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。</p>
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	<p>・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創造効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。</p> <p>・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。</p>	<p>・事業実施者に対しては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、最高経営責任者(CEO)をはじめとする企業経営層との一層の連携強化を図り、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。</p> <p>・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。</p>
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	<p>・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創造効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。</p> <p>・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。</p>	<p>・事業実施者に対しては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。</p> <p>・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。</p>
【国交】建設技術研究開発助成制度	中小企業のみが応募できる区分(研究代表者の要件が中小企業基本法に基づく中小企業であることを設けている)。	特になし。
【国交】交通運輸技術開発推進制度		
【環境】環境研究総合推進費	民間研究機関とのコンソーシアム型研究において、採択時の加点要素とする。Future Earthとの連携。	
【防衛】安全保障技術研究推進制度		他省庁等との意見交換等により、競争的資金制度全般の運用について理解の促進等に努めている。

採択課題での年度間の「予算繰越制度」の実績

【機関名】資金配分制度名	利用件数[件]	利用額[千円]	(コメント)
【内閣】食品健康影響評価技術研究	0	0	
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基盤研究プログラム(産学共創)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】再生医療実用化研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	1	19,500	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】脳科学研究推進プログラム	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】長寿科学研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】認知症研究開発事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	1	246,000	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	1	418,000	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベートタイプ)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベートタイプ)	2	2,764	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医工連携事業化推進事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォマティクスシステム構築)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	3	111,778	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	1	26,000	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。

【機関名】資金配分制度名	利用件数[件]	利用額[千円]	(コメント)
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	1	2,730	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	5	73,957	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医薬品等開発研究PDCAパイロット事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	2	22,100	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	2	3,520	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	0	0	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	1	175,426	繰り越す場合は国庫に予算を残している。
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	0	0	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	5	175,273	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	0	0	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	0	0	
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	0	0	
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	0	0	
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	0	0	
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	0	0	
【文科】元素戦略プロジェクト	0	0	
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	0	0	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	0	0	
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	549	3,048,464	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数:538件
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	0	0	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 平成26年度から平成27年度にかけては繰越なかった。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	88	82,640	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 88件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	50	44,388	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数:49件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数:0件 平成27年度中の研究機関への該当額の支出を見合わせ、委託契約延長手続き後、翌年度に支出した課題件数:1件
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤基盤研究プログラム)	6	2,342	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数:6件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数:0件
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	0	0	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数:0件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数:0件
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	31	380,689	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。

【機関名】資金配分制度名	利用件数【件】	利用額【千円】	(コメント)
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	120	23,549	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	0	0	「予算繰越制度」は無いが、年度途中において、成果及び予定に応じて、推進委員会の評価に基づき増額を行う。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	4	308,152	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	10	44,242	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 10件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	19	16,537	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 19件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	24	50,397	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 24件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	0	0	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 0件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	2	588,300	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	8	11,916	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 8件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	0	0	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 但し、次年度継続課題がないため該当なし。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	109	1,090,911	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越すと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	187	2,254,445	予算を基金として管理。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	23	713,315	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	98	824,200	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	336	935,410	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	493	858,560	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	0	0	
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	0	0	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	96	256,767	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	0	0	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	75	42,914	
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	15	3,160	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	8	19,900	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	140	53,795	
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	240	1,021,606	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	1	6,400	
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	0	0	
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	0	0	
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援研))	0	0	
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(婦国発展研究))	0	0	
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	2	77,904	
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	0	0	
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	0	0	
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	0	0	
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	0	0	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術体系の確立)	0		
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	0		
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	0		
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	0		
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	0		
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	0		
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	0		
【経産】平成27年度ニューズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	0	0	
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	0	0	
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	54	14,021,013	利用件数については、個別契約数ではない。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	0	0	平成27年度で終了
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	1	6,257	利用件数については、個別契約数ではない。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	1	283,741	利用件数については、個別契約数ではない。

【機関名】資金配分制度名	利用件数[件]	利用額[千円]	(コメント)
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	0	0	利用件数については、個別契約数ではない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	1	30.972	利用件数については、個別契約数ではない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	1	167.716	利用件数については、個別契約数ではない。
【国交】建設技術研究開発助成制度	0	0	
【国交】交通運輸技術開発推進制度	0	0	
【環境】環境研究総合推進費	0	0	
【防衛】安全保障技術研究推進制度	0		

「予算繰越制度」の活用促進に向けた具体的な取組

【機関名】資金配分制度名	「予算繰越制度」の活用促進に向けた具体的な取組
【内閣】食品健康影響評価技術研究	事務処理マニュアルに明記している。
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】再生医療実用化研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】脳科学研究推進プログラム	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】長寿科学研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】認知症研究開発事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医工連携事業化推進事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療機器開発推進研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォーマティクスシステム構築)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。

【機関名】資金配分制度名	「予算繰越制度」の活用促進に向けた具体的な取組
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医薬品等開発研究PDCAパイロット事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	12月から各事業における予算繰越の有無を調査開始し、1月末までに案件をまとめ、その後各省に繰越理由について説明等を行っている。
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	やむを得ず、補助事業が年度内に終了しなかった場合、遅延届の提出を受け、繰越で対応している。
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	本制度では、やむを得ない事情により繰越は認めているが、活用された実績はない
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調書及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を旨としたネットワーク研究拠点プログラム」	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調書及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調書及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調書及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】元素戦略プロジェクト	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調書及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	公募要領において、事業の実施に当たっての留意点として「繰越」の項目を設けている。
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調書及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	募集要項及び事務処理説明書に繰越制度に関して記載するとともに、研究者及び研究機関事務局向けの事務処理説明書にて繰越制度について周知している。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	研究機関の担当者向けに、事務処理の説明をしており、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	研究機関向けの事務処理説明書にて、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。ただし、一部のタイプについては、単年度のため繰越制度については想定していない。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤基盤研究プログラム)	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	該当無し
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	新規採択研究者向けの事務処理説明書にて、繰越制度について周知するとともに、事務処理要領において繰越制度について記載を実施。募集要項等においても繰越ができる旨を記載している。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	研究機関の担当者向けに、事務処理の説明をしており、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。

【機関名】資金配分制度名	「予算繰越制度」の活用促進に向けた具体的な取組
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	研究機関の担当者向けに、事務処理書で、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	研究機関の担当者向けに、事務処理書で、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	募集要項及び事務処理説明書に、繰越制度について明示している。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	新規採択研究者向けの事務処理説明会にて、繰越制度について周知するとともに、事務処理要領において繰越制度について記載を実施。募集要項等においても繰越ができる旨を記載している。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	特に無し。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	基金化しているため、補助事業期間中は繰越することなく未使用額を翌年度使用可能。また、補助事業期間の延長も可能。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	基金化しているため、補助事業期間中は繰越することなく未使用額を翌年度使用可能。また、補助事業期間の延長も可能。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	基金化しているため、補助事業期間中は繰越することなく未使用額を翌年度使用可能。また、補助事業期間の延長も可能。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	基金化しているため、補助事業期間中は繰越することなく未使用額を翌年度使用可能。また、補助事業期間の延長も可能。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	基金化しているため、補助事業期間中は繰越することなく未使用額を翌年度使用可能。また、補助事業期間の延長も可能。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(帰国発展研究))	基金化しているため、補助事業期間中は繰越することなく未使用額を翌年度使用可能。また、補助事業期間の延長も可能。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	予算繰越制度に関する通知を厚生労働省のHPIに掲載することにより繰越制度の活用促進に取り組んでいる。
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	2015年度が中期目標終了年に当たるため(2014年度実績:1件、4,088千円)
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	なし
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	特になし
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	実績なし
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。

【機関名】資金配分制度名	「予算繰越制度」の活用促進に向けた具体的な取組
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。
【国交】建設技術研究開発助成制度	競争的資金に関する関係府省庁の申し合わせを踏まえ、繰越手続きの簡略化・弾力化を実施。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	
【環境】環境研究総合推進費	独立行政法人環境再生保全機構への配分・契約業務等の一部業務の移管
【防衛】安全保障技術研究推進制度	

予算執行の柔軟化に関する取組状況

【機関名】資金配分制度名	採択課題での複数年契約	課題公募における年複数回の申請受理	採択課題での年度当初からの資金使用	採択課題での複数年契約に関する具体的実績
【内閣】食品健康影響評価技術研究	×	×	○	
【AMED】医薬品等規制緩和・評価研究事業	×	○	○	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	×	×	×	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	×	×	×	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	×	×	×	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	×	×	×	
【AMED】再生医療実用化研究事業	×	○	×	
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	×	○	×	
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	×	×	×	
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	×	×	×	
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	×	○	○	
【AMED】脳科学研究推進プログラム	×	×	○	
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	×	×	○	
【AMED】長寿科学研究事業	×	○	○	
【AMED】認知症研究開発事業	×	○	○	
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	×	○	○	
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	×	×	×	なし
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	×	×	×	なし
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	×	×	○	なし
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	×	×	○	なし
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	×	×	○	無し
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	×	○	○	無し
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	×	×	○	無し
【AMED】創薬基盤推進研究事業	×	○	○	無し
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	×	×	○	無し
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	×	×	○	無し
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	×	×	○	無し
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	×	×	○	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	×	×	○	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	×	×	○	
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	×	○	○	
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	×	○	○	
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)	×	×	×	
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	×	×	×	なし
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	×	×	×	なし
【AMED】医工連携事業化推進事業	×	×	×	なし
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	×	×	×	なし
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	×	×	×	なし
【AMED】医療機器開発推進研究事業	×	○	○	なし
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	×	×	×	なし
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	×	×	○	無し
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	×	×	○	無し
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	×	×	○	無し
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	×	×	○	無し
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	×	×	○	無し
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	×	×	×	
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォマティクスシステム構築)	×	×	×	
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	×	△	○	
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	×	○	○	なし
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	×	○	○	なし
【AMED】腎疾患実用化研究事業	×	○	○	なし
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	×	○	○	なし
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	×	○	○	なし
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	×	○	○	なし
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	×	○	○	
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	×	×	○	
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	×	×	○	

【機関名】資金配分制度名	採択課題での 複数年契約	課題公募にお ける年複数回 の申請受理	採択課題での 年度当初から の資金使用	採択課題での複数年契約に関する具体的実績
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	×	×	○	
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	×	×	○	
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	×	○	×	
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	×	×	○	
【AMED】医薬品等開発研究PDCA/パイロット事業	×	×	○	
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	×	○	○	
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	×	○	○	
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	×	○	×	無し
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	×	○	×	無し
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）SATREPS	×	×	○	特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（戦略的国際科学技術協力プログラム）SICP	×	×	○	特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（戦略的国際共同研究プログラム）SICORP	×	×	○	特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（e-ASIA共同研究プログラム）	×	×	○	特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム）	×	×	○	特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（アフリカにおける顧みられない熱帯病（NTDs）対策のための国際共同研究プログラム）	×	×	○	特になし
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	×	×	○	特になし
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業（日米医学協力計画）	×	×	○	特になし
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	×	×	×	なし
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	×	○	○	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	×	○	○	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	×	×	○	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	×	×	×	
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	×	×	○	
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	×	×	○	
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	×	×	○	
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	×	×	○	
【文科】元素戦略プロジェクト	×	×	○	
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	×	×	○	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	×	×	○	
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	○	×	○	・平成27年度実績: 契約件数1,644件: ・契約期間: 2年～5年(契約更新時に研究期間の範囲内で更新時から最大2年間となるよう延長) ※ 複数年度契約を締結することにより、簡便な繰越手続きを可能とし、研究費を切れ目なく効率的かつ効果的に使用することを可能としている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○	×	○	平成27年度実績: 契約件数 412件中、394件。 契約期間 2年の複数年度契約を締結することにより、簡便な繰越手続きを可能とし、研究費を切れ目なく効率的かつ効果的に使用することを可能としている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	○	×	○	平成27年度実績: 契約件数164件、契約期間 2年 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	○	○	○	平成27年度実績: 契約件数約130件 ・複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	○	×	○	平成27年度実績: 契約件数63件、契約期間 2～3年(年度を跨ぐ契約) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	○	×	○	平成27年度実績: 契約件数56件、契約期間 2～3年(年度を跨ぐ契約) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	○	×	○	平成27年度実績: 契約件数 92件、契約期間 2年(年度を跨ぐ契約) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	○	○	○	平成27年度実績: 契約件数 393件、契約期間 2年(年度を跨ぐ契約) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	×	○	○	該当無し

【機関名】資金配分制度名	採択課題での 複数年契約	課題公募にお ける年複数回 の申請受理	採択課題での 年度当初から の資金使用	採択課題での複数年契約に関する具体的実績
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	○	×	○	平成27年度実績:契約件数 4件、契約期間 2年(年度を跨ぐ契約) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	○	×	○	平成27年度実績:契約件数 47件、契約期間 2年～3年 研究費の空白期間解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	○	×	○	平成27年度実績:契約件数149件 契約期間 H26随時～H27年3月 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	○	○	平成27年度実績:契約件数 155件 契約期間 (始期および終期は課題により異なる) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	○	○	○	平成27年度実績:契約件数 14件 契約期間 (始期および終期は課題により異なる) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	○	×	○	平成27年度実績:契約件数 4件、契約期間 2年(年度を跨ぐ契約) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	○	×	○	新規採択契約7件、継続契約25件については、先方の中期計画期間等の事情が無い限り、複数年契約を実施。 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	○	×	○	平成27年度実績:契約件数 5件、契約期間 2年～3年 研究費の空白期間解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	○	×	○	新規採択契約、継続契約については、先方の中期計画期間等の事情が無い限り、複数年契約を実施。 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	○	○	○	ハイリスク・ハイインパクトな挑戦的研究開発を推進するため。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	○	×	○	・国庫債務負担行為の導入
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	×	×	○	・設定している研究期間は1年
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	○	○	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	○	○	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(帰国発掘研究))	○	×	○	・研究費の基金化
【厚労】厚生労働科学研究費補助金 【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	○	○	○	医薬品開発段階から製造販売承認申請に至るまでの原則、3事業年度の期間において助成している。
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	○	○	○	医薬品開発段階から製造販売承認申請に至るまでの原則、3事業年度の期間において助成している。
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	×	×	×	実績なし
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	×	×	×	

【機関名】資金配分制度名	採択課題での 複数年契約	課題公募にお ける年複数回 の申請受理	採択課題での 年度当初から の資金使用	採択課題での複数年契約に関する具体的実績
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	○	×	○	公募の段階で2年以内の複数年契約として締結する旨記載
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	○	×	○	公募の段階で2年以内の複数年契約として締結する旨記載
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	○	×	○	研究については複数年契約とし、委託費は単年度毎の変更契約を行うこととした。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	○	×	○	研究については複数年契約とし、委託費は単年度毎の変更契約を行うこととした。
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	○	○	×	公募の段階で3年以内の複数年契約を締結する旨記載
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	○	×	×	公募の段階で3年以内の複数年契約を締結する旨記載
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	○	×	○	研究については5年間の複数年契約とし、委託費は単年度毎の変更契約を行うこととした。
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	×	×	×	なし
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基礎技術高度化支援事業)	×	×	×	
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	○	○	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	○	○	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	○	×	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	○	×	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	○	○	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	○	○	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	○	○	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【国交】建設技術研究開発助成制度	×	×	×	特になし。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	×	×	×	
【環境】環境研究総合推進費	△	×	△	0
【防衛】安全保障技術研究推進制度	△	×	×	
	○:取組がある △:現在取組はないが、今後取組予定 ×:取組はない(現時点で取組予定なし)			

課題採択・交付決定の時期

【機関名】資金配分制度名	採択課題決定の回数及び時期(新規)	交付決定の時期(新規、継続)		交付決定の時期を早めるための取組
		新規分	継続分	
【内閣】食品健康影響評価技術研究	採択課題の決定回数1回 採択時期:前年度3月上旬 ※追加公募を行った場合はこの限りではない。	4月	4月	公募時期の前倒し(前年度の10月に公募開始)
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	1回、2015年7月	2015年7月	委託契約締結時(原則4月1日)	公募時期をなるべく早く行った
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	新規公募無し	新規無し	委託契約締結時(原則4月1日)	予算成立後、直ちに次年度計画を策定する
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	新規公募無し	新規無し	委託契約締結時(原則4月1日)	予算成立後、直ちに次年度計画を策定する
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基盤基盤研究プログラム(産学共創)	新規公募無し	新規無し	委託契約締結時(原則4月1日)	予算成立後、直ちに次年度計画を策定する
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	1回、9月	10月	継続無し	公募開始を早める
【AMED】再生医療実用化研究事業	1~2回、4月~9月(未定)	4月頃	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	1~2回、4月以降	4月以降	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	1回、4月~9月(未定)	契約締結後速やかに交付	委託契約締結時(原則4月1日)	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム			委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	2回、H27年8月およびH28年3月	H27年8月	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】脳科学研究推進プログラム		0	委託契約締結時(原則4月1日)	なし
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト		0	委託契約締結時(原則4月1日)	なし
【AMED】長寿科学研究事業	1回、10月	10	委託契約締結時(原則4月1日)	なし
【AMED】認知症研究開発事業	1回、10月	10	委託契約締結時(原則4月1日)	なし
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	1回、10月	10	委託契約締結時(原則4月1日)	なし
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画			2016/4/1	
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	1回、平成27年9月	平成27年9月~10月	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業			委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	年1回、7月	上半期	4月1日	
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	1回、H27/9	10月	委託契約締結時(原則4月1日)	新規、継続課題の研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	H27年度は実績無し。		4月	新規、継続課題の研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	H27年度は実績無し。		4月	新規、継続課題の研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	2回、H27.9、H27.11	H27.9、H27.11	委託契約締結時(原則4月1日)	新規、継続課題の研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	H27年度は実績無し。		委託契約締結時(原則4月1日)	新規、継続課題の研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	H27年度は実績無し。		委託契約締結時(原則4月1日)	新規、継続課題の研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	H27年度は実績無し。		委託契約締結時(原則4月1日)	新規、継続課題の研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	1回、11月	12月	委託契約締結時(原則4月1日)	審査や契約手続きについては、可能な限り短い時間で行うよう取り組んでいる。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	1回、11月	12月	継続無し	審査や契約手続きについては、可能な限り短い時間で行うよう取り組んでいる。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	1回、10月	11月	継続無し	審査や契約手続きについては、可能な限り短い時間で行うよう取り組んでいる。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	1回、6月	7月	委託契約締結時(原則4月1日)	審査や契約手続きについては、可能な限り短い時間で行うよう取り組んでいる。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	1回、10月	11月	継続無し	審査や契約手続きについては、可能な限り短い時間で行うよう取り組んでいる。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)			委託契約締結時(原則4月1日)	新規、継続課題の研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	1回、10月	12月	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	各プロジェクトごとに採択課題を決定し、合計3回実施。 6月:ガイドライン 7月:低侵襲がん 8月:ICT診療支援	各プロジェクトごとに交付決定。 8月:ガイドライン 9月:低侵襲がん 10月:ICT診療支援	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】医工連携事業化推進事業	1回、8月	10月	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	新規採択なし	新規採択なし	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	1回、11月	12月	4月	
【AMED】医療機器開発推進研究事業	1回、10月	12月	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	新規採択なし	新規採択なし	4月	

【機関名】資金配分制度名	採択課題決定の回数及び時期(新規)	交付決定の時期(新規、継続)		交付決定の時期を早めるための取組
		新規分	継続分	
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	27年度採択課題の決定は厚労省で実施	4月	委託契約締結時(原則4月1日)	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等、契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	27年度採択課題の決定は厚労省で実施	4月	委託契約締結時(原則4月1日)	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等、契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	27年度新規採択の実績は無し	無し	委託契約締結時(原則4月1日)	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等、契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	27年度採択課題の決定は厚労省で実施	4月	委託契約締結時(原則4月1日)	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等、契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	1回、H27/7	契約締結後速やかに実施	継続無し	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等、契約締結の迅速化を行っている。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	随時	随時	継続無し	なし
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォーマティクスシステム構築)	平成27年9月(1回)	平成27年10月	継続無し	なし
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	平成28年2月(1回)	平成28年3月	継続無し	なし
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	事業への年度内予算措置に依存(平成27年度実績は2回、9月・10月)	採択課題決定次第適宜(契約締結時)	委託契約締結時(原則4月1日)	公募の際、採択決定の予定日、契約締結や交付決定(以下「契約締結等」)の予定日を明示することにより、①提案時に研究開始時期を見据えた最適な研究計画を立てて頂くことが可能、②採択決定後、契約締結等までの間で予め可能な準備を実施して頂くことが可能となっている。結果、契約締結後、速やかに研究を開始頂けるような取り組みを行っている。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	事業への年度内予算措置に依存(平成27年度実績は2回、8月・9月)	採択課題決定次第適宜(契約締結時)	委託契約締結時(原則4月1日)	公募の際、採択決定の予定日、契約締結や交付決定(以下「契約締結等」)の予定日を明示することにより、①提案時に研究開始時期を見据えた最適な研究計画を立てて頂くことが可能、②採択決定後、契約締結等までの間で予め可能な準備を実施して頂くことが可能となっている。結果、契約締結後、速やかに研究を開始頂けるような取り組みを行っている。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	事業への年度内予算措置に依存(平成27年度実績は新規採択なし)	採択課題決定次第適宜(契約締結時)	委託契約締結時(原則4月1日)	公募の際、採択決定の予定日、契約締結や交付決定(以下「契約締結等」)の予定日を明示することにより、①提案時に研究開始時期を見据えた最適な研究計画を立てて頂くことが可能、②採択決定後、契約締結等までの間で予め可能な準備を実施して頂くことが可能となっている。結果、契約締結後、速やかに研究を開始頂けるような取り組みを行っている。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	事業への年度内予算措置に依存(平成27年度実績は1回、9月)	採択課題決定次第適宜(契約締結時)	委託契約締結時(原則4月1日)	公募の際、採択決定の予定日、契約締結や交付決定(以下「契約締結等」)の予定日を明示することにより、①提案時に研究開始時期を見据えた最適な研究計画を立てて頂くことが可能、②採択決定後、契約締結等までの間で予め可能な準備を実施して頂くことが可能となっている。結果、契約締結後、速やかに研究を開始頂けるような取り組みを行っている。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	事業への年度内予算措置に依存(平成27年度実績は新規採択なし)	採択課題決定次第適宜(契約締結時)	委託契約締結時(原則4月1日)	公募の際、採択決定の予定日、契約締結や交付決定(以下「契約締結等」)の予定日を明示することにより、①提案時に研究開始時期を見据えた最適な研究計画を立てて頂くことが可能、②採択決定後、契約締結等までの間で予め可能な準備を実施して頂くことが可能となっている。結果、契約締結後、速やかに研究を開始頂けるような取り組みを行っている。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	事業への年度内予算措置に依存(平成27年度実績は新規採択なし)	採択課題決定次第適宜(契約締結時)	委託契約締結時(原則4月1日)	公募の際、採択決定の予定日、契約締結や交付決定(以下「契約締結等」)の予定日を明示することにより、①提案時に研究開始時期を見据えた最適な研究計画を立てて頂くことが可能、②採択決定後、契約締結等までの間で予め可能な準備を実施して頂くことが可能となっている。結果、契約締結後、速やかに研究を開始頂けるような取り組みを行っている。
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークブログ	2回(3月、7月)	3月	3月	
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	公募なし	なし	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	公募なし	なし	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	非公募型	なし	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	公募なし	なし	3月	
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	非公募型 臨床研究中核病院として認定された場合に申請可能	適宜	継続無し	
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	公募なし	なし	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】医薬品等開発研究PDCAパイロット事業	公募なし	なし	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	2回(3月、9月)	4月、10月	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	2回(3月、9月)	4月、10月	委託契約締結時(原則4月1日)	
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	2回(10月、1月)	5月	継続無し	
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	1回(10月)	5月	継続無し	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	2015年度に新規採択課題なし	2015年度に新規採択課題なし	継続無し	(補助)特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	2015年度に新規採択課題なし	2015年度に新規採択課題なし	継続無し	(補助)特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SIGORP	2015年度に新規採択課題なし	2015年度に新規採択課題なし	継続無し	(補助)特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	2015年度に新規採択課題なし	2015年度に新規採択課題なし	継続無し	(補助)特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	2015年度に新規採択課題なし	2015年度に新規採択課題なし	継続無し	(補助)特になし

【機関名】資金配分制度名	採択課題決定の回数及び時期(新規)	交付決定の時期(新規、継続)		交付決定の時期を早めるための取組
		新規分	継続分	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	1回(10月)	10月	継続無し	(補助)特になし
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	1回(10月)	10月	委託契約締結時(原則4月1日)	特になし
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	1回(3月)	2015年度に新規採択課題なし	継続無し	特になし
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	年1回、平成27年11月		継続無し	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	1回 5月(一部1月)	6月(一部2月)	4月	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	年間通して常時募集	評価・運営委員会において採択決定後速やかに	基本年度当初	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	1回5月	5月	5月	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	年1回、5~6月	年1回、5~6月	年1回、5~6月	極力早く新規・継続研究課題の評価を開始する。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発			契約締結時	
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目標したネットワーク研究拠点プログラム」			2015/4/1	
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」			2015/4/1	
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発			2月頃	
【文科】元素戦略プロジェクト			2月頃	
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	年一回随時	採択課題決定後2ヶ月程	当該年度初期	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	年4回 8月、9月及び10月 (プログラムによる)	契約締結時	契約締結時	
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	1回 原則 9月(半年予算のため)	原則 10月	原則 4月	左記の交付決定(契約締結・更新)の時期に合わせ、研究計画書の策定や委託研究契約手続きを事前に行う。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	1回 9月	契約締結後速やかに交付	研究計画確定後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っており、2015年度は、新規分を9月末に、継続分を3月中に交付決定。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	1回 9月	契約締結後速やかに交付	研究計画確定後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	1回(10月)ただし、一部のタイプについては随時実施	契約締結後速やかに交付 原則、四半期毎に支払	契約締結後速やかに交付 原則、四半期毎に支払	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	1回 10月	契約締結後速やかに交付	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	平成27年度は新規採択なし	平成27年度は新規採択なし	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	該当なし	該当なし	研究計画確定後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランプログラム)	2回 10月、1月	契約締結後速やかに交付	該当なし	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	プロジェクト支援型:3回(9月、11月、12月) 技術シーズ選抜育成プロジェクト:1回(10月)	契約締結後速やかに交付	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	1回 11月	契約締結後速やかに交付	該当なし	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	1回 12月	契約締結後速やかに交付	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	1回 5月頃	採択決定後、随時	年度初め	・新規課題の採択決定を年度当初に実施するように努めている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	対象国・分野による	採択決定後、随時	年度初め	新規課題については、年度区切りを待たずに随時課題採択を決定することで、迅速な交付決定が可能である。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	対象国・分野による	採択決定後、随時	年度初め	新規課題については、年度区切りを待たずに随時課題採択を決定することで、迅速な交付決定が可能である。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	1回 6月	契約締結後速やかに交付	該当なし	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	1回 3月	翌年度初め、かつ契約締結後に速やかに交付	翌年度初め、かつ契約締結後に速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取り、契約締結の迅速化を行っている。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	0回	契約締結後速やかに交付	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)(5課題合計)	各課題ごと不定期	契約締結後速やかに交付	研究計画確定、変更契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	PMの研究計画に基づき随時実施	PMの研究計画に基づき随時実施	PMの研究計画に基づき随時実施	特に無し。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	1回、5月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	1回、4月	6月	基金化しているため交付決定は1回のみ	電子システムの導入による事務の効率化。

【機関名】資金配分制度名	採択課題決定の回数及び時期(新規)	交付決定の時期(新規、継続)		交付決定の時期を早めるための取組
		新規分	継続分	
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	1回、4月	6月	基金化しているため交付決定は1回のみ	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	1回、4月	6月	基金化しているため交付決定は1回のみ	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	1回、4月	6月	基金化しているため交付決定は1回のみ	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	1回、8月	10月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	4回、4月、7月、10月、11月	6月、9月、11月、12月	6月	
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	1回、6月	7月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	随時	随時	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	1回、4月	6月	6月	前年度中に公募・審査を実施。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	1回、1月	採択後、採択年度の翌年度末までに随時行われる交付申請に応じて随時	基金化しているため交付決定は1回のみ	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援))	1回、11月	11月	基金化しているため交付決定は1回のみ	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際発展研究))	1回、3月	随時	基金化しているため交付決定は1回のみ	電子システムの導入による事務の効率化。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	3回(27年度実績。なお、年度により公募回数に変動があり得る。)	当該年度当初採択課題は6月末を目標としている。	当該年度当初採択課題は6月末を目標としている。	事業担当課及び会計部門の協力を得て、申請書類の優先的な審査を行っているところ。
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	2回(7月、2月頃)	7月、2月頃	7月頃	交付決定前のヒアリングについて、継続分は、前年度の状況に応じて書面対応も検討している。
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	2回(7月、2月頃)	7月、2月頃	7月頃	交付決定前のヒアリングについて、継続分は、前年度の状況に応じて書面対応も検討している。
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	1回(4月頃)	4月頃	3月頃	新規・継続審査及び配分額の早期決定
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	1回(5月頃)	5月以降	4月1日以降	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)			平成27年4月	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)			平成27年4月	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)			平成27年8月(拠点研究、補完研究)	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)			平成27年8月(拠点研究、補完研究)	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	1回 2015年7月	2015年8月	2015年4月	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)			2015年4月	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術			平成27年4月～平成28年3月	
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	1回、6月	9月以降	4月以降	公募時期の早期化、審査期間の短縮に努めている。
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	1回、7月下旬	採択後～9月末	4月1日	
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	年度当初に1回実施しており、必要に応じて追加公募を実施している。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度3月までに公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	年度当初に1回実施しており、必要に応じて追加公募を実施している。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度3月までに公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	年度当初に1回実施している。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度3月までに公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	年度当初に1回実施している。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度3月までに公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	平成27年度においては、新規公募を実施していない。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度3月までに公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	年度当初に1回実施しており、必要に応じて追加公募を実施している。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度3月までに公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	年度当初に1回実施しており、必要に応じて追加公募を実施している。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度3月までに公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【国交】建設技術研究開発助成制度	1回、6月	6月	6月	例年、前年度2～3月より公募開始している(翌年度予算の成立を前提として)。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	1回、4月	4月	5月	予算成立前に公示を行っている。
【環境】環境研究総合推進費	1回、2月	5月	4月	独立行政法人環境再生保全機構への配分・契約業務等の一部業務の移管
【防衛】安全保障技術研究推進制度	1回、9月	11月		

報告書の提出期限

【機関名】資金配分制度名	報告書の提出期限	年度末までの研究に支障がないようにするための取組
【内閣】食品健康影響評価技術研究	会計実績報告書：契約年度の翌年度5月31日 研究成果報告書：研究最終年度の翌年度の5月31日	28年度以降は、「競争的資金における使用ルール等の統一について」(H27.3.31競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ)に基づき、会計実績報告書については、諸条件を満たした場合に、国の会計年度終了後61日以内まで、研究成果報告書については、国の会計年度終了後61日までの提出を可能としている。
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	2016年5月	年度末一杯まで研究に取り組めるよう、報告書の提出期限は5月末日としている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後末日又は事業終了後61日以内	報告書の提出を次年度にしている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後末日又は事業終了後61日以内	報告書の提出を次年度にしている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後末日又は事業終了後61日以内	報告書の提出を次年度にしている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後末日又は事業終了後61日以内	報告書の提出を次年度にしている。
【AMED】再生医療実用化研究事業	翌年度5月末日	
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	5月	
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	実績報告書：当該年度終了後61日以内 成果報告書：当該年度終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【AMED】次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	2016/5/31	年度末、研究が終了後に十分な期間を設定している。
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	2016/5/31	年度末、研究が終了後に十分な期間を設定している。(AMED共通)
【AMED】脳科学研究推進プログラム	一ヶ月後	
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	一ヶ月後	
【AMED】長寿科学研究事業	一ヶ月後	
【AMED】認知症研究開発事業	一ヶ月後	
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	一ヶ月後	
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	翌年度5月末日	なし
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	翌年5月末日	特になし
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	翌年5月末日	特になし
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	終了の翌々月末(61日)以内	特になし
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日	委託研究実績報告書の提出期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないようにしている。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	補助事業実施期間の終了、補助事業の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	補助研究実績報告書の提出期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないようにしている。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	補助事業実施期間の終了、補助事業の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	補助研究実績報告書の提出期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないようにしている。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日	委託研究実績報告書の提出期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないようにしている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日	委託研究実績報告書の提出期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないようにしている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日	委託研究実績報告書の提出期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないようにしている。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日	委託研究実績報告書の提出期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないようにしている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	実績報告書の提出を翌年度の5月31日までとしている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ノロタイプ)	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	実績報告書の提出を翌年度の5月31日までとしている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	実績報告書の提出を翌年度の5月31日までとしている。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	実績報告書の提出を翌年度の5月31日までとしている。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	実績報告書の提出を翌年度の5月31日までとしている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日	委託研究実績報告書の提出期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないようにしている。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後末日又は事業終了後61日以内	報告書の提出期限を翌年度に設定している。
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後末日又は事業終了後61日以内	報告書の提出期限を翌年度に設定している。
【AMED】医工連携事業化推進事業	委託業務の完了した日から10日を経過した日まで	
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後末日又は事業終了後61日以内	報告書の提出期限を翌年度に設定している。
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	会計年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内で機構が指定する日まで	
【AMED】医療機器開発推進研究事業	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後末日又は事業終了後61日以内	報告書の提出期限を翌年度に設定している。
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	当事業年度終了後の5月末日又は事業終了後末日又は事業終了後61日以内	報告書の提出期限を翌年度に設定している。
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	年度終了後61日以内	報告書の提出期限を年度終了後に設定している。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	年度終了後61日以内	報告書の提出期限を年度終了後に設定している。
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	年度終了後61日以内	報告書の提出期限を年度終了後に設定している。
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	年度終了後61日以内	報告書の提出期限を年度終了後に設定している。

【機関名】資金配分制度名	報告書の提出期限	年度末までの研究に支障がないようにするための取組
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	当事業年度	委託研究実績報告書の提出期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないようにしている。
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	平成28年5月末日	なし
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォマティクスシステム構築)	平成28年5月末日	なし
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	平成28年5月末日	なし
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	当該事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日まで	左記のとおり、報告書の提出期限につき年度終了後に一定の猶予を持たせることで、年度末までの研究に支障がないように取り組んでいる。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	当該事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日まで	左記のとおり、報告書の提出期限につき年度終了後に一定の猶予を持たせることで、年度末までの研究に支障がないように取り組んでいる。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	当該事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日まで	左記のとおり、報告書の提出期限につき年度終了後に一定の猶予を持たせることで、年度末までの研究に支障がないように取り組んでいる。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	当該事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日まで	左記のとおり、報告書の提出期限につき年度終了後に一定の猶予を持たせることで、年度末までの研究に支障がないように取り組んでいる。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	当該事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日まで	左記のとおり、報告書の提出期限につき年度終了後に一定の猶予を持たせることで、年度末までの研究に支障がないように取り組んでいる。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	当該事業年度終了後の5月末日又は事業終了後61日以内でAMEDが指定する日まで	左記のとおり、報告書の提出期限につき年度終了後に一定の猶予を持たせることで、年度末までの研究に支障がないように取り組んでいる。
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	5月末	
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	5月末	
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	5月末	
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	5月末	
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	5月末	
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	5月末	
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	5月末	
【AMED】医薬品等開発研究PDCA/パイロット事業	適宜	
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	5月末	
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	5月末	
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	5月末	
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	5月末	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	特になし
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	特になし
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	特になし
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	委託研究開発実施期間の終了、委託研究開発の完了・中止・廃止のいずれか早い日から起算して翌々月末(61日)以内	特になし
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	翌年度5月末	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	3月末	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	基本補助事業完了後61日以内	各省庁申合せに従い、会計実績報告書、研究成果報告書の提出期限を5月31日までに延長し、年度末まで研究が実施出来るよう措置
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	補助事業完了日から起算して61日以内	「競争的資金における使用ルール等の統一について(平成27年3月31日競争的資金に関する関係府省連絡会議申し合わせ)」の決定に従い、最大限、後ろ倒しとした提出期限としている。
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	5月31日	関係府省連絡会申し合わせの統一ルールによる対応
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】元素戦略プロジェクト	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	委託業務の完了した日の翌日から61日を経過した日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。

【機関名】資金配分制度名	報告書の提出期限	年度末までの研究に支障がないようするための取組
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	年度末または契約期間終了日から61日以内。ただし、一部のタイプについては、事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内(ただし、一部のタイプについては、30日以内)とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤基盤研究プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後60日以内	決算報告の期限を年度終了後60日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	毎事業年度終了後、61日以内。但し、最終事業年度について契約期間終了日が当事業年度の3月末日以外の場合は、契約期間終了後61日以内で機構が指定する日まで(委託研究中止申請書による契約解除の場合は30日以内)	決算報告の期限を事業年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後61日以内	決算報告の期限を年度終了後61日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないよう配慮を行っている。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	H26分は各年度終了後1ヶ月以内。H27分より各年度終了後2ヶ月以内。	特に無し。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化))	補助事業が完了したとき又は補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際活動支援班))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(婦国発展研究))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。

【機関名】資金配分制度名	報告書の提出期限	年度末までの研究に支障がないようにするための取組
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	事業実施翌年度の5月末	実績報告書の提出期限を5月末に設定することにより、年度末まで研究が実施できるよう配慮を行っている。
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	3月31日	提出期限に関しては状況に応じて1週間程度の猶予期間を設定している。
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	3月31日	提出期限に関しては状況に応じて1週間程度の猶予期間を設定している。
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	3月31日	提出期限に関しては状況に応じて1週間程度の猶予期間を設定している。
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	3月22日	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	2016/3/31	
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	2016/3/31	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	2016/3/31	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	2016/3/31	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	2016/3/31	事前に事務連絡を出し、周知
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	2016/3/31	事前に事務連絡を出し、周知
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	2016/3/31	
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	補助事業が完了した日から起算して30日を経過した日又は翌年度4月10日のいずれか早い日まで。	
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	補助事業終了後30日以内若しくは4月10日のいずれか早い日	報告書の提出期限を4月10日としている
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	実績報告書については、委託業務の場合には完了の日又は委託期間の終了日のいずれか早い日まで、助成事業の場合には完了の日又は助成事業が完了せずに機構の会計年度が終了するときは、当該会計年度の末日までに提出することとしている。	特になし
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	実績報告書については、委託業務の場合には完了の日又は委託期間の終了日のいずれか早い日まで、助成事業の場合には完了の日又は助成事業が完了せずに機構の会計年度が終了するときは、当該会計年度の末日までに提出することとしている。	特になし
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	実績報告書については助成事業の場合には完了の日又は助成事業が完了せずに機構の会計年度が終了するときは、当該会計年度の末日までに提出することとしている。	特になし
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	実績報告書については助成事業の場合には完了の日又は助成事業が完了せずに機構の会計年度が終了するときは、当該会計年度の末日までに提出することとしている。	特になし
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	年度末まで研究ができるよう、実績報告書の提出期限を助成事業の完了の日から30日以内と余裕をもって設定している。	特になし
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	実績報告書については、委託業務の場合には完了の日又は委託期間の終了日のいずれか早い日までに提出することとしている。	特になし
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	実績報告書については、委託業務の場合には完了の日又は委託期間の終了日のいずれか早い日まで、助成事業の場合には完了の日又は助成事業が完了せずに機構の会計年度が終了するときは、当該会計年度の末日までに提出することとしている。	特になし
【国交】建設技術研究開発助成制度	翌年度の5月31日	経費の支出が可能な期日を3月31日までとしている。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	完了後速やかに	
【環境】環境研究総合推進費	3月31日	平成28年度採択課題より、5月31日までの提出期限とする。
【防衛】安全保障技術研究推進制度	委託業務完了の翌日から61日を経過した日まで	

科学・技術コミュニケーションを促進するための取組

【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【内閣】食品健康影響評価技術研究	×	
【AMED】医薬品等規制調和・評価研究事業	○	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	○	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)	○	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学共創基礎基盤研究プログラム(産学共創)	○	
【AMED】医療分野研究成果展開事業/産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)	○	
【AMED】再生医療実用化研究事業	○	公募要領において実施することを求めている。
【AMED】再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業	○	公募要領において実施することを求めている。
【AMED】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、公募要領に記載している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。
【AMED】次世代がん研究シース戦略的育成プログラム	○	本事業で得られた成果を一般公開するため、年に1度、成果発表会を開催し、事業活動を幅広く促進している。
【AMED】革新的がん医療実用化研究事業	○	本事業で得られた成果を一般公開するため、年に1度、成果報告会を開催したり、若手研究者育成支援の一環として、若手ワークショップを開催する等、事業活動を幅広く促進している。
【AMED】脳科学研究推進プログラム	○	
【AMED】脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	○	
【AMED】長寿科学研究事業	○	
【AMED】認知症研究開発事業	○	
【AMED】障害者対策総合研究開発事業	○	
【AMED】東北メディカル・メガバンク計画	○	配分先との共同プレスリリース、展示会における配分先事業に関するブース出展
【AMED】オーダーメイド医療の実現プログラム	○	特になし
【AMED】ゲノム医療実用化推進研究事業	○	特になし
【AMED】ナショナルバイオリソースプロジェクト	○	本事業はライフサイエンスの基礎研究の基盤となるバイオリソース整備が目的である為、その利活用を促進するアウトリーチ活動を積極的に行っている。 具体的には、国内外の学会・研究集会における展示や研究集会の開催、ワークショップや技術講習会の実施を行っている。
【AMED】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)	○	・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、パンフレット・HP作成、学会出展、メルマガ配信など行っている。 ・成果発表費用(論文投稿料、論文別刷費用、HP作成費用等)の支出も認めている。
【AMED】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(生命動態システム科学推進拠点事業)	○	・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、パンフレット・HP作成など行っている。 ・成果発表費用(論文投稿料、論文別刷費用、HP作成費用等)の支出も認めている。
【AMED】創薬基盤推進研究事業	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(天然化合物およびITを活用した革新的医薬品創出技術)	○	・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術)	○	・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。
【AMED】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(体液中マイクロRNA測定技術基盤開発)	○	・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ユニットタイプ)	○	公募要領で「国民との科学・技術対話」に積極的に取り組むよう促している。「国民との科学・技術対話」の取組については、中間評価、事後評価における評価項目の一部としている他、成果報告書にも「国民との科学・技術対話」に関する取組について記載を求めている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(ソロタイプ)	○	公募要領で「国民との科学・技術対話」に積極的に取り組むよう促している。「国民との科学・技術対話」の取組については、中間評価、事後評価における評価項目の一部としている他、成果報告書にも「国民との科学・技術対話」に関する取組について記載を求めている。

【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(その他)(インキュベータタイプ)	○	公募要領で「国民との科学・技術対話」に積極的に取り組むよう促している。「国民との科学・技術対話」の取組については、中間評価、事後評価における評価項目の一部としている他、成果報告書にも「国民との科学・技術対話」に関する取り組みについて記載を求めている。
【AMED】成育疾患克服等総合研究事業	○	公募要領に「国民との双方向コミュニケーションについて」を記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の本活動について、積極的に取り組むよう促している他、成果報告書にも「国民との科学・技術対話」に関する取り組みについて記載を求めている。
【AMED】女性の健康の包括的支援実用化研究事業	○	公募要領に「国民との双方向コミュニケーションについて」を記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の本活動について、積極的に取り組むよう促している他、成果報告書にも「国民との科学・技術対話」に関する取り組みについて記載を求めている。
【AMED】革新的先端研究開発支援事業(医薬品創出)(インキュベータタイプ)	○	・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。
【AMED】医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	○	
【AMED】未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	○	
【AMED】医工連携事業化推進事業	○	
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(委託)	○	
【AMED】ロボット介護機器開発・導入事業(補助)	○	
【AMED】医療機器開発推進研究事業	○	
【AMED】国産医療機器創出促進基盤整備等事業	○	
【AMED】新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、公募要領に記載している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、公募要領に記載している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている
【AMED】肝炎等克服実用化研究事業(B型肝炎創薬実用化等研究事業)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、公募要領に記載している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている
【AMED】エイズ対策実用化研究事業	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、公募要領に記載している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている
【AMED】感染症研究国際展開戦略プログラム	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、公募要領に記載している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている
【AMED】創薬支援推進事業(創薬総合支援事業)	×	
【AMED】創薬支援推進事業(創薬支援インフォマティクスシステム構築)	×	
【AMED】創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)	×	
【AMED】難治性疾患実用化研究事業	○	・AMED主催の成果報告会・公開シンポジウムを開催している。 ・公募要領中に「国民との双方向コミュニケーション活動」について記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の本活動について、積極的に取り組むよう促している。
【AMED】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	○	・AMED主催の成果報告会・公開シンポジウムを開催している。 ・公募要領中に「国民との双方向コミュニケーション活動」について記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の本活動について、積極的に取り組むよう促している。
【AMED】腎疾患実用化研究事業	○	・AMED主催の成果報告会・公開シンポジウムを開催している。 ・公募要領中に「国民との双方向コミュニケーション活動」について記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の本活動について、積極的に取り組むよう促している。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)	○	・AMED主催の成果報告会・公開シンポジウムを開催している。 ・公募要領中に「国民との双方向コミュニケーション活動」について記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の本活動について、積極的に取り組むよう促している。
【AMED】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)	○	・AMED主催の成果報告会・公開シンポジウムを開催している。 ・公募要領中に「国民との双方向コミュニケーション活動」について記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の本活動について、積極的に取り組むよう促している。
【AMED】慢性の痛み解明研究事業	○	・AMED主催の成果報告会・公開シンポジウムを開催している。 ・公募要領中に「国民との双方向コミュニケーション活動」について記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の本活動について、積極的に取り組むよう促している。
【AMED】橋渡し研究加速ネットワークプログラム	○	年度末に研究者が、自分の成果を広く国民に発表する成果報告会を開催している。
【AMED】世界に先駆けた革新的新薬・医療機器創出のための臨床試験拠点整備事業	○	
【AMED】臨床研究品質確保体制整備事業	○	
【AMED】臨床試験支援機能構築事業	○	
【AMED】日本主導型グローバル臨床研究体制整備事業	○	

【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【AMED】未承認医薬品等臨床研究安全性確保支援事業	○	
【AMED】早期探索的・国際水準臨床研究事業	×	
【AMED】医薬品等開発研究PDCA/パイロット事業	×	
【AMED】臨床研究・治験推進研究事業	○	
【AMED】「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	○	インターネットによる情報発信に係る研究課題については支出可
【AMED】臨床研究等ICT基盤構築研究事業	○	
【AMED】地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究事業	○	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) SATREPS	○	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際科学技術協力プログラム) SICP	○	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(戦略的国際共同研究プログラム) SICORP	○	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(e-ASIA共同研究プログラム)	○	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)	○	
【AMED】医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム)	○	
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業	○	
【AMED】地球規模保健課題解決推進のための研究事業(日米医学協力計画)	○	
【AMED】ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業	△	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	×	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	○	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	×	研究開発終了後、できるだけ速やかに当省のHPIに研究開発成果等を掲載している。
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	○	研究により得られた成果は、積極的に公開・普及に努めなければならない旨を公募要領に記載している。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	○	定期的に事業進捗状況や開発成果をシンポジウム等を開催することによって一般公開するとともに、WEB上にも事業ホームページを立ち上げ、常に情報発信を行っている。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム」	○	定期的に事業進捗状況や開発成果をシンポジウム等を開催することによって一般公開するとともに、WEB上にも事業ホームページを立ち上げ、常に情報発信を行っている。
【文科】光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発「光・量子融合連携研究開発プログラム」	○	公募要領にも「国民との科学・技術対話」の積極的な推進を謳っており、定期的に事業進捗状況や開発成果をシンポジウム等を開催することによって一般公開するとともに、WEB上にも事業ホームページを立ち上げ、常に情報発信を行っている。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	○	
【文科】元素戦略プロジェクト	○	
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	○	公募要領において、事業実施の関連事項として「国民との科学・技術対話の推進について」の項目を設けているとともに、採択時の評価項目に設定している。
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業	○	定期的に事業進捗状況や開発成果をシンポジウム等を開催することによって一般公開するとともに、WEB上にも事業ホームページを立ち上げ、常に情報発信を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの研究者説明会においても周知している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。研究費からのアウトリーチ活動費支出は認めているが、成果発表会、成果展示会等で研究成果を紹介している。ただし、一部のタイプについては、研究費からのアウトリーチ活動費支出は認めていないが、成果発表会、成果展示会等で研究成果を紹介している。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。

【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載している。
【JST】研究成果展開事業(大学発新産業創出プログラム)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載している。 ・事業化推進のための展示会等での発表費用等について必要性、有効性を検討した上で認めている。
【JST】研究成果展開事業(世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載している。 ・研究成果の発信及びリサーチコンプレックスにおけるプレイヤーの集積加速等のために、シンポジウム・セミナー開催、ハッカソン・アイデアソン開催、企画展開催・出展等、目的に対して効果的な手法でのコミュニケーション促進に対する支出を認めている。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	△	研究費からのアウトリーチ活動費支出は認めていないが、成果発表会、成果展示会等で研究成果を紹介している。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】イノベーションハブ構築支援事業	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、採択者向けの事務処理説明書に記載している。 ・研究成果や取組内容を積極的に紹介して人材糾合を進めるため、シンポジウム開催費用等の支出を認めている。全費用に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載して周知している。 ・事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。 ・分子生物学会では、NBDCの委託研究開発課題を取りまとめてブース出展し、NBDCコーナーとして成果を積極的に紹介している。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	△	研究費からのアウトリーチ活動費支出は認めていないが、成果発表会、成果展示会等で研究成果を紹介している。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載している。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)	○	PMの指示の下、資金配分先で科学・技術コミュニケーション活動を実施させることが可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 また、比較的高額な研究費を受ける特別推進研究などの研究進捗評価や、新学術領域研究(研究領域提案型)などの中間評価において「研究内容、研究成果の積極的な公表、普及に努めているか」という着眼点を設けている。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。

【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【JSPS】科学研究費助成事業（基盤研究(B)）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（基盤研究(C)）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（挑戦的萌芽研究）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（若手研究(A)）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（若手研究(B)）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（研究活動スタート支援）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（奨励研究）	○	日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）	○	研究成果公開促進費は、研究成果の公开发表、重要な学術研究の成果の発信及びデータベースの作成・公開について助成することによって、我が国の学術の振興と普及に資するとともに、学術の国際交流に寄与することを目的とするものであり、科学・技術コミュニケーションを促進することを目的としている。
【JSPS】科学研究費助成事業（特別研究員奨励費）	○	日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（新学術領域研究）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 また、比較的高額な研究費を受ける特別推進研究などの研究進捗評価や、新学術領域研究（研究領域提案型）などの中間評価において「研究内容、研究成果の積極的な公表、普及に努めているか」という着眼点を設けている。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（特別研究促進費）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（特定奨励費）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金（国際共同研究強化））	○	補助事業が完了したとき又は研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金（国際活動支援班））	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 また、比較的高額な研究費を受ける特別推進研究などの研究進捗評価や、新学術領域研究（研究領域提案型）などの中間評価において「研究内容、研究成果の積極的な公表、普及に努めているか」という着眼点を設けている。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。

【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【JSPS】科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(帰国発展研究))	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 また、比較的高額な研究費を受ける特別推進研究などの研究進捗評価や、新学術領域研究(研究領域提案型)などの中間評価において「研究内容、研究成果の積極的な公表、普及に努めているか」という着眼点を設けている。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	○	公募要項に「国民との双方コミュニケーション活動」について、記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の活動を積極的に取り組むよう促している。また、採択された研究課題を支援する目的のために「厚生労働科学研究推進事業」があり、研究成果発表会や研究事業毎のパンフレット作成等により、厚生労働科学研究費の研究成果等の普及啓発を実施している。
【NIBIOHN】希少疾病用医薬品等開発振興事業	×	現時点で特に無し
【NIBIOHN】ウルトラオーファン強化費用	×	現時点で特に無し
【NIBIOHN】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	×	現時点で特に無し
【農水】農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	○	国として研究成果発表会を2回実施している。
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	○	生研支援センターウェブサイトで事業及び研究内容を紹介している他、研究成果発表会の開催支援及びシンポジウムの共催やメールマガジンで開催周知を行っている。また、年に1度開催されるアグリビジネスフェアでの出展支援等も行っている。
【NARO】「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」(経営評価研究及びマーケティング研究)	○	生研支援センターウェブサイトで事業及び研究内容を紹介している他、研究成果発表会の開催支援及びシンポジウムの共催やメールマガジンで開催周知を行っている。また、年に1度開催されるアグリビジネスフェアでの出展支援等も行っている。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	○	生研支援センターウェブサイトで事業及び研究内容を紹介している他、研究成果発表会の開催支援及びシンポジウムの共催やメールマガジンで開催周知を行っている。また、年に1度開催されるアグリビジネスフェアでの出展支援等も行っている。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	○	生研支援センターウェブサイトで事業及び研究内容を紹介している他、研究成果発表会の開催支援及びシンポジウムの共催やメールマガジンで開催周知を行っている。また、年に1度開催されるアグリビジネスフェアでの出展支援等も行っている。
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	○	アグリビジネス創出フェア等公的資金を受けた研究機関が集まる技術展等、今後の販売の可能性を検討したり、研究の概要や、成果をPRする取組
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	○	アグリビジネス創出フェア等公的資金を受けた研究機関が集まる技術展等、今後の販売の可能性を検討したり、研究の概要や、成果をPRする取組
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	○	アウトリーチ活動の実施が評価項目にある
【経産】平成27年度シーズ活用研究開発事業(革新的ものづくり産業創出連携促進事業)	×	なし
【経産】革新的ものづくり産業創出連携促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	×	
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、本予算分)	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。
【NEDO】ナショナルプロジェクト(内、補正予算分)	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金分))	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。

【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【NEDO】技術シーズの発掘(内、本予算分(競争的資金以外分))	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、補正予算分)	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。
【国交】建設技術研究開発助成制度	×	
【国交】交通運輸技術開発推進制度	×	
【環境】環境研究総合推進費	○	
【防衛】安全保障技術研究推進制度	×	業務・事業の実施に直接必要な会議・シンポジウム・セミナー等の開催に要した経費については認めている。
	○: 支出を認めている △: 現在支出を認めていないが、今後認める予定 ×: 支出は認めていない(現時点で認める予定なし)	